Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP3200

Super Smoothing Technology

CAPT Canon Advanced Printing Technology

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

 このマークが付いている分冊は、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いている分冊は、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **コンピュータと接続するには**
- **印刷できるようにするには**

→ **設置時にお読みください**  

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

→ **ユーザーズガイド（本書）** 

- **Macintosh での使いかたを知るには**

→ **Macintosh 用プリンタドライバ オンラインマニュアル** 

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

ユーザーズガイドの構成について

第 1 章　お使いになる前に　必ずお読みください

第 2 章　給紙／排紙のしかた

第 3 章　Windows の印刷環境を設定するには

第 4 章　Windows から印刷するには

第 5 章　Macintosh から印刷するには

第 6 章　日常のメンテナンス

第 7 章　困ったときには

第 8 章　付録

目次

第 2 章　給紙／排紙のしかた

第 3 章　Windows の印刷環境を設定するには

第４章　Windows から印刷するには

第８章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP3200 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]
  　　[詳細設定]

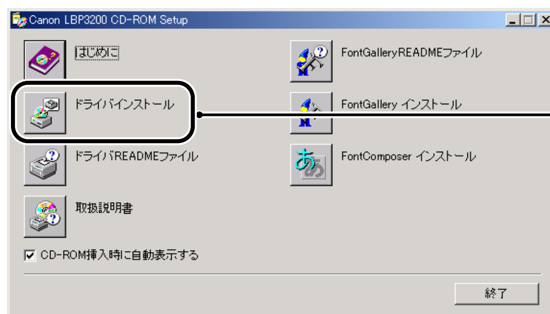
画面について

本書で使われている Windows の画面例は、特にお断りがない限り、Windows 2000 のものです。Macintosh の画面例は、Mac OS 9.2.2 と Mac OS 10.2.6 のもので、プリンタドライバのバージョンは 1.20 のものです。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯(丸) で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

5 **[ドライバインストール] をクリックします。**



操作時にクリックするボタン

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft®Windows®95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft®Windows®98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft®Windows®Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft®Windows®2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft®Windows®XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft®Windows®operating system：	Windows

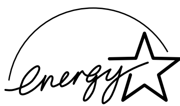
規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP は、キヤノン株式会社の商標です。

FontGallery、FontComposer はキヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、TrueType、漢字 Talk は米国 Apple Computer Inc. の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨・有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]	● 刑法 ● 著作権法 ● 通貨及証券模造取締法 ● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 郵便法 ● 郵便切手類模造等取締法 ● 印紙犯罪処罰法 ● 印紙等模造取締法

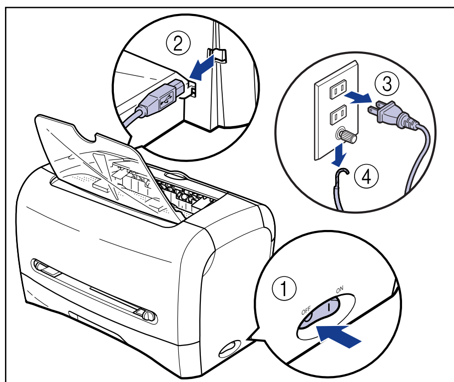
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は直ちに電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所

・雨や雪が降りかかるような場所
・水道の蛇口付近などの水気のある場所
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- USB ケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因となることがあります。（→ プリンタを移動する：P.6-18）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

[アース線を接続してよいもの]
・電源コンセントのアース線端子
・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

[アース線を接続してはいけないもの]
・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

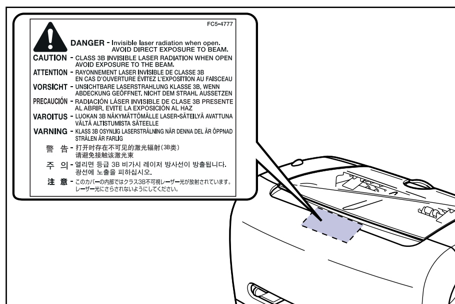
- 製品を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、USB ケーブルを取りはずしてください。そのまま移動すると、電源コードや USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。



  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

  ・この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

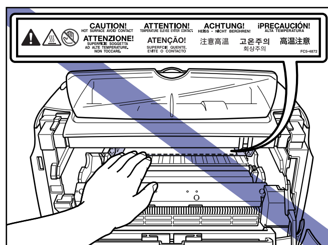
保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理などで内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりした用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火してやけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

お使いになる前に

1
CHAPTER

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

■ ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載

LBP3200 は、Windows OS および Mac OS に対応した最新の CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアを搭載したプリンタです。このシステムでは、従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をコンピュータで一括処理するため、コンピュータの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、コンピュータの解放時間も一段と短くなり、印刷中には用紙切れなどの情報がディスプレイ上に表示されます。さらに、Windows では、印刷の残り時間や印刷終了予定時刻までもリアルタイムにディスプレイ上に表示されます。

■ USB インターフェースを標準装備

周辺機器をひとつのコネクタで容易に接続できる USB（Universal Serial Bus）インターフェースを標準装備。

■ 充実したソフトウェア

付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」には、本プリンタをお使いになる上で不可欠な「CAPT ソフトウェア」をはじめ、ドキュメントの文字表現を豊かにする「FontGallery（TrueType フォント）」などが収録されています。

■ 高速印刷＆超高画質印刷

毎分18枚の高速印刷を実現。印刷待ちのストレスを感じさせません。印字機構に600dpi のプリントエンジンを搭載。さらに、キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジー技術により、2400dpi 相当× 600dpi の超高画質を実現しました。また、ディザ法を採用したグレースケールで、写真やグラフィックの微妙な表現も美しく印刷します。

■ 多彩なネットワーク対応

ネットワークプリンタとしてお使いになる場合、サーバ / クライアント双方にステータスが表示されます。また、ジョブ操作も行うことができます。

■ さまざまなマテリアルに対応

普通紙、はがき、往復はがき、封筒（洋形 2 号、洋形 4 号）、ラベル用紙、OHP フィルムなどさまざまな用紙に対応。また、A4 機であっても、縮小モードにより、A3、B4 サイズの原稿を A4 サイズに縮小する定形変倍印刷ができます。
また、非定形なユーザ定義用紙サイズにも印刷できます。

■ 省電力設計＆ウォームアップレス

省エネとクイックスタートを同時に実現した、キヤノン独自の画期的な「オンデマンド定着方式」。定着ヒータをプリント時のみ瞬間的に加熱する方法で、ウォームアップ時間はありません。いつでもスタンバイ状態ですぐに印刷を開始できます。しかも、スタンバイ時の平均消費電力は、わずか約 7W の省電力設計です。

■ コンパクト＆低騒音設計

本体はコンパクトな設計でご家庭でもオフィスでもわずかなスペースでお使いいただけます。

印刷時も静かな低騒音設計。しかも、スタンバイ時は無音で、夜間でも周囲に気兼ねなく安心してお使いいただけます。

■ 容易なメンテナンス＆プリンタステータスウィンドウ

LBP3200 用の EP-26 カートリッジはトナーと感光ドラムの一体型で、簡単に交換できます。

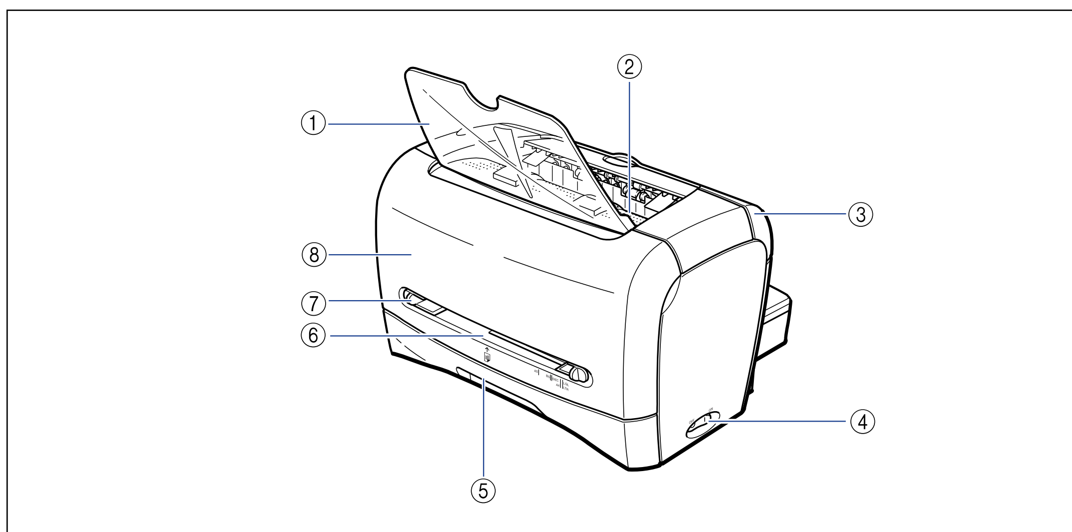
印刷時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、グラフィックスと音（サウンド）により的確な判断が容易に行え、本プリンタの操作性を向上させております。

各部の名称とはたらき

本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称とはたらきを覚えてください。

注意 本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

本体前面



① フェイスダウン排紙トレイ
用紙がまっすぐに排紙されるよう補助します。

② フェイスダウン排紙部
印刷した面を下向きにして排紙します。（→P.2-11）

③ 排紙切替カバー
フェイスアップ排紙とフェイスダウン排紙を切り替えます。（→P.2-13）

④ 電源スイッチ
プリンタの電源をオン／オフします。（→P.1-12）

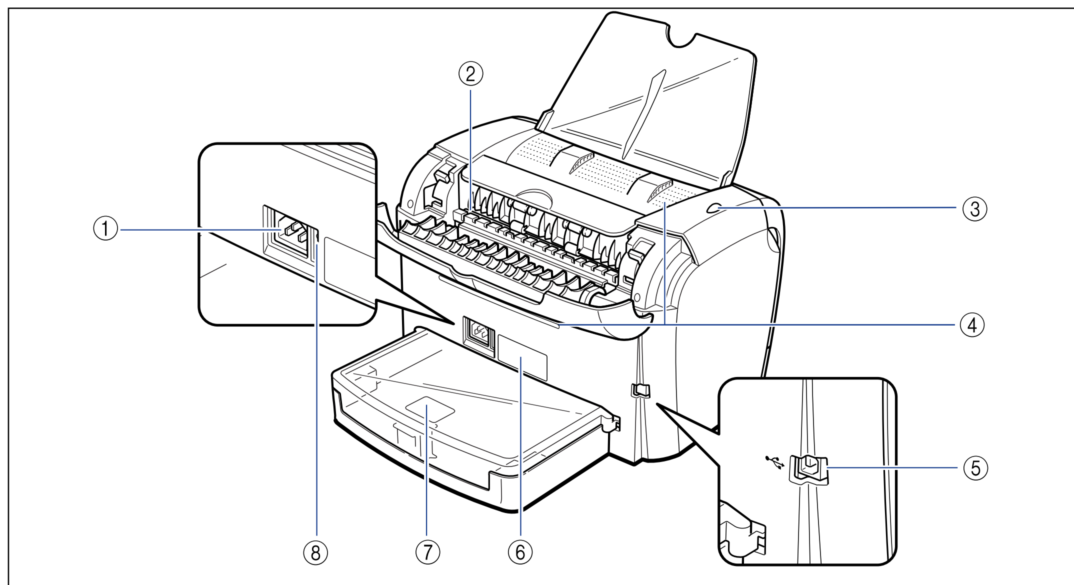
⑤ カセット
普通紙（64g/m^2）で最大 250 枚までの用紙をセットすることができます。（→P.2-9）

⑥ 手差し給紙口
用紙を1枚ずつ手差しで印刷するときに使用する給紙口です。（→P.2-9）

⑦ 用紙ガイド
用紙がまっすぐに送られるように、用紙の幅に合わせます。

⑧ フロントカバー
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに開けます。

本体背面



① 電源コード差し込み口
付属の電源コードを接続します。（➞P.1-9）

② フェイスアップ排紙口
印刷した面を上向きにして排紙します。
（➞P.2-12）

③ 電源ランプ
電源がオンになっているときに点灯します。

④ 通気口
プリンタ内部を冷却するための通気口です。通気口をふさがないようにしてください。

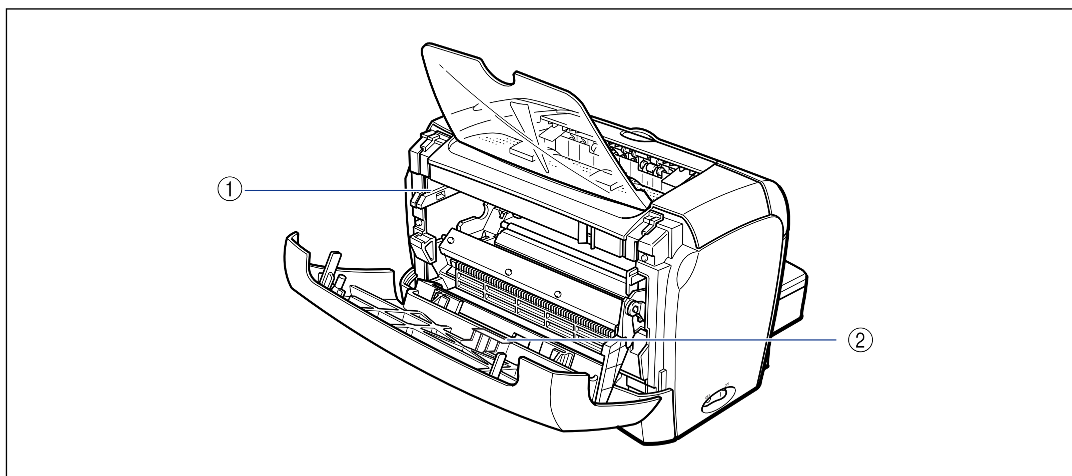
⑤ USB コネクタ
USB ケーブルの接続部です。コンピュータなどのUSB ポートに接続します。
（➞P.1-15）

⑥ 定格銘板ラベル
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。

⑦ カセット保護カバー
カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。

⑧ アース線端子
付属のアース線を接続します。（➞P.1-7）

本体内部



① トナーカートリッジガイド
トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。
（→P.6-5）

② 黒いフィルム
黒いフィルムは絶対に剥がさないでください。

電源コード、アース線を接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（→P.xii）を参照してください。

アース線を接続する

警告

- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してよいもの]
  - ・電源コンセントのアース線端子
  - ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - ・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
  - ・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

注意

- 感電防止のため、プリンタの電源コードと USB ケーブルが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- 感電防止のため、USB ケーブルが接続されているときは、コンピュータの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。

重要

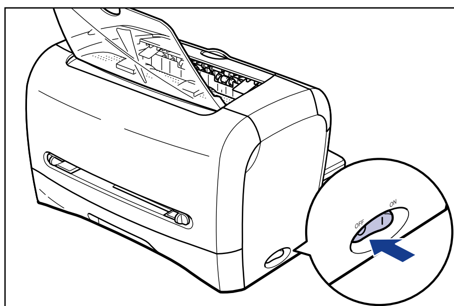
アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、 機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。

メモ

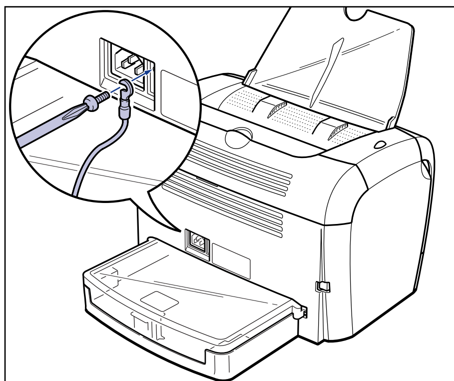
アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズと形状のものをご用意ください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。



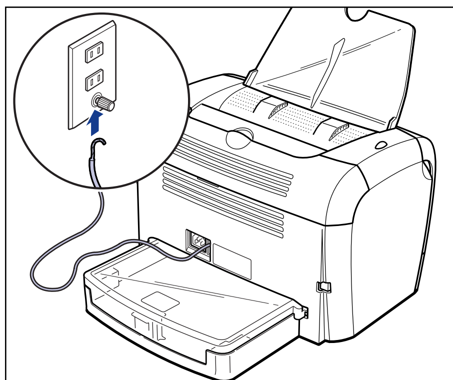
2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。





アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

3 アース線を専用のアース線端子へ接続します。



⚠警告　必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

電源コードを接続する

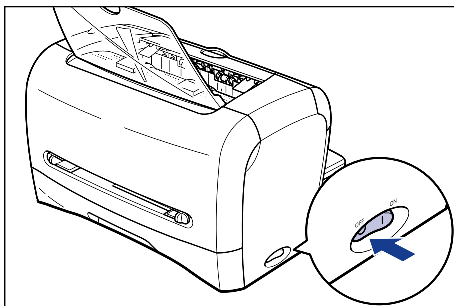
⚠警告
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

⚠注意
- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

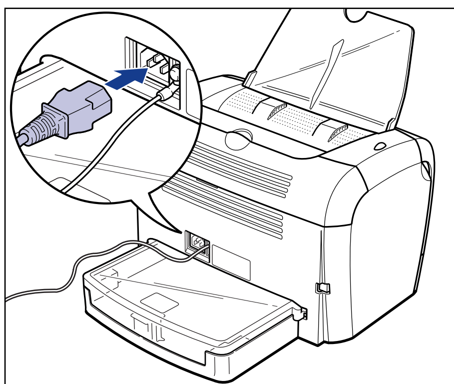
重要
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

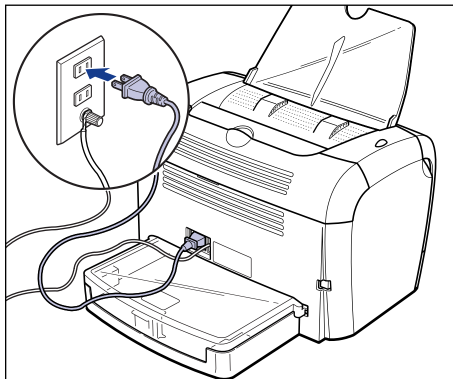
電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。



2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。



3 電源プラグを電源コンセントへ接続します。



電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

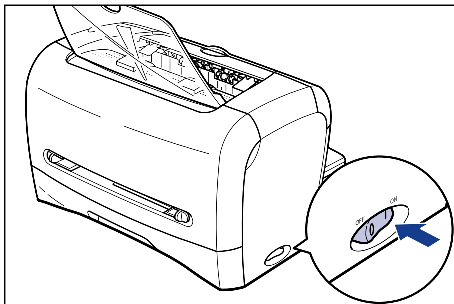
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの"I"側を押して、オンにします。本体の状態チェック（自己診断）を実行したあと、印刷可能な状態になります。

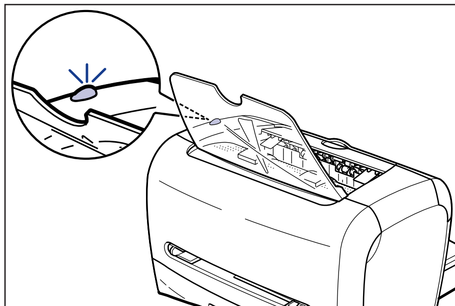


- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタにエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（→P.7-1）を参照してください。
- 電源をオンにするときは、手差し給紙口に用紙がないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされている状態で電源をオンにすると紙づまりの原因になります。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が 1 枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

1 **電源スイッチの"I"側を押し、電源をオンにします。**



プリンタの電源ランプが点灯し、本体の状態を自己判断します。自己判断の結果に異常がなければ、印刷可能な状態になります。



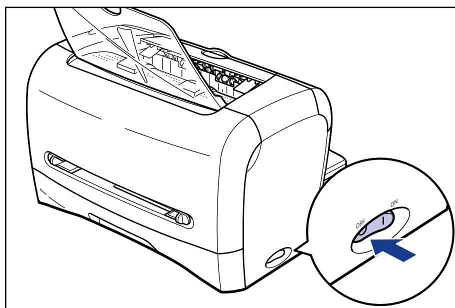
電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要

- ネットワーク環境で使用している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- プリンタの電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、出力し終わるまで待ってから電源をオフにしてください。
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・印刷中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中

1 電源スイッチの“○”側を押し、電源をオフにします。



重要 電源スイッチの“○”側を押した状態では、消費電力は 0 W になります。

コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータに接続します。
本プリンタは USB コネクタを装備していますので、USB ケーブルでコンピュータに接続します。
USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。

警告

- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

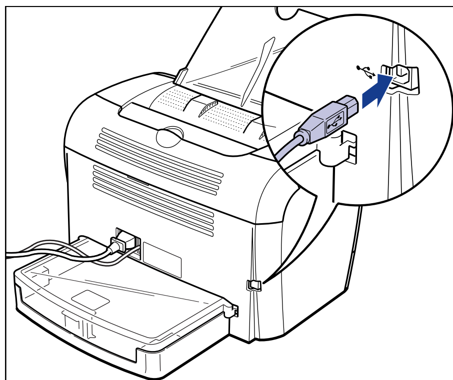
重要

- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
  ・プリンタドライバのインストール中
  ・コンピュータの電源を入れた直後の OS 起動中
  ・印刷中
- コンピュータおよびプリンタの電源がオンになっている状態でUSB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。

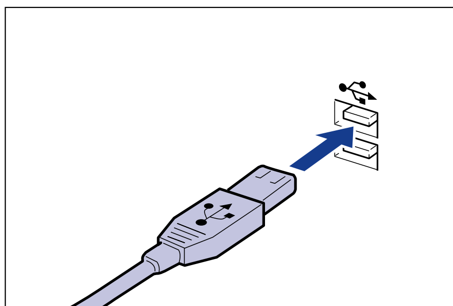
メモ

- 本プリンタの USB インタフェースは、USB Full-Speed（USB1.1 相当）に対応しています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
- 本プリンタをUSBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているコンピュータをご使用ください。
- お使いのコンピュータに対応したUSBケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入した販売店にお問い合わせください。

1 USBケーブルのBタイプ(四角い)側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。



2 USBケーブルのA タイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。





USB ケーブルの接続後は、コンピュータに表示される指示にしたがって、本プリンタのソフトウェアをインストールしてください。Windows をお使いの場合は、「CAPT ソフトウェアをインストールする」(➞P.3-4) を参照してください。Macintosh をお使いの場合は、「CAPT ソフトウェアをインストールする」(➞P.5-4) を参照してください。

2

CHAPTER

給紙／排紙のしかた

この章では、本プリンタで使用できる用紙、給紙のしかた、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 次のような場合、熱による故障などを防止するための安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。
  - ･B5、A5 サイズの厚紙、往復はがき、洋形 2 号の封筒、洋形 4 号の封筒を連続印刷した場合、3ppm まで印刷速度が遅くなることがあります。
  - ･B5、A5 サイズの普通紙、はがきを連続印刷した場合、4ppm まで印刷速度が遅くなることがあります。
- 連続で印刷を行う枚数は、各用紙タイプの積載制限の枚数を目安に、連続で印刷を行ってください。

用紙サイズ

本プリンタは次の用紙サイズを使用できます。表中の○はセット可能、×はセット不可能です。

用紙の種類	サイズ	給紙元	
		カセット	手差し給紙口
A4	210.0mm × 297.0mm 8.27inch × 11.69inch	○	○
B5	182.0mm × 257.0mm 7.17inch × 10.12inch	○	○
A5	148.0mm × 210.0mm 5.83inch × 8.27inch	○	○
リーガル	215.9mm × 355.6mm 8.50inch × 14.00inch	×	○
レター	215.9mm × 279.4mm 8.50inch × 11.00inch	○	○
エグゼクティブ	184.1mm × 266.7mm 7.25inch × 10.50inch	○	○
往復はがき	148.0mm × 200.0mm 5.83inch × 7.87inch	○	○
はがき	100.0mm × 148.0mm 3.94inch × 5.83inch	○	○

用紙の種類	サイズ	給紙元	
		カセット	手差し給紙口
封筒　洋形４号	105.0mm × 235.0mm 4.13inch × 9.25inch	○	○
封筒　洋形２号	114.0mm × 162.0mm 4.49inch × 6.38inch	○	○
ユーザ定義用紙	幅：76.2 ～ 215.9mm 長さ：127.0 ～ 355.6mm	×	○

用紙タイプ

本プリンタは次の用紙タイプを使用できます。表中の○はセット可能です。

用紙タイプ	プリンタドライバの設定	給紙元	
		カセット	手差し給紙口
普通紙（64 ～ 90g/m^2）	［普通紙］、［普通紙 L］*1	○	○
厚紙（91 ～ 163g/m^2）	［厚紙］、［厚紙 H］*2	○ *6	○
OHP フィルム	［OHP フィルム］	○	○
ラベル用紙	［厚紙］、［厚紙 H］*3	○ *7	○
はがき	*4	○	○
往復はがき	*4	○	○
封筒	*5	○	○

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。

*2 ［厚紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してお試しください。

*3 ラベル用紙を印刷するときは、用紙タイプの設定を［厚紙］に設定してください。［厚紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してお試しください。

*4 はがき、往復はがきを印刷するときは、用紙サイズを［はがき］、［往復はがき］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

*5 封筒を印刷するときは、用紙サイズを［封筒（洋形４号）］、［封筒（洋形２号）］に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

*6 カセットにセットできる厚紙は 128g/m^2 以下の厚紙です。129g/m^2 以上の厚紙は手差し給紙口から印刷してください。

*7 カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。

■ 普通紙について

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 64 ～ 90g/m^2 の普通紙を使用できます。



リーガルサイズの用紙をセットできる給紙元は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。

■ 厚紙について

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 91 ～ 163g/m^2 の厚紙を使用できます。

重要
- リーガルサイズの用紙をセットできる給紙元は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。
- カセットにセットできる厚紙は 128g/m^2 以下の厚紙です。129g/m^2 以上の厚紙は手差し給紙口から印刷してください。

■ OHP フィルムについて

本プリンタでは、A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。

重要
- OHPフィルムは、「キヤノン推奨品 LBP 用 OHPフィルム A4」を使用してください。キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4 の重さは 8.7g です。
- OHP フィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。

■ ラベル用紙について

本プリンタでは、A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。

重要
- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」の重さは 7.8g です。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。0 面以外のラベル用紙は手差し給紙口から印刷してください。

■ はがきについて

本プリンタでは、官製はがき、官製往復はがきを使用できます。

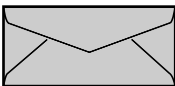
重要
- 官製はがき、官製往復はがき以外への印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になることがありますので、官製はがき、官製往復はがき以外は使用しないでください。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製はがきを使用することはできません。
- はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ 封筒について

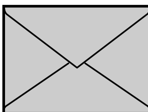
本プリンタでは、洋形４号または洋形２号の封筒を使用できます。

重要 ●本プリンタで使用できる封筒は次のような構造のものに限ります。

洋形４号（105mm × 235mm、4.13inch × 9.25inch）（キヤノン LBP 用封筒 Y401 ／推奨品）



洋形２号（114mm × 162mm、4.49inch × 6.38inch）（キヤノン LBP 用封筒 Y201 ／推奨品）



短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

用紙サイズの略号について

用紙ガイドのサイズ表示には、次の用紙について以下のような略号が使われています。

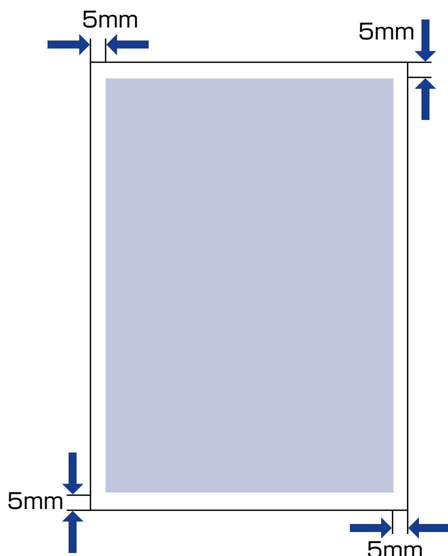
用紙サイズ	用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

印刷できる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

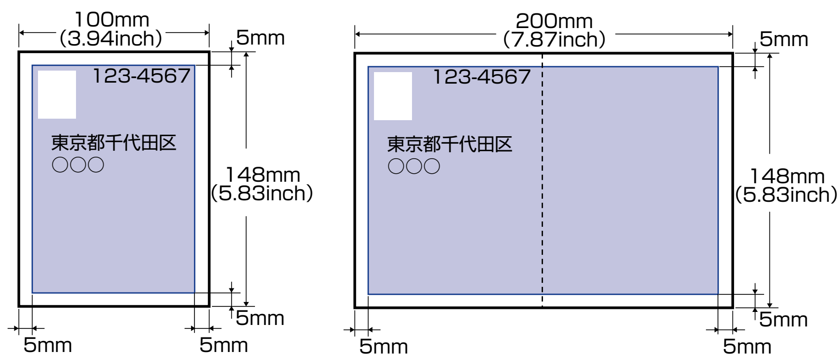
■ 普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



■ はがき／往復はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



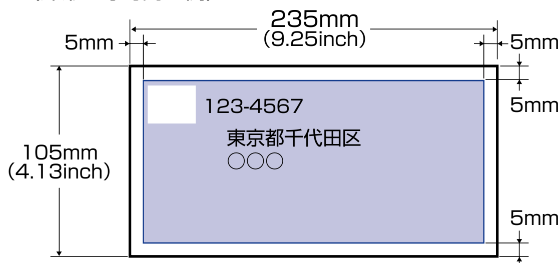
2

給紙／排紙のしかた

■ 封筒

封筒の周囲 5 mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。）
  - ・バリのある用紙
  - ・しわのある用紙
  - ・角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ・定着器の熱（約 170℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発生するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。）

- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。

用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで１日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使用してください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

給紙元について

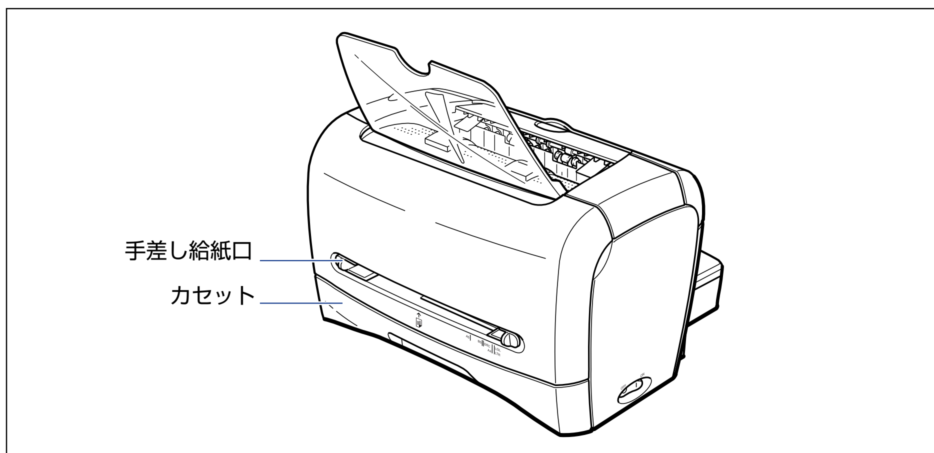
給紙元の種類

本プリンタは、カセットと手差し給紙口の合計 2 つの給紙元があります。

■ **標準状態**

給紙元：

手差し給紙口
カセット



重要　カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。

給紙元の積載枚数

「カセット」と「手差し給紙口」にはそれぞれ次の枚数の用紙がセットできます。

用紙タイプ	給紙元	
	カセット	手差し給紙口
普通紙（64g/m^2）	約 250 枚	1 枚
厚紙（128g/m^2）	約 100 枚	1 枚
OHP フィルム	約 100 枚	1 枚
ラベル用紙	約 100 枚	1 枚
はがき	約 50 枚	1 枚
往復はがき	約 50 枚	1 枚
封筒	約 20 枚	1 枚

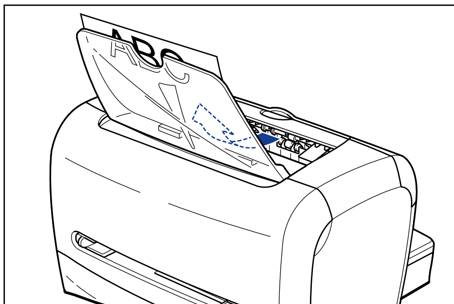
排紙先について

排紙先の種類

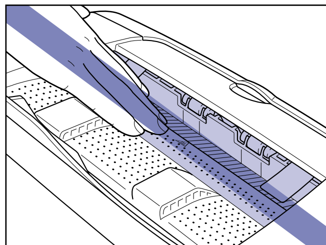
本プリンタには、本体上面の「フェイスダウン排紙部」と本体背面の「フェイスアップ排紙口」の 2 つの排紙先があります。

フェイスダウン排紙部

フェイスダウン排紙部に印字した面が下向き（フェイスダウン）で排紙されます。
フェイスダウン排紙部に排紙するときはフェイスダウン排紙トレイを開けて排紙させます。



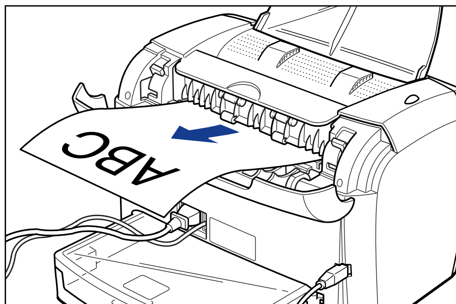
重要　プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙部が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙部周辺に触れないように気を付けてください。



メモ　フェイスダウン排紙部には、普通紙で約 100 枚（64 g/m^2 の用紙）まで積載することができます。

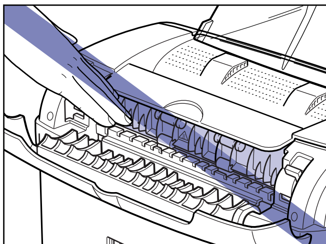
フェイスアップ排紙口

本体背面のフェイスアップ排紙口に印字した面が上向き（フェイスアップ）で排紙されます。フェイスアップ排紙口への排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHP フィルムやラベル用紙、はがき、往復はがき、封筒などに印字するときに向いています。



重要

- フェイスアップ排紙口に排紙された用紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。
- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスアップ排紙口が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。



排紙先の積載枚数

「フェイスダウン排紙部」と「フェイスアップ排紙口」にはそれぞれ次の枚数の用紙が排紙できます。

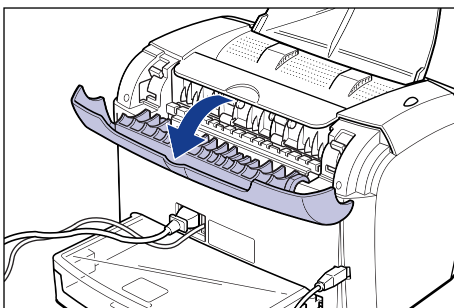
用紙タイプ	排紙元	
	フェイスダウン排紙部	フェイスアップ排紙口
普通紙（64g/m²）	約 100 枚	1 枚
厚紙（128g/m²）	約 30 枚	1 枚
OHP フィルム	約 10 枚	1 枚
ラベル用紙	約 10 枚	1 枚
はがき	約 10 枚	1 枚

用紙タイプ	排紙元	
	フェイスダウン排紙部	フェイスアップ 排紙口
往復はがき	約 10 枚	1 枚
封筒	約 10 枚	1 枚

排紙先の選択

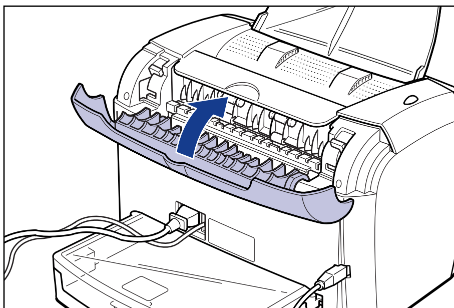
フェイスアップ排紙口に切り替える

排紙先をフェイスアップ排紙口に切り替えるときは、排紙切替カバーの取っ手を持ち、図のように開けます。



フェイスダウン排紙部に切り替える

排紙先をフェイスダウン排紙部に切り替えるときは、排紙切替カバーの取っ手を持ち、図のように閉めます。



メモ　フェイスダウン排紙トレイが閉じているときは、フェイスダウン排紙トレイを開けます。

普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する

普通紙や厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する方法を説明します。

ユーザ定義用紙に印刷する方法は「ユーザ定義用紙に印刷する」（➞P.2-38）を参照してください。

用紙をセットする

用紙をセットできる給紙元はカセットと手差し給紙口の 2 種類です。連続で印刷を行う場合はカセットに用紙をセットします。

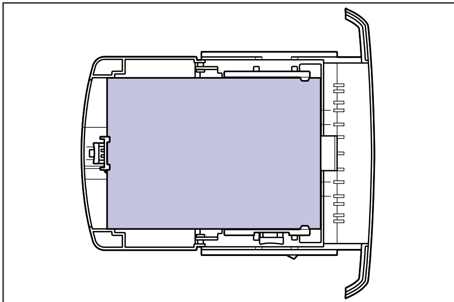
カセットに入っている用紙と異なる用紙サイズや用紙タイプを 1 枚だけ印刷する場合は手差し給紙口に用紙をセットします。

重要

- カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。
- カセットから印刷を行っている途中で、手差し給紙口に用紙をセットしないでください。手差し給紙口にセットした用紙が給紙され、重送や紙づまりの原因になります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.2-2）を参照してください。
- リーガルサイズの用紙をセットできる給紙元は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。
- 本プリンタでは、A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4」を使用してください。
- 本プリンタでは、A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- カセットにセットできるラベル用紙は 0 面のラベル用紙のみです。0 面以外のラベル用紙は手差し給紙口から印刷してください。
- カセットにセットできる厚紙は 128g/m^2 以下の厚紙です。129g/m^2 以上の厚紙は手差し給紙口から印刷してください。

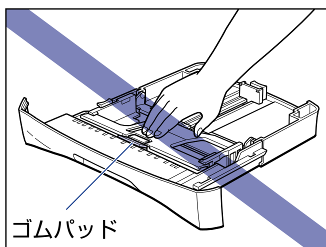
カセットに用紙をセットする

カセットに用紙をセットするときは、以下の手順で行います。
カセットに用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

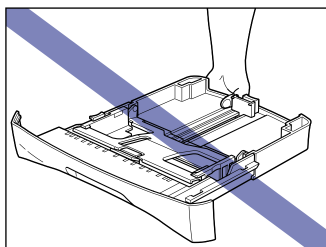


重要

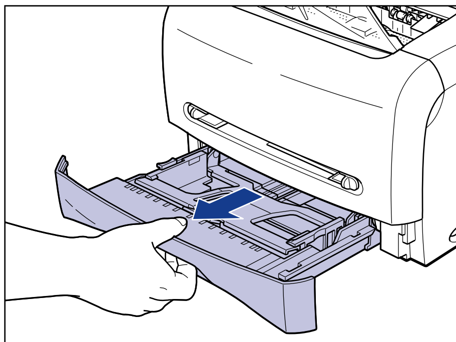
- 印刷中にカセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- カセットに用紙が残っているときに用紙を補充する場合は、セットされている用紙を一度取り出し、補充する用紙とともによく揃えてからカセットにセットしてください。
- カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。



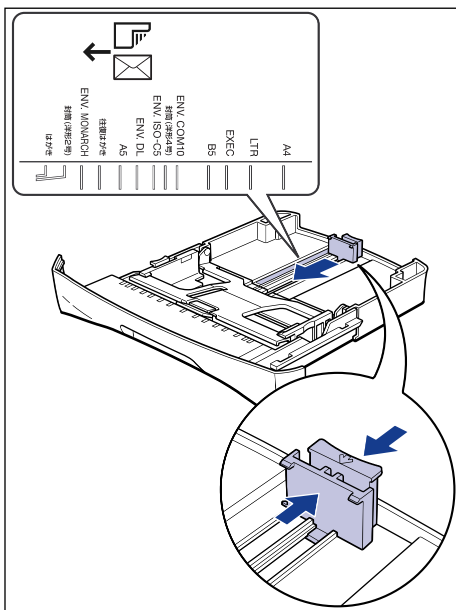
- カセット後部だけを持ってカセットを持ち上げないでください。カセット後部だけを持って持ち運ぶとカセット後部が外れてしまうことがあります。



1 カセットを引き出します。



2 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

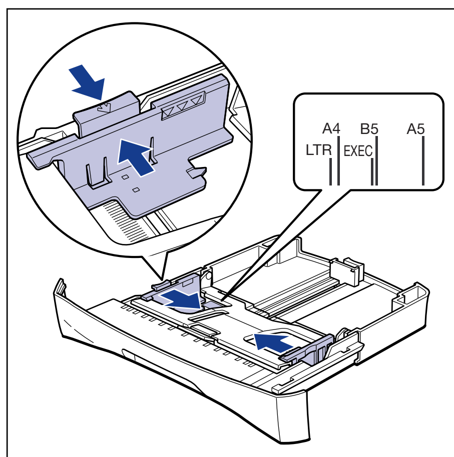




カセットにあるサイズ表示の「LTR」はレターサイズ、「EXEC」はエグゼクティブサイズの用紙に対応しています。

3 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

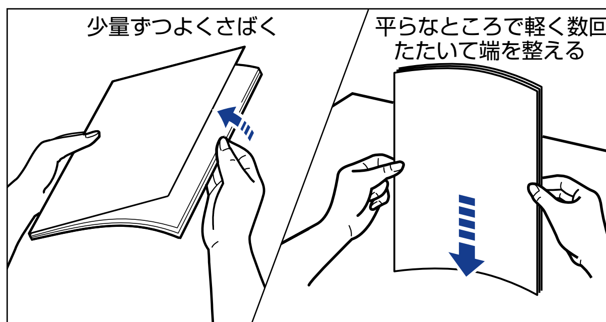
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。





カセットにあるサイズ表示の「LTR」はレターサイズ、「EXEC」はエグゼクティブサイズの用紙に対応しています。

4 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



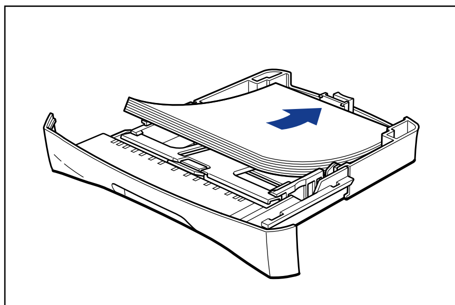


OHP フィルムやラベル用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因となります。
- カセットにセットできるラベル用紙は0 面のラベル用紙のみです。0 面以外のラベル用紙は手差し給紙口から印刷してください。

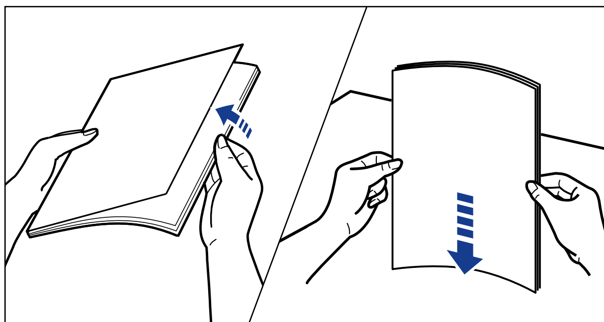
5 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。



注意 用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

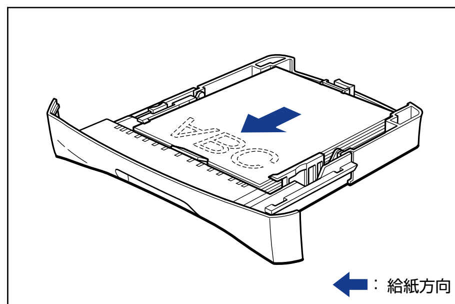
重要

- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



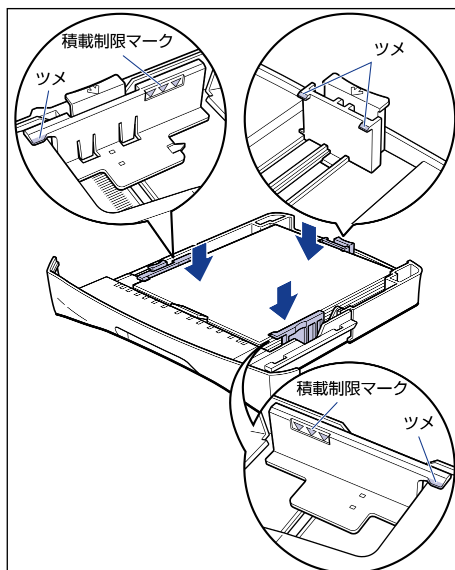


レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端が手前になるようにセットします。



6 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。



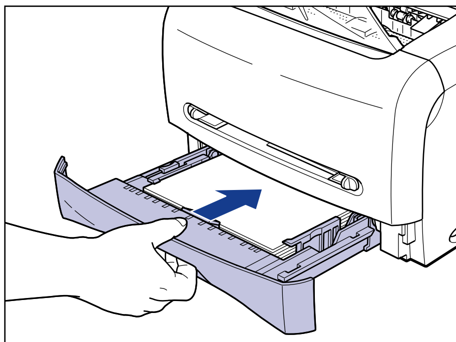


カセットにセットできる用紙の枚数は、以下の通りです。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

- 普通紙　　　　　　約 250 枚（64 g/m^2 の用紙）
- 厚紙　　　　　　　約 100 枚（128 g/m^2 の用紙）
- OHP フィルム　　　約 100 枚
- ラベル用紙（0 面）　約 100 枚

7 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



手差し給紙口に用紙をセットする

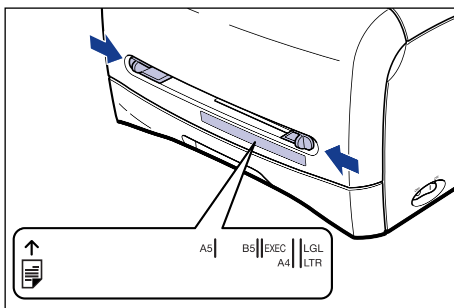
手差し給紙口に用紙をセットするときは、以下の手順で行います。
手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

重要

- 手差し給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口の用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 129g/m^2 以上の厚紙に印刷した場合、印字品質が低下することがあります。

1 セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

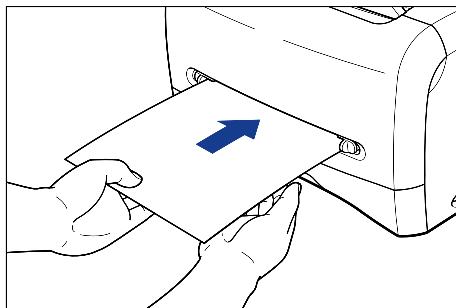
用紙ガイドは左右が連動しています。



メモ

手差し給紙口にあるサイズ表示は「LGL」はリーガルサイズ、「LTR」はレターサイズ、「EXEC」はエグゼクティブサイズの用紙に対応しています。

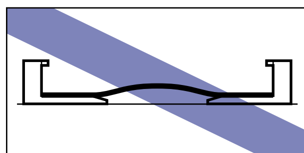
2 図のように用紙に手をそえて、用紙の印刷面を上にして奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

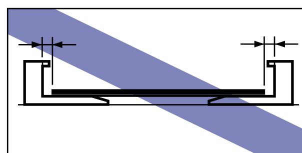


用紙をセットすると、給紙口に用紙が少し送られます。

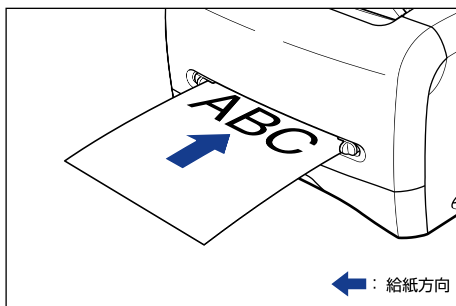
注意 用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。





メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。

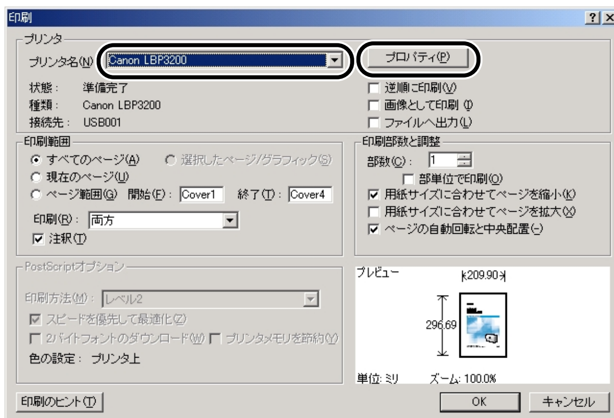


プリンタドライバの設定をして印刷する

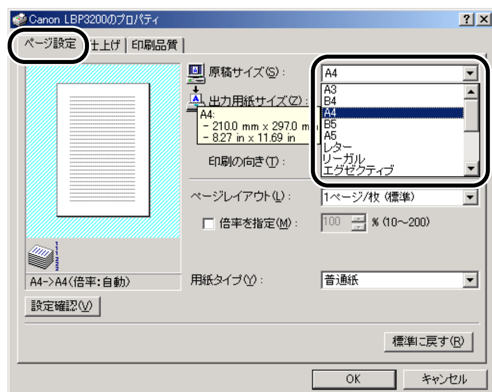
プリンタドライバの設定をします。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Mac OS をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



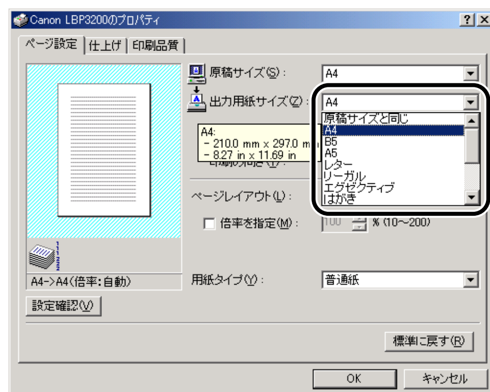
2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

OHP フィルム、ラベル用紙は A4 またはレターサイズのみ使用可能ですので、［A4］または［レター］を選択します。

原稿サイズとカセットや手差し給紙口にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

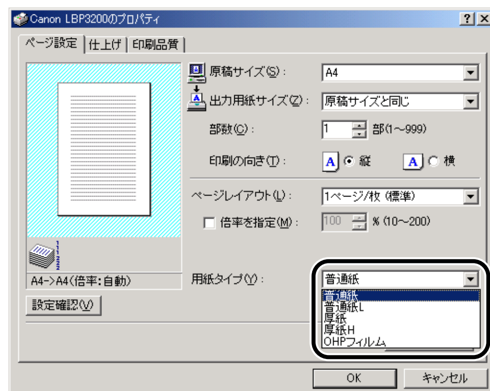




［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙の場合は［普通紙］、厚紙やラベル用紙の場合は［厚紙］、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］を選択してください。





- ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。
- ［厚紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してお試しください。

5 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

6 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。





はがき、往復はがき、封筒に印刷する

はがき、往復はがき、封筒に印刷する方法を説明します。

用紙をセットする

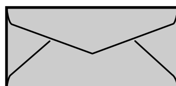
用紙をセットできる給紙元はカセットと手差し給紙口の 2 種類です。連続で印刷を行う場合はカセットに用紙をセットします。

カセットにセットされている用紙と異なる用紙タイプを 1 枚だけ印刷する場合などは手差し給紙口に用紙をセットします。

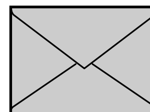
重要

- カセットから印刷するときは、手差し給紙口に用紙がセットされていないことを確認してください。手差し給紙口に用紙がセットされていると、手差し給紙口からの給紙が優先されるため、手差し給紙口の用紙が給紙されます。
- カセットから印刷を行っている途中で、手差し給紙口に用紙をセットしないでください。手差し給紙口にセットした用紙が給紙され、重送や紙づまりの原因になります。
- 官製はがき以外への印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になることがありますので、官製はがき以外は使用しないでください。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製はがきを使用することはできません。
- はがきや封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。
- 本プリンタで使用できる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形４号（105mm × 235mm、4.13inch × 9.25inch）
（キヤノン LBP 用封筒 Y401 ／推奨品）



洋形２号（114mm × 162mm、4.49inch × 6.38inch）
（キヤノン LBP 用封筒 Y201 ／推奨品）



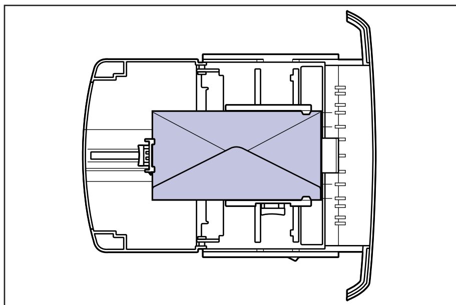
短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- 封筒をセットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 封筒の裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。

カセットに用紙をセットする

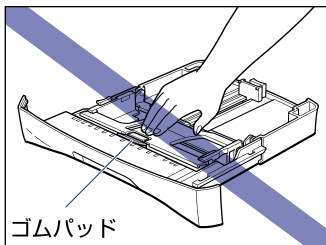
カセットに用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

カセットに用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

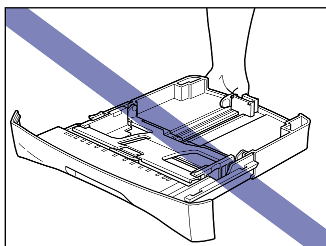


重要

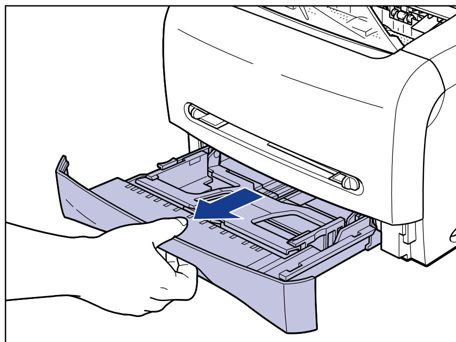
- 印刷中にカセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- カセットに用紙が残っているときに用紙を補充する場合は、セットされている用紙を一度取り出し、補充する用紙とともによく揃えてからカセットにセットしてください。
- カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。



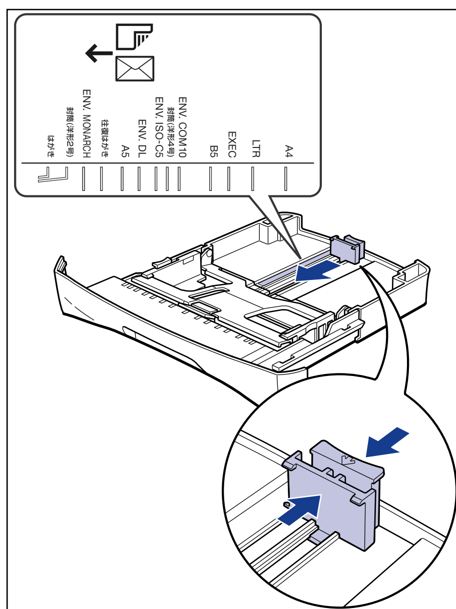
- カセット後部だけを持ってカセットを持ち上げないでください。カセット後部だけを持って持ち運ぶとカセット後部が外れてしまうことがあります。



1 カセットを引き出します。

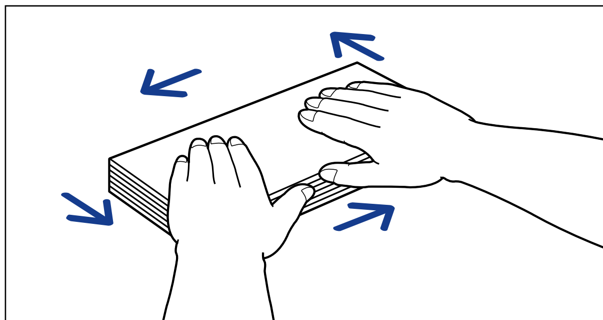


2 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。



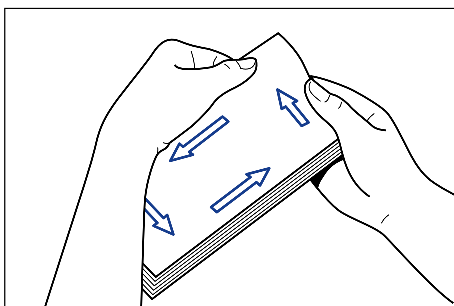
3 封筒をセットする場合は、封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

はがき、往復はがきをセットする場合は手順 6 に進んでください。

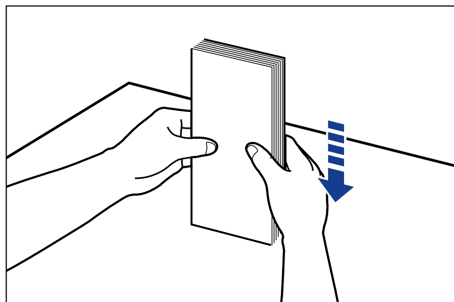


⚠注意　封筒の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

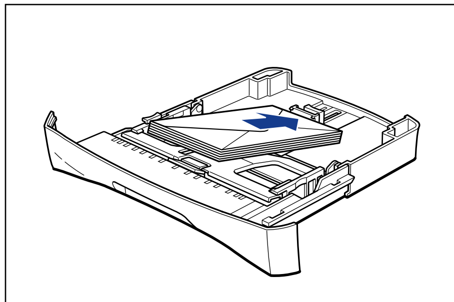
4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



5 封筒を平らな場所で揃えます。



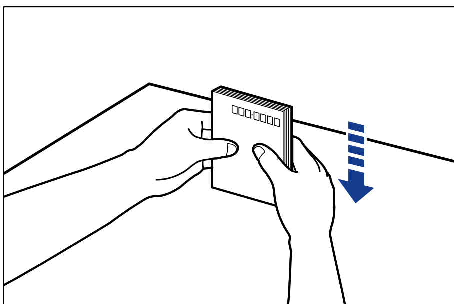
6 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。



⚠注意　用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。



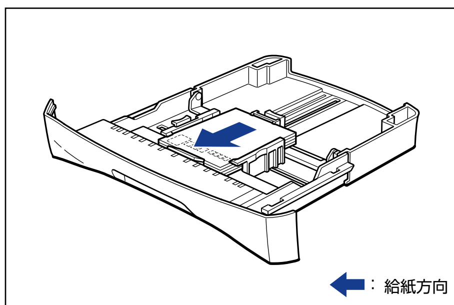
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。
- 裁断状態が悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



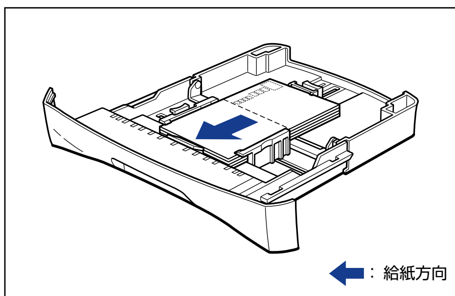
- はがきに反りがあるときは、必ず反りを修正してセットしてください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。



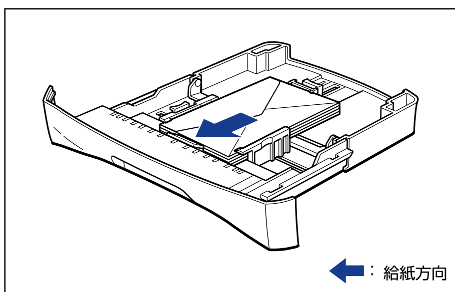
- はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、はがきの上端が手前になるようにセットします。



- 往復はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、はがきの上端が左側になるようにセットします。

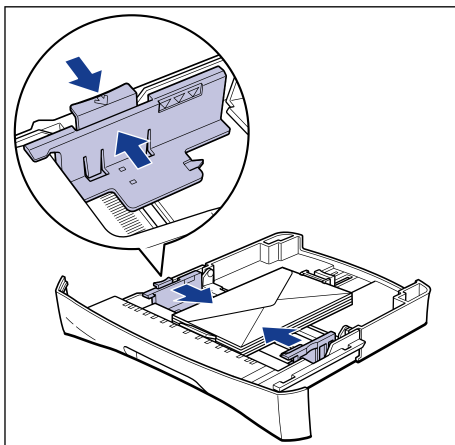


- 封筒に印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、ふたが左側になるようにセットします。



7 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動します。

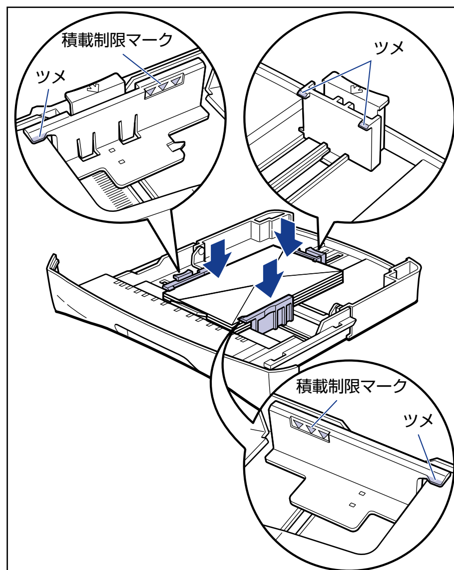
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。



 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

8 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マークを超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメの下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。



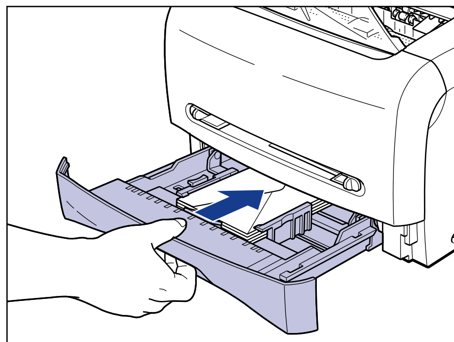


カセットにセットできる用紙の枚数は、以下の通りです。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

・はがき　　　約 50 枚
・往復はがき　約 50 枚
・封筒　　　　約 20 枚

9 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



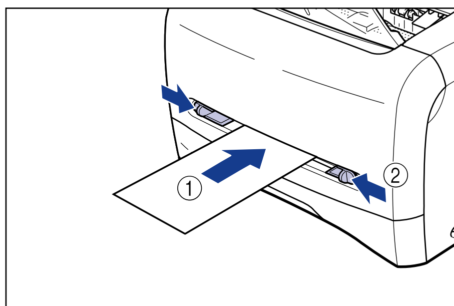
手差し給紙口に用紙をセットする

手差し給紙口に用紙をセットするときは、以下の手順で行います。
手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

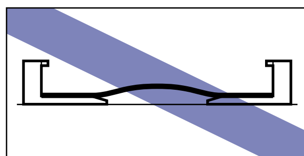
重要
- 手差し給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口の用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

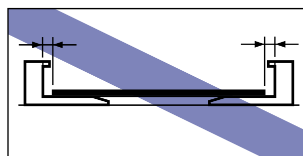
1 **用紙の先端 2cm 程を手差し給紙口に差し込み①、セットする用紙の幅に合わせて用紙ガイドを移動します②。**

用紙ガイドは左右が連動しています。

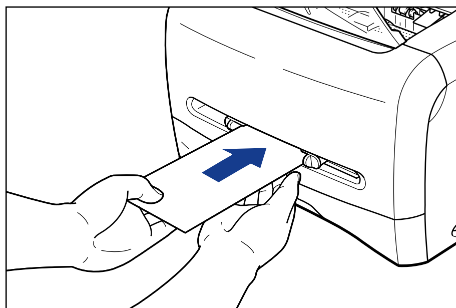


重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。





2 図のように用紙に手をそえて、用紙の印刷面を上にして奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

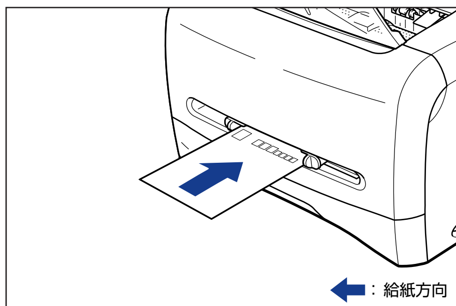


用紙をセットすると、給紙口に用紙が少し送られます。

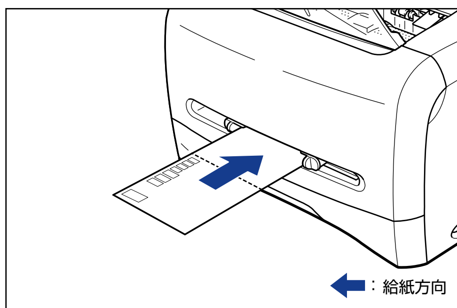
注意 用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- はがきに反りがあるときは、必ず反りを修正してセットしてください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。

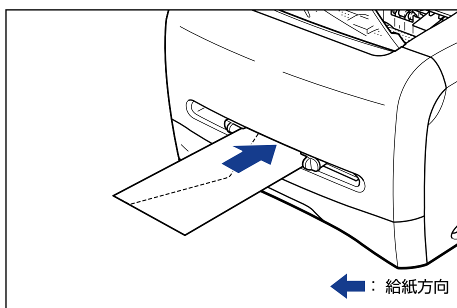
メモ
- はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端が奥側になるようにセットします。



- 往復はがきに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、はがきの上端が左側になるようにセットします。



- 封筒に印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、ふたが左側になるようにセットします。



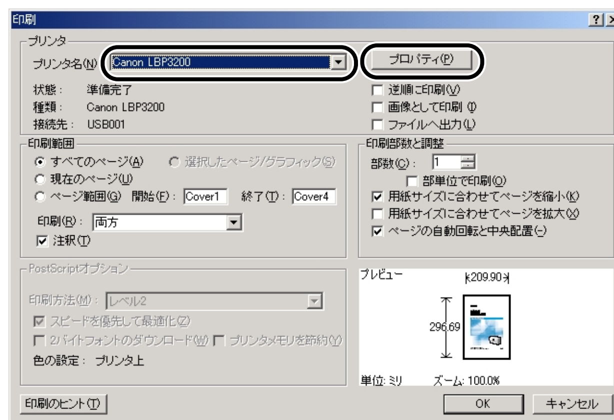
プリンタドライバの設定をして印刷する

プリンタドライバの設定をします。

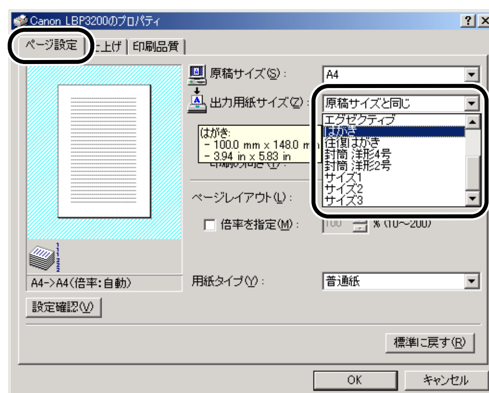


ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Mac OS をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

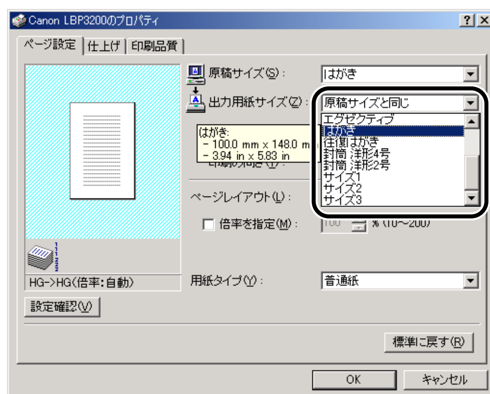




［出力用紙サイズ］の設定が［原稿サイズと同じ］に設定されている場合、［原稿サイズ］を［はがき］、［往復はがき］、［封筒 洋形４号］、［封筒 洋形２号］に設定すると自動的に適した用紙タイプが設定されますので、［用紙タイプ］を設定する必要はありません。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

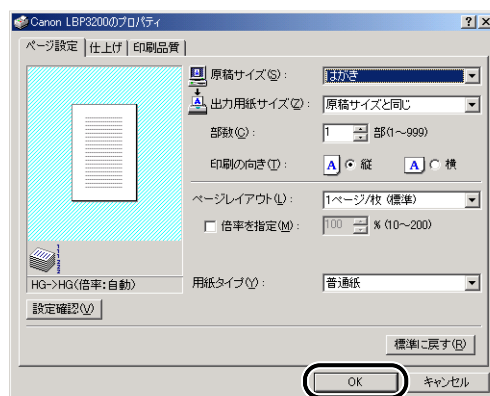
原稿サイズとカセットや手差し給紙口にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



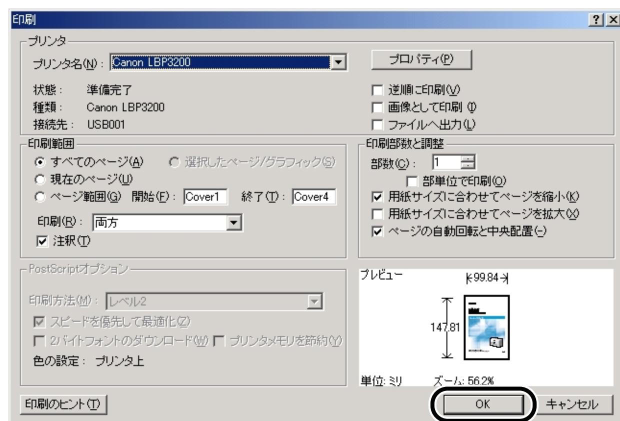
重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

メモ ［出力用紙サイズ］を［はがき］、［往復はがき］、［封筒 洋形 4 号］、［封筒 洋形 2 号］に設定すると自動的に適した用紙タイプが設定されますので、［用紙タイプ］を設定する必要はありません。

4 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



ユーザ定義用紙に印刷する

ユーザ定義用紙に印刷する方法を説明します。

ユーザ定義用紙をセットする

ユーザ定義用紙をセットするときは、以下の手順でセットします。手差し給紙口には、幅76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm のユーザ定義用紙がセットできます。

ユーザ定義用紙をセットできる給紙元は手差し給紙口のみです。カセットにはセットできません。

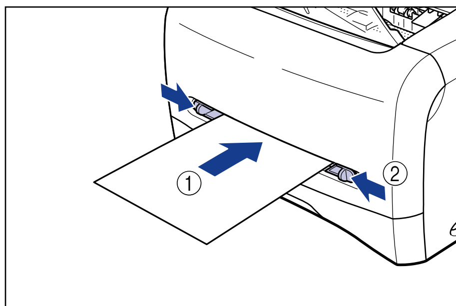
手差し給紙口に用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。

重要

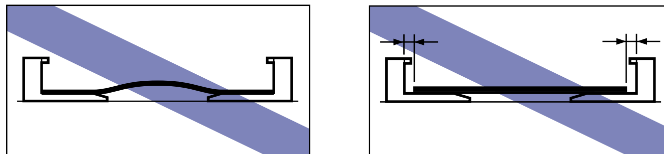
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.2-2）を参照してください。
- 手差し給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。
- 手差し給紙口からの複数部数や複数ページの設定を行っての印刷はできません。複数部数や複数ページの設定で印刷を行った場合、2 枚目以降は用紙サイズや用紙タイプに関わらずカセットから給紙されます。
- 印刷中は、手差し給紙口の用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 129g/m² 以上の厚紙に印刷した場合、印字品質が低下することがあります。

1 **用紙の先端 2cm 程を手差し給紙口に差し込み ①、セットする用紙の幅に合わせて用紙ガイドを移動します ②。**

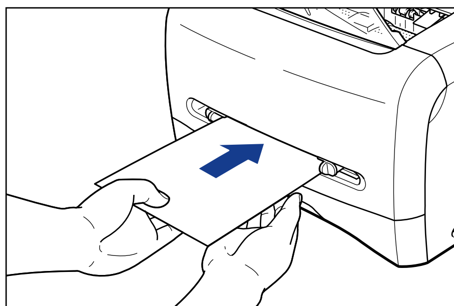
用紙ガイドは左右が連動しています。



重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



2 図のように用紙に手をそえて、用紙の印刷面を上にして奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

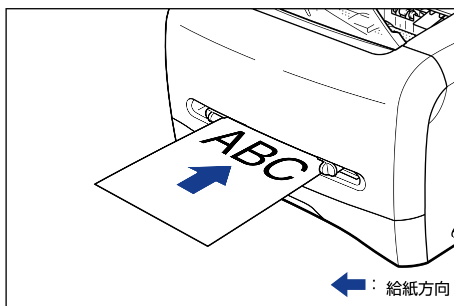


用紙をセットすると、給紙口に用紙が少し送られます。

注意　用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などを印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端が奥になるようにセットします。



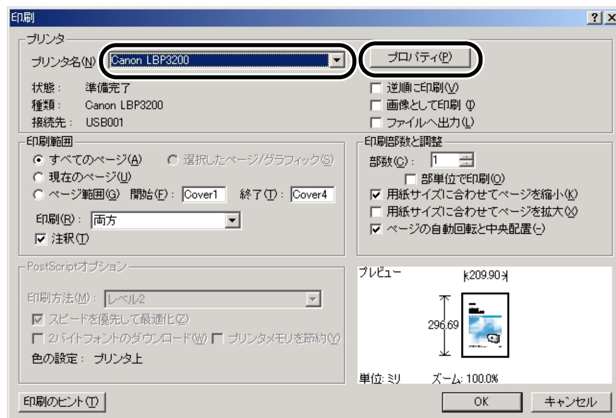
プリンタドライバの設定をして印刷する

プリンタドライバの設定をします。

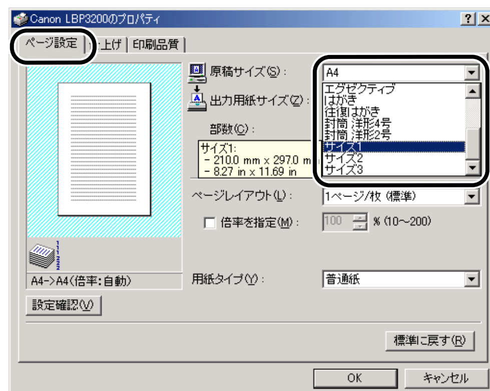


ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Mac OS をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。





ユーザ定義用紙を使用する場合は、あらかじめお使いになるユーザ定義用紙の用紙サイズを登録しておく必要があります。ユーザ定義用紙の用紙サイズの登録方法については「任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定する」（➞P.4-36）を参照してください。

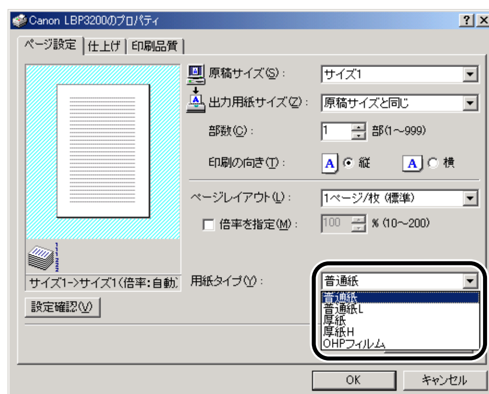
3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットしたユーザ定義用紙の名称（用紙サイズ）を選択します。

原稿サイズと手差し給紙口にセットした用紙サイズ（ユーザ定義用紙の名称）が同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

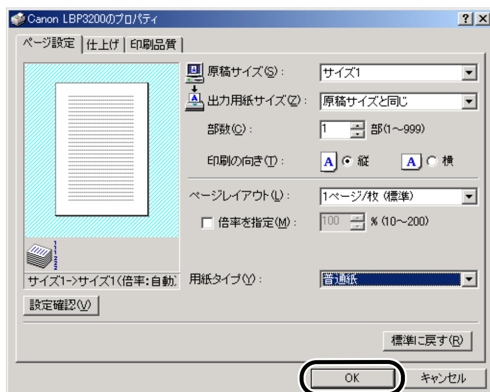
4 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙の場合は［普通紙］、厚紙の場合は［厚紙］を選択してください。

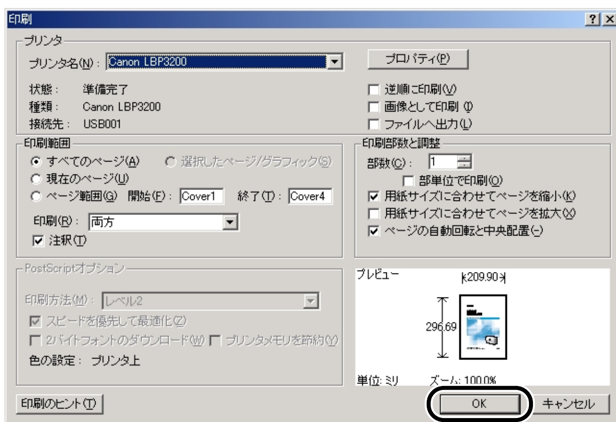


メモ
- 「普通紙」に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、「普通紙 L」に設定してお試しください。
- 「厚紙」に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、「厚紙 H」に設定してお試しください。

5 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



6 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



Windows の印刷環境を設定するには

3
CHAPTER

この章では、Windows にプリンタドライバをインストールする手順、ネットワーク環境で使用するための設定について説明しています。

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする（→P.3-4）
プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。

■ ネットワーク環境の設定をする（→P.3-34）
本プリンタをコンピュータの共有機能を使用してネットワークに接続する場合に、コンピュータの設定やクライアントへプリンタドライバをインストールします。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷設定をする
プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ 印刷を実行する
アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98/Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版

重要　日本語以外の OS には対応していません。

・動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP
CPU	PentiumII 300MHz以上	PentiumII 300MHz以上
メモリ（RAM）*	64MB以上	128MB以上
ハードディスク	15MB以上	15MB以上

（IBM-PC互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP
CPU	PentiumIII 600MHz以上	PentiumIII 600MHz以上
メモリ（RAM）	128MB以上	256MB以上

■ インタフェース環境

- USB：USB Full-Speed（USB1.1 相当）

メモ　サウンドをお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタをお使いのコンピュータに直接接続するときの、ソフトウェアのインストール方法を説明します。

重要
- CAPT ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中で次のようなダイアログボックスが表示されます。
  [OK] をクリックしてインストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。



メモ
本プリンタをネットワーク環境で使用するときは、「ネットワーク環境で使用する」(➞P.3-34)を参照してください。

Windows 98/Me の場合

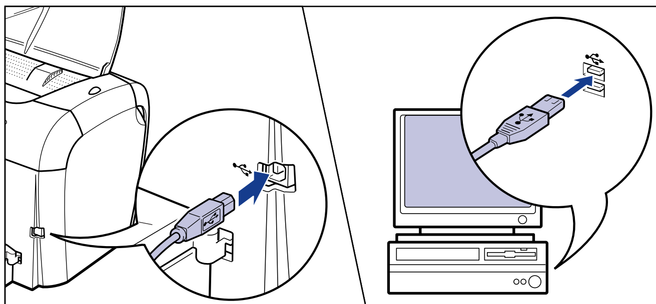
メモ
ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

CD-ROM からインストールする

1 **プリンタの電源がオフになっていることを確認します。**

重要
プリンタの電源は、インストールの手順の途中（手順 10）でオンにします。

2 **コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続します。**



3 Windowsの印刷環境を設定するには

3 コンピュータの電源を入れ、Windows 98/Me を起動します。

4 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。



CD-ROM メニューが表示されない場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥CAP4MNU.exe」と入力し、[OK] をクリックします。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

5 [ドライバインストール] をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

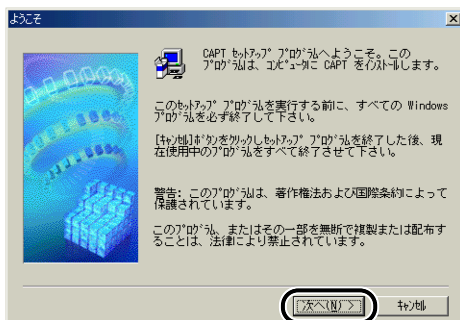
6 言語を確認し、[OK] をクリックします。



インストールの準備のあと、CAPT(Canon Advanced Printing Technology)ソフトウェアのインストーラが起動します。

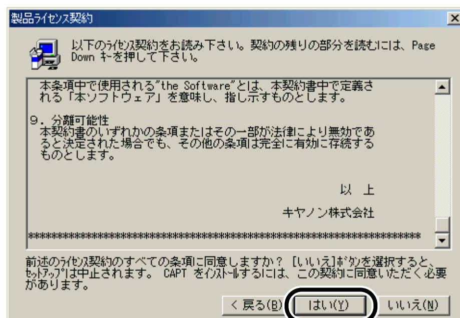
[ようこそ] ダイアログボックスが表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

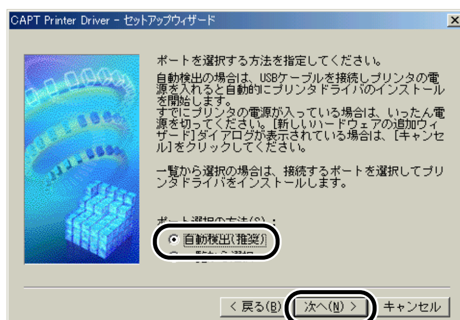


［製品ライセンス契約］ダイアログボックスが表示されます。

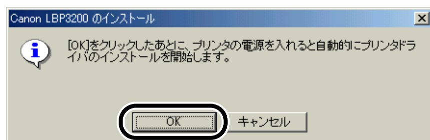
8 使用許諾契約書の内容を確認し、［はい］をクリックします。

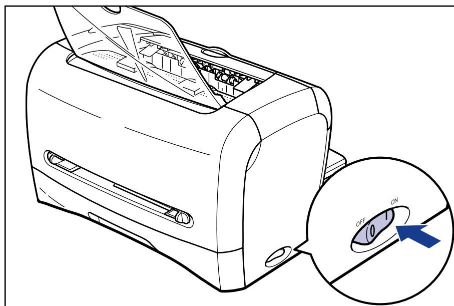


9 ［自動検出（推奨)］を選択して、［次へ］をクリックします。



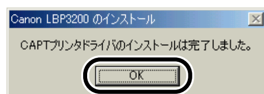
10 [OK] をクリックして、プリンタの電源スイッチの "|" 側を押し、プリンタの電源をオンにします。





プリンタドライバおよび USB クラスドライバのインストールが自動的に開始されます。

11 インストールが完了したら、[OK] をクリックします。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする



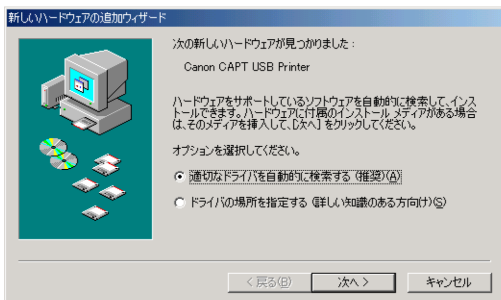
プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 98/Me を起動します。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

● Windows Me の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 2 へ進みます。



次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 9 へ進みます。



● Windows 98 の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順２へ進みます。



次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順９へ進みます。



2 **「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、［次へ］をクリックします。**

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択します。

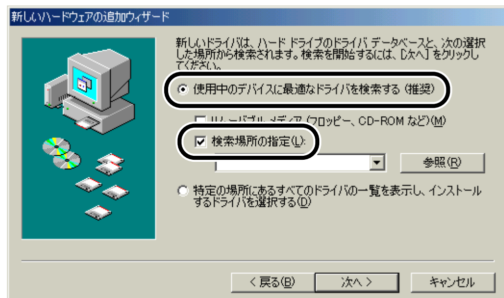


検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

3 **付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。**

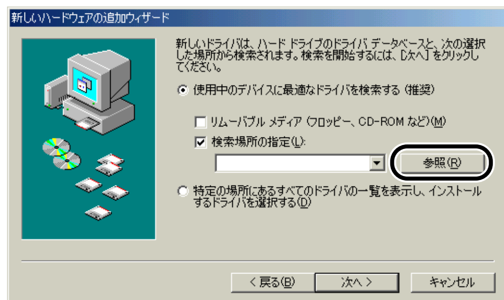
4 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付けます。

Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付けます。

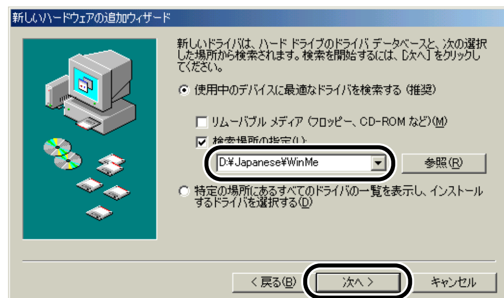


5 ［参照］をクリックし、フォルダを選択します。

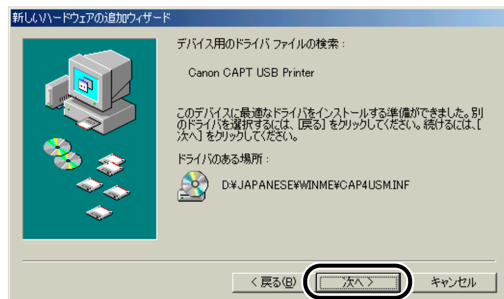
CD-ROM ドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥WinMe］を選択し、［OK］をクリックします。
Windows 98 の場合は、CD-ROM ドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win98］を選択し、［OK］をクリックします。



6 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



7 [次へ] をクリックします。



USB クラスドライバのインストールがはじまります。

8 [完了] をクリックします。



プリンタドライバを自動で検知します。しばらくお待ちください。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。
Windows 98 の場合は［次へ］をクリックします。



9 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択します。

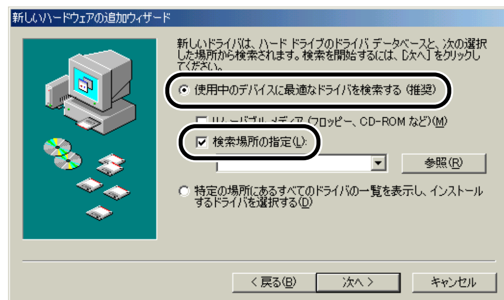


検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

10 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」が CD-ROM ドライブに入っていない場合は、付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。

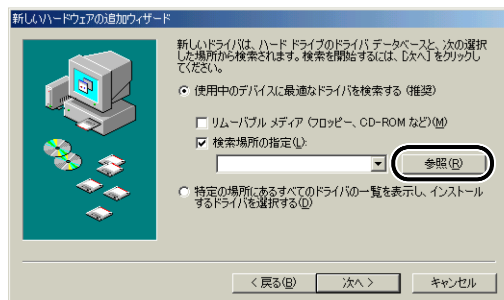
11 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選択し、[リムーバブル メディア(フロッピー、CD-ROM など)]のチェックマークを消し、[検索場所の指定]にチェックマークを付けます。

Windows 98 の場合は、[フロッピーディスクドライブ]と[CD-ROM ドライブ]のチェックマークを消し、[検索場所の指定]にチェックマークを付けます。

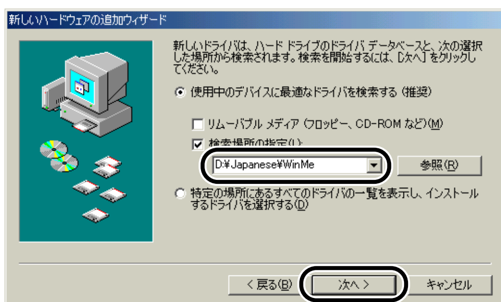


12 [参照]をクリックし、フォルダを選択します。

CD-ROM ドライブが[D:]のときは[D:¥Japanese¥WinMe]を選択し、[OK]をクリックします。
Windows 98 の場合は、CD-ROM ドライブが[D:]のときは[D:¥Japanese¥Win98]を選択します。



13 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

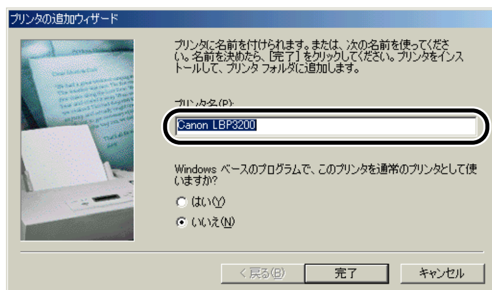


14 [次へ] をクリックします。



15 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力します。

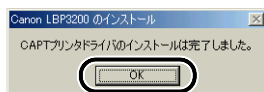
すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、[Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？] が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。



16 [完了] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

17 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。



[新しいハードウェアの追加ウィザードの完了] が表示されます。

18 [完了] をクリックします。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

CD-ROM からインストールする

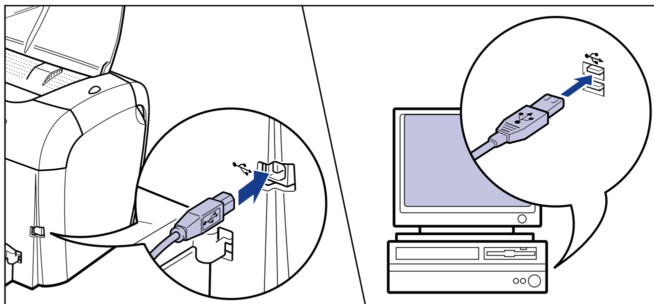
1 プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

重要 プリンタの電源は、インストールの手順の途中（手順 8）でオンにします。

3

Windowsの印刷環境を設定するには

2 コンピュータとプリンタをUSBケーブルで接続します。



3 コンピュータの電源を入れ、Windows 2000を起動します。

4 Administratorsのメンバーとしてログオンします。

メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

5 付属のCD-ROM「User Software for LBP3200」をCD-ROMドライブにセットします。

すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったんCD-ROMを取り出してもう一度セットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

メモ　CD-ROMメニューが表示されない場合は、[スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]を選択して「D:¥Japanese¥CAP4MNU.exe」と入力し、[OK]をクリックします。(ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

6 ［ドライバインストール］をクリックします。



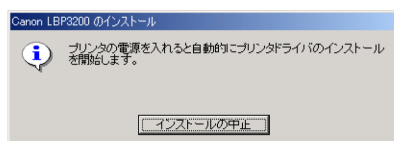
言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 言語を確認し、［OK］をクリックします。

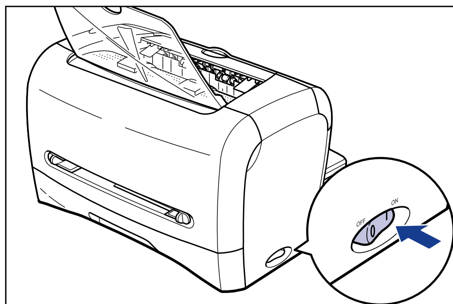


インストールの準備が開始されます。

8 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れます。

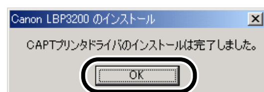


電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。



プリンタドライバおよび USB クラスドライバのインストールが自動的に開始されます。

9 次の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

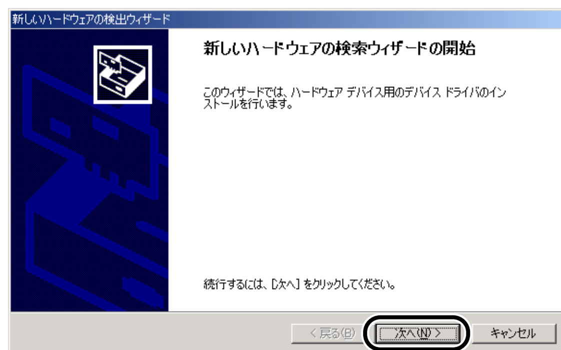
重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

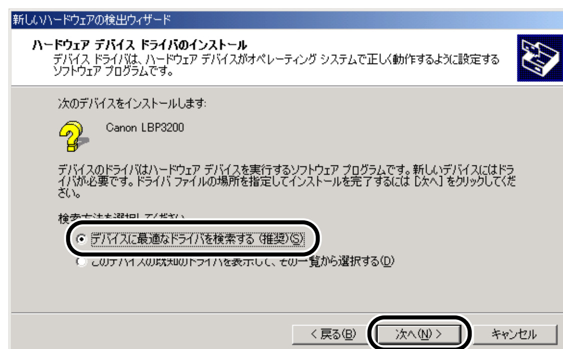
2 Administrators のメンバーとしてログオンします。

メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 [次へ] をクリックします。

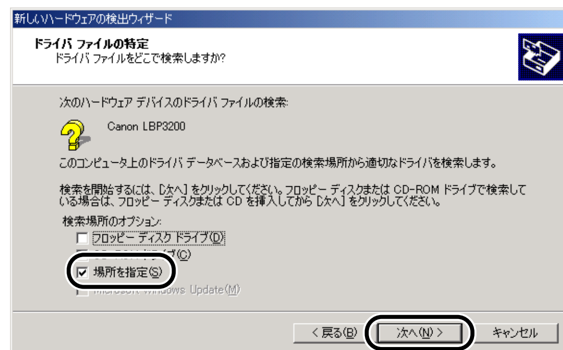


4 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

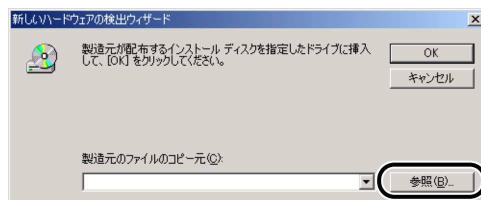


メモ　デバイスの名称が「不明」と表示されることがあります。

5 ［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［場所を指定］にチェックマークを付け、［次へ］をクリックします。



6 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

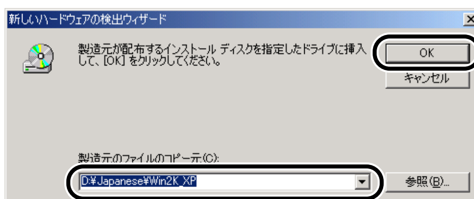


3
Windowsの印刷環境を設定するには

7 CD-ROM ドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CAP4STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

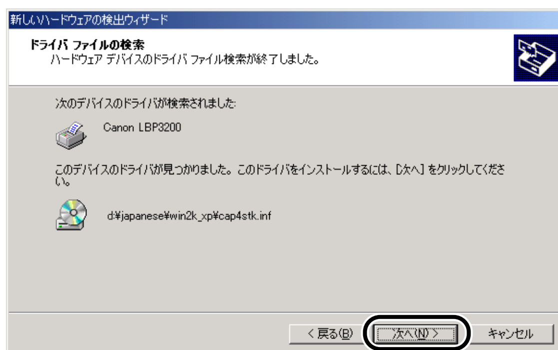


8 ［製造元のファイルのコピー元］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。



ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

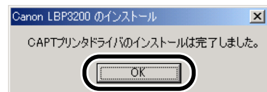


ファイルのコピーがはじまります。



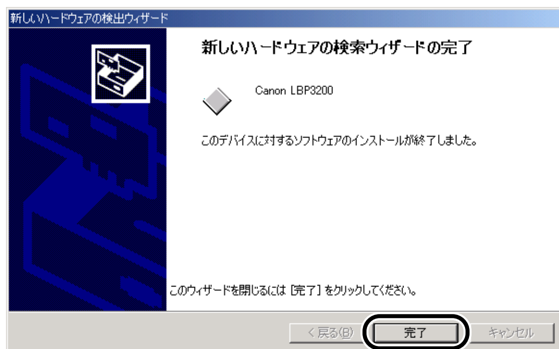
［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

10 次の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。



[新しいハードウェアの検索ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

11 [完了] をクリックします。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

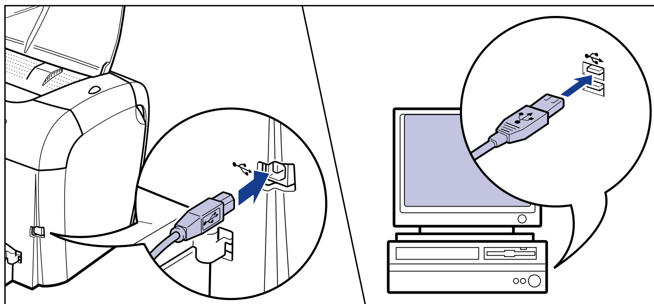
Windows XP の場合

CD-ROM からインストールする

1 プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

重要　プリンタの電源は、インストールの手順の途中（手順 8）でオンにします。

2 コンピュータとプリンタをUSBケーブルで接続します。



3 コンピュータの電源を入れ、Windows XPを起動します。

4 Administratorsのメンバーとしてログオンします。

メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

5 付属のCD-ROM「User Software for LBP3200」をCD-ROMドライブにセットします。

すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったんCD-ROMを取り出してもう一度セットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。

メモ　CD-ROMメニューが表示されない場合は、[スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]を選択して「D:¥Japanese¥CAP4MNU.exe」と入力し、[OK]をクリックします。（ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

6 ［ドライバインストール］をクリックします。



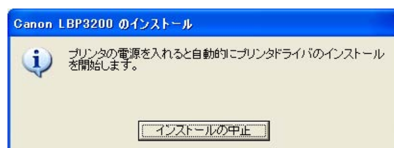
言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 言語を確認し、［OK］をクリックします。

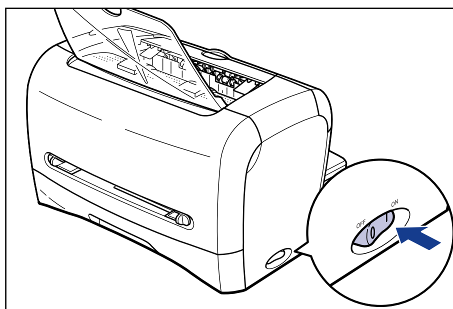


インストールの準備が開始されます。

8 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れます。

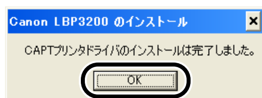


電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。



プリンタドライバおよび USB クラスドライバのインストールが自動的に開始されます。

9 次の画面が表示されたら、［OK］をクリックします。



重要

Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能（Windows ファイアウォール機能）があります。そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。（ネットワーク環境で使用する場合のみ、操作／設定を行う必要があります。）
詳しくは、付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」の［Japanese］フォルダ内に収められている「note_ex.pdf」を参照してください。

USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要

プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

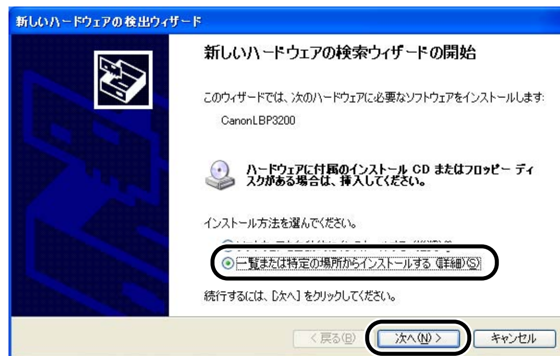
1 コンピュータの電源を入れて、Windows XP を起動します。

2 Administrators のメンバーとしてログオンします。

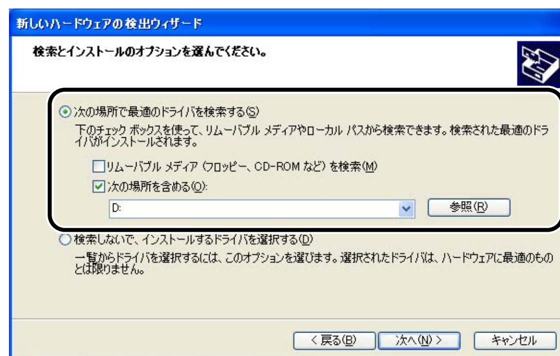
メモ

プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択して、付属のCD-ROM「User Software for LBP3200」をCD-ROMドライブにセットし、［次へ］をクリックします。



4 検索方法と参照するフォルダを選択します。



❑ ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択します。

❑ ［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックマークを消します。

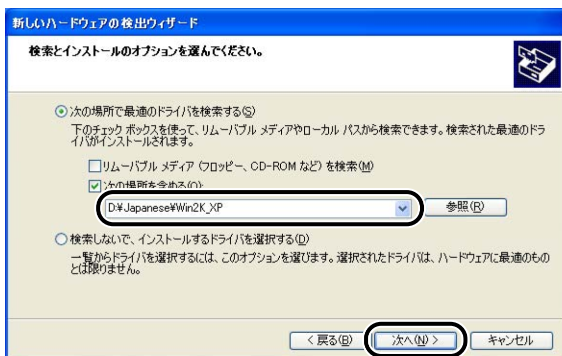
❑ ［次の場所を含める］にチェックマークを付けます。

❑ ［参照］をクリックし、フォルダを選択します。

CD-ROM ドライブが［D:］の場合は［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。

❑ ［OK］をクリックします。

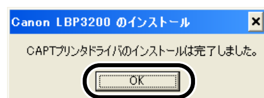
5 [次の場所を含める] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



インストール中の画面が表示されます。

メモ　[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

6 次の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。



[新しいハードウェアの検索ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

7 [完了] をクリックします。





Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能（Windows ファイアウォール機能）があります。そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。（ネットワーク環境で使用する場合のみ、操作／設定を行う必要があります。）
詳しくは、付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」の［Japanese］フォルダ内に収められている「note_ex.pdf」を参照してください。

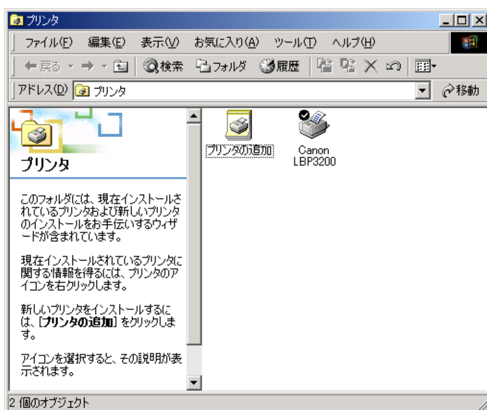
USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

インストールが完了すると（Canon LBP3200 グループ）

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、以下のように［Canon LBP3200］グループのアイコンやフォルダが作成されます。

■ Windows 98/Me/2000 の場合

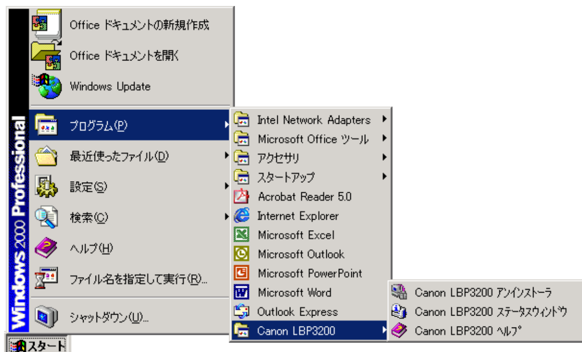
- ［プリンタ］フォルダに［Canon LBP3200］プリンタアイコンが表示されます。



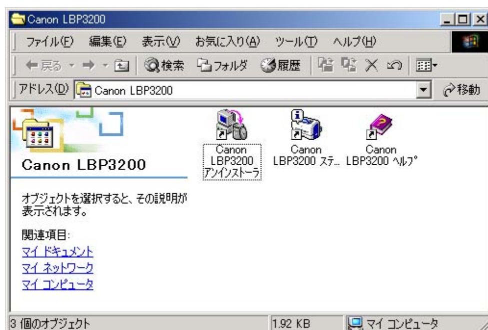
- デスクトップに［Canon LBP3200］フォルダのショートカットが作成されます。



- ［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon LBP3200］グループが追加されます。



デスクトップに作成された［Canon LBP3200］フォルダをダブルクリックすると、［Canon LBP3200］グループの各アイコンが表示されます。





・Canon LBP3200 アンインストーラ
CAPT ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すときに使用します。
アイコンをダブルクリックすると起動します。（➞P.3-48）



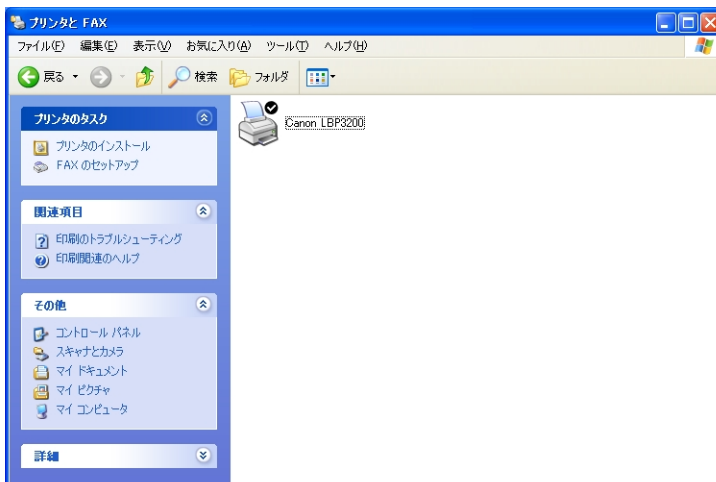
・Canon LBP3200 ステータスウィンドウ
プリンタや印刷のステータス（状況）を、アニメーションや音（サウンド）などで表示します。
また、印刷の一時停止・中止などができます。
プリンタステータスウィンドウを表示するときは、Windows のタスクバーにあるプリンタステータスウィンドウのアイコンをクリックし、ポップアップメニューの［Canon LBP3200］をクリックします。（➞P.4-46）



・Canon LBP3200 ヘルプ
本プリンタの CAPT ソフトウェアについて説明しています。
アイコンをダブルクリックすると開きます。

■ Windows XP の場合

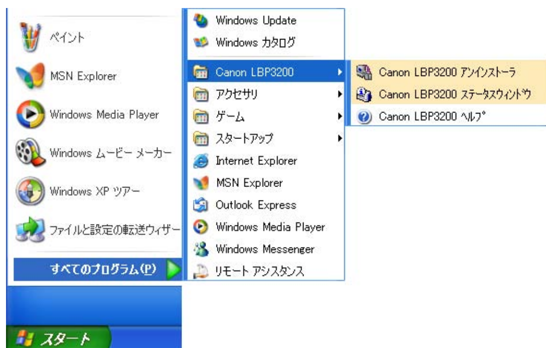
- ［プリンタと FAX］フォルダに［Canon LBP3200］プリンタアイコンが表示されます。



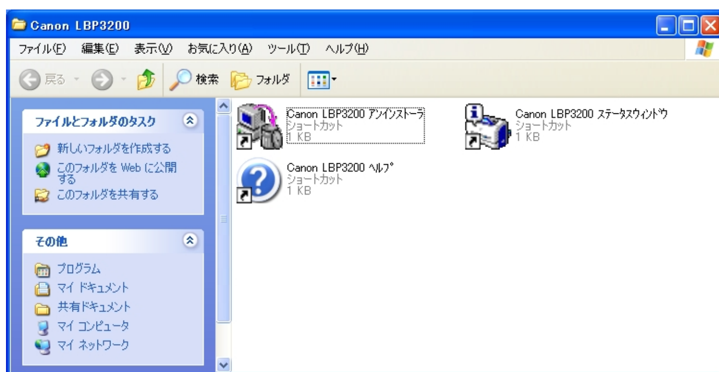
- デスクトップに［Canon LBP3200］フォルダのショートカットが作成されます。



- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBP3200］グループが追加されます。



デスクトップに作成された［Canon LBP3200］フォルダをダブルクリックすると、［Canon LBP3200］グループの各アイコンが表示されます。





・Canon LBP3200 アンインストーラ
CAPT ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すときに使用します。
アイコンをダブルクリックすると起動します。(→P.3-48)



・Canon LBP3200 ステータスウィンドウ
プリンタや印刷のステータス（状況）を、アニメーションや音（サウンド）などで表示します。
また、印刷の一時停止・中止などができます。
プリンタステータスウィンドウを表示するときは、Windows のタスクバーにあるプリンタステータスウィンドウのアイコンをクリックし、ポップアップメニューの［Canon LBP3200］をクリックします。(→P.4-46)



・Canon LBP3200 ヘルプ
本プリンタの CAPT ソフトウェアについて説明しています。
アイコンをダブルクリックすると開きます。

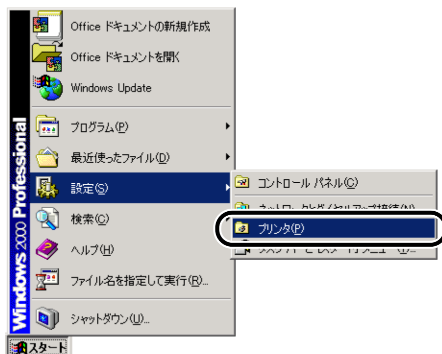
テストページの印刷方法

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順でテスト印刷を行ってください。

メモ　ここでは、Windows 2000 の画面例で説明します。

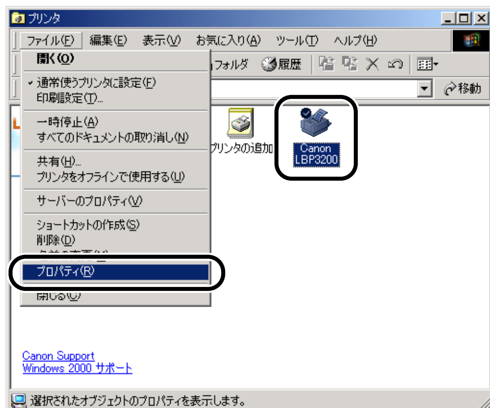
1 ［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニュー ➞［設定］➞［プリンタ］の順でクリックします。
Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー ➞［プリンタと FAX］の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー ➞［コントロールパネル］➞［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順でクリックします。



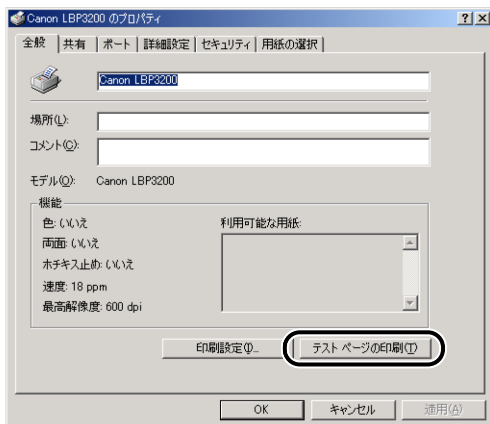
［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 [Canon LBP3200] アイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。



プリンタの [プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

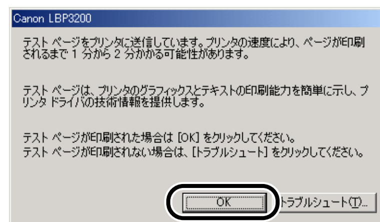
3 [全般] ページの [テストページの印刷] (Windows 2000/XP の場合)、[印字テスト] (Windows 98/Me の場合) をクリックします。



テストページの印刷が開始されます。

4 正しく印刷された場合は、[OK] をクリックします。

Windows 98/Me の場合は［はい］をクリックします。



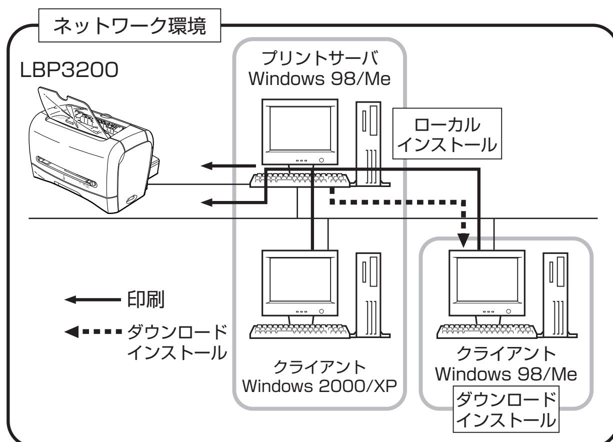


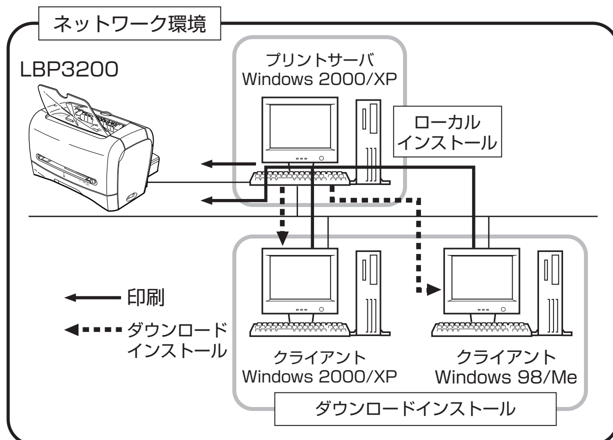
テストページが正しく印刷されなかった場合は、CAPT ソフトウェアをアンインストールし（インストールのトラブル ➞P.7-23）、コンピュータを再起動して、もう一度インストールの手順をやりなおしてください。

ネットワーク環境で使用する

本プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有プリンタとしてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータをプリントサーバ、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータをクライアントと呼びます。





プリントサーバ環境を使用する場合は次の設定を行ってください。

① プリントサーバへのローカルインストール（Windows 98/Me→P.3-4、Windows 2000→P.3-15、Windows XP→P.3-21）

② プリントサーバの設定（ネットワーク）（Windows 98/Me→P.3-35、Windows 2000 /XP→P.3-39）
③ プリントサーバの設定（プリンタの共有）（Windows 98/Me→P.3-38、Windows 2000 /XP→P.3-41）
④ クライアントへのインストール（→P.3-44）

重要　Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能（Windows ファイアウォール機能）があります。そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。（ネットワーク環境で使用する場合のみ、操作／設定を行う必要があります。）
詳しくは、付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」の［Japanese］フォルダ内に収められている「note_ex.pdf」を参照してください。

メモ　プリントサーバ、クライアントは共に、Windows 98/Me または Windows 2000/XP の OS が動作している必要があります。

プリントサーバの設定

Windows 98/Me の場合

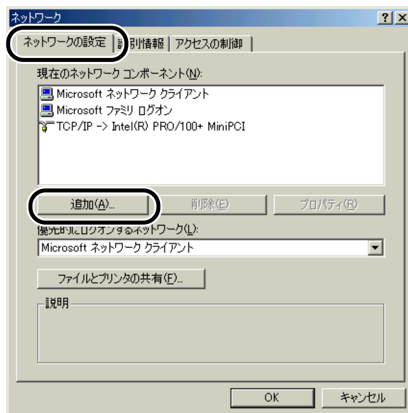
メモ　ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

■ネットワークの設定

1 ［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］アイコンの順にダブルクリックします。

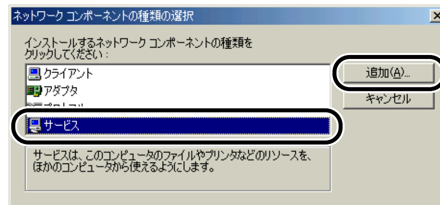
［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［ネットワークの設定］ページを表示し、［追加］をクリックします。

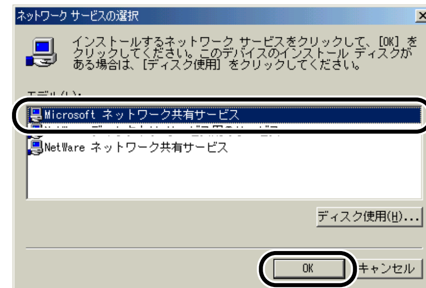


［ネットワークコンポーネントの種類の選択］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［サービス］アイコンを選択し、［追加］をクリックします。

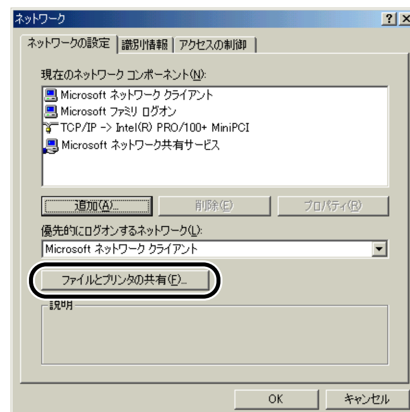


4 ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。

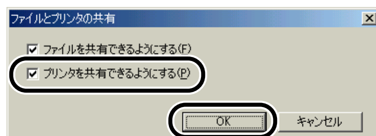


［ネットワークコンポーネントの種類の選択］ダイアログボックスが一度表示され、［ネットワーク］ダイアログボックスに戻ります。

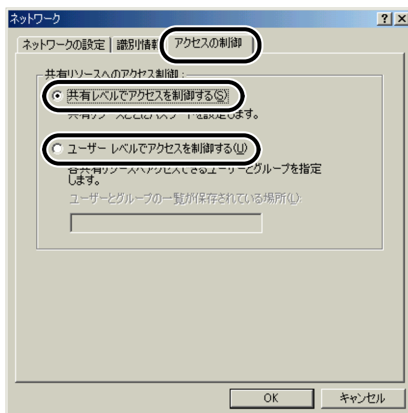
5 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。



6 ［プリンタを共有できるようにする］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。



7 ［アクセスの制御］ページを表示し、［共有レベルでアクセスを制御する］または［ユーザーレベルでアクセスを制御する］のどちらかを選択します。



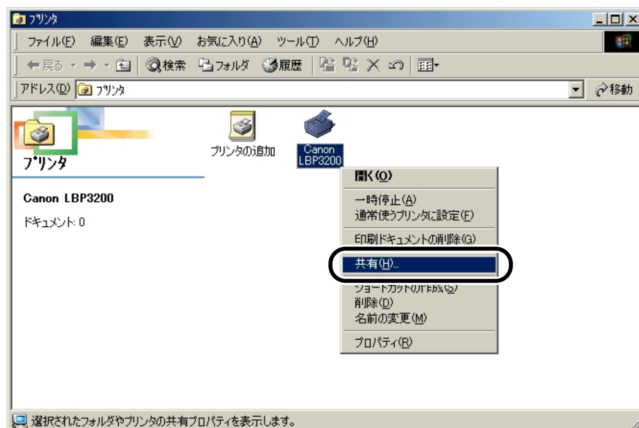
8 ［OK］をクリックし、Windows を再起動します。

■プリンタの共有設定

1 **［スタート］メニュー→［設定］→［プリンタ］を選択します。**

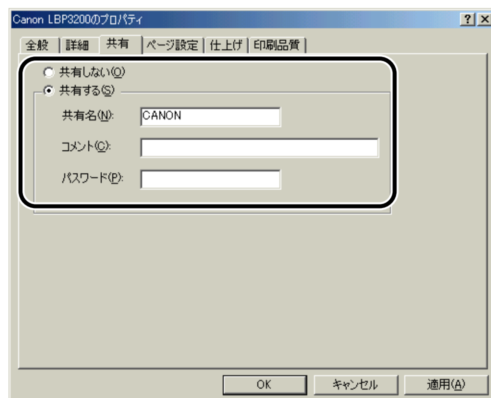
［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 **［Canon LBP3200］アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［共有］を選択します。**



プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 **［共有する］を選択します。必要に応じて［共有名］を変更し、［コメント］、［パスワード］を入力します。**



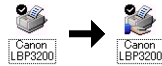
メモ

- 「ネットワークの設定」の手順 7（→P.3-37）で、［ユーザーレベルでアクセス制御する］を選択している場合は、［追加］をクリックしてプリンタを使用するユーザを選択します。

- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタアイコンが、プリンタ共有アイコンに変更されます。



Windows 2000/XP の場合

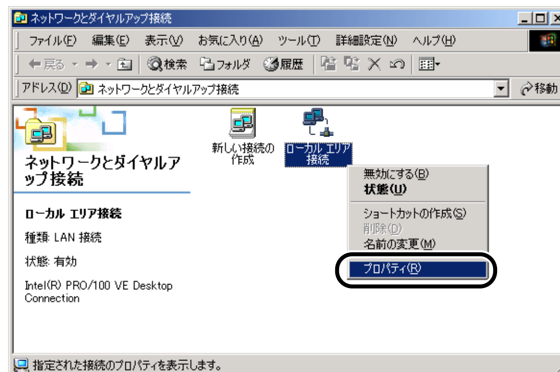
メモ　ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

■ネットワークの設定

1 Windows 2000 の場合は、［スタート］メニュー→［設定］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。Windows XP の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順に選択します。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークとダイヤルアップ接続］ダイアログボックスが表示されます。
Windows XP の場合は、［ネットワーク接続］ダイアログボックスが表示されます。

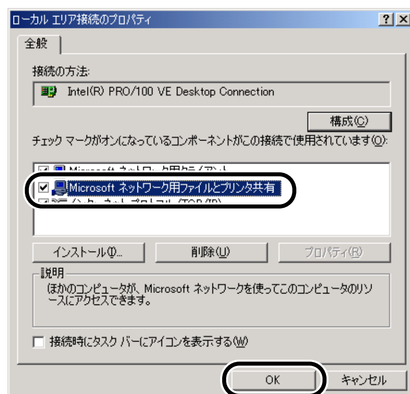
2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。



［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3　Windowsの印刷環境を設定するには

3 [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。



■プリンタの共有設定

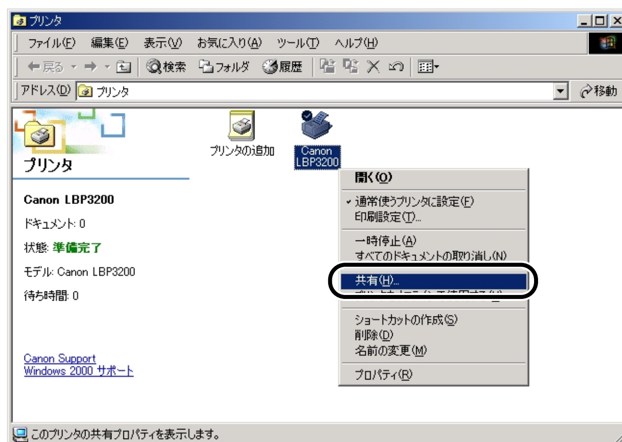


Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

1 **Windows 2000 の場合は、［スタート］メニュー→［設定］→［プリンタ］の順でクリックします。**
Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー→［プリンタと FAX］の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順でクリックします。

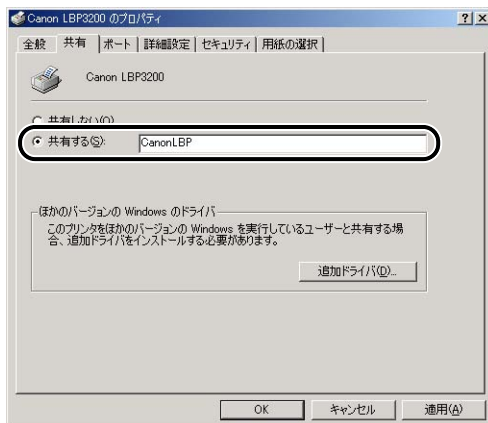
［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 **［Canon LBP3200］アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。**



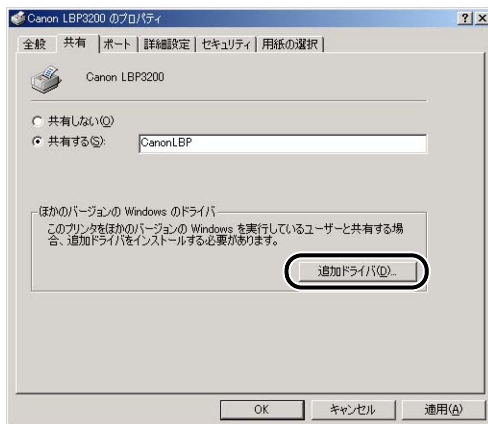
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［共有する］（Windows XP の場合は［このプリンタを共有する］）を選択します。必要に応じて共有名を変更します。



メモ
- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 ［追加ドライバ］をクリックします。



［追加ドライバ］ダイアログボックスが表示されます

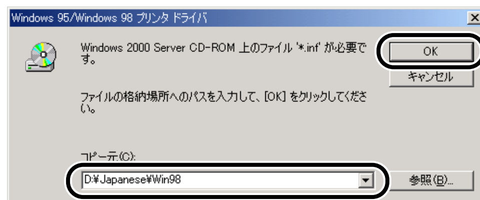
5 Windows 2000の場合は［Windows 95または98］、Windows XPの場合は、［Windows 95、98またはMe］を選択し、［OK］をクリックします。



6 付属のCD-ROM「User Software for LBP3200」をCD-ROMドライブにセットします。

［ディスクの挿入］ダイアログボックスが表示された場合は、［OK］をクリックします。

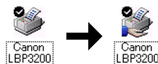
7 CD-ROMドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win98］を選択し、［OK］をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。

8 ［閉じる］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。



クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法として、ダウンロードインストールについて説明します。

メモ
- クライアントは、Windows 98/MeとWindows 2000/XPのどちらでも利用できます。
- プリントサーバが Windows 98/Me の場合、Windows 2000/XP へのダウンロードインストールはできません。

[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

重要　Windows 2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

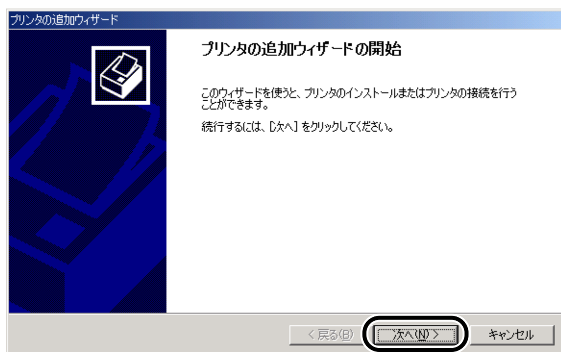
メモ　ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

1 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

Windows XP Professional の場合は、[スタート] メニュー → [プリンタと FAX] → [プリンタのインストール] の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニュー → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] → [プリンタのインストール] の順でクリックします。

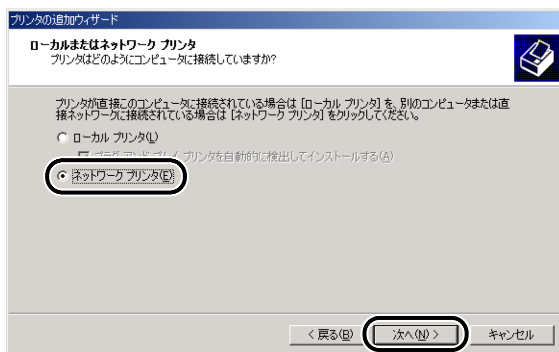
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

2 [次へ] をクリックします。

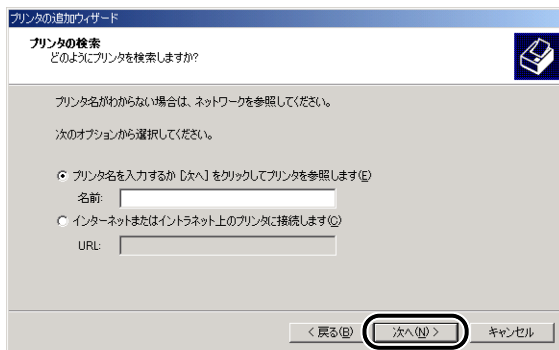


3 Windowsの印刷環境を設定するには

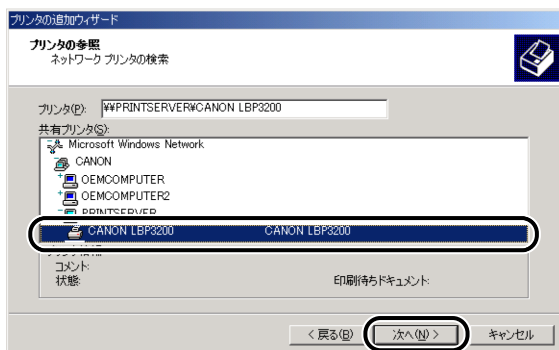
3 ［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。



4 Windows 2000/XP の場合は、［次へ］をクリックします。Windows 98/Me の場合は、［参照］をクリックします。

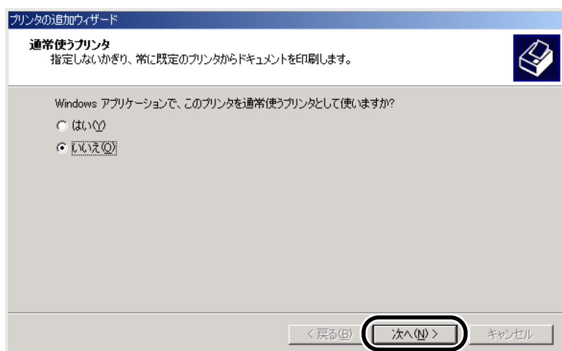


5 プリントサーバのディレクトリを選択して、［次へ］をクリックします。

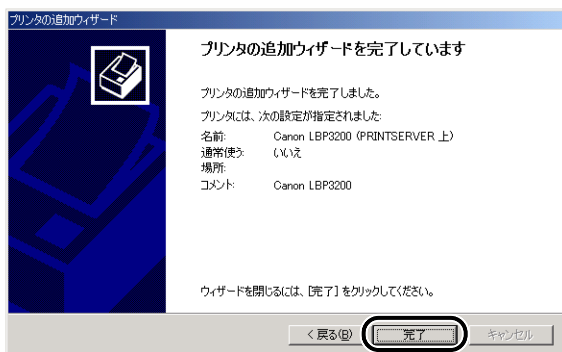


Windows 98/Me の場合は、手順 7 へ進みます。

6 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



7 [完了] をクリックします。



メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

[エクスプローラ] からインストールする

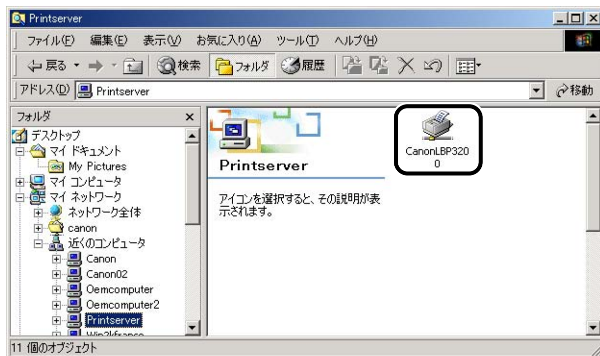
1 Windows Me/2000/XP の場合は、[スタート] メニュー→ [プログラム]（Windows XP の場合は [すべてのプログラム]）→ [アクセサリ] → [エクスプローラ] の順にクリックします。

Windows 98 の場合は、[スタート] メニュー → [プログラム] → [エクスプローラ] の順にクリックします。

[エクスプローラ] ダイアログボックスが表示されます。

2 ［マイ ネットワーク］（Windows 98 の場合は［ネットワークコンピュータ］）からプリントサーバを選択し、［Canon LBP3200］アイコンをダブルクリックします。

または、［Canon LBP3200］アイコンを［プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップします。



3 ［プリンタ］ダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

3

Windowsの印刷環境を設定するには

CAPT ソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

重要 プリンタドライバが Administrators の権限で起動された Windows 2000/XP にインストールされている場合、その他の権限で起動された Windows 2000/XP からはアンインストールできません。必ず、Administrators の権限で起動した Windows 2000/XP からアンインストールしてください。

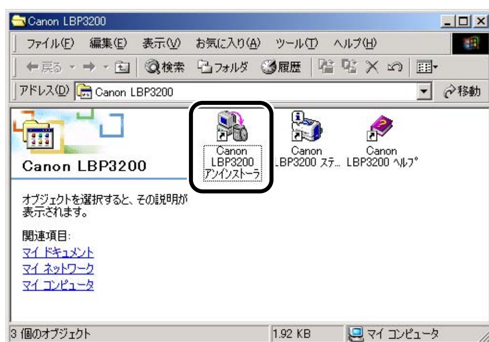
3

Windowsの印刷環境を設定するには

1 次に示したファイルやプログラムをすべて閉じてください。

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

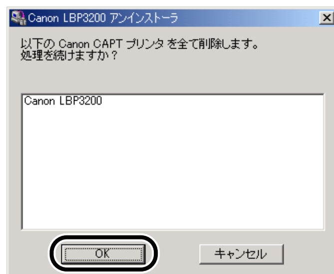
2 デスクトップの [Canon LBP3200] フォルダを開き、[Canon LBP3200 アンインストーラ] アイコンをダブルクリックします。



[Canon LBP3200 アンインストーラ] ダイアログボックスが表示されます。

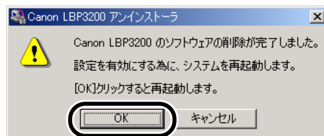
[Canon LBP3200 アンインストーラ] ダイアログボックスは、[スタート] メニュー→ [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) → [Canon LBP3200] の順に選択し [Canon LBP3200 アンインストーラ] をクリックして表示させることもできます。

3 [OK] をクリックします。



アンインストールが実行され、再起動画面が表示されます。

4 [OK] をクリックします。



Windows が再起動します。



アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」（➞P.7-24）を参照してください。

Windows から印刷するには

4

CHAPTER

この章では、Windows から印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。

アプリケーションソフトから印刷する

CAPT ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。

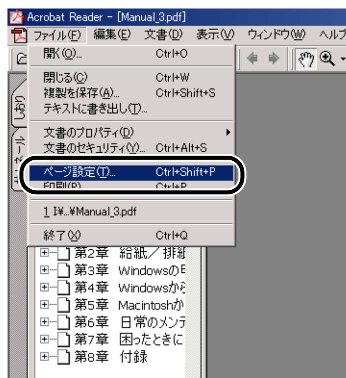
ここでは、Acrobat Reader を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

1 用紙をカセットまたは手差し給紙口にセットします。

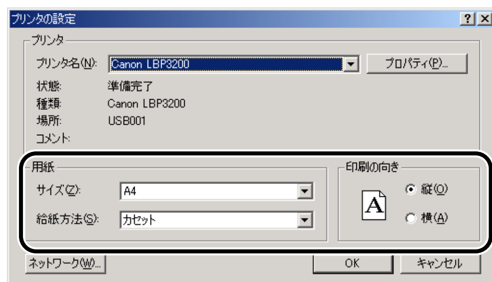


普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する場合は、「普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する」(→P.2-14)を、封筒、はがき、往復はがきに印刷する場合は、「はがき、往復はがき、封筒に印刷する」(→P.2-25)を、ユーザ定義用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義用紙に印刷する」(→P.2-38)を参照してください。

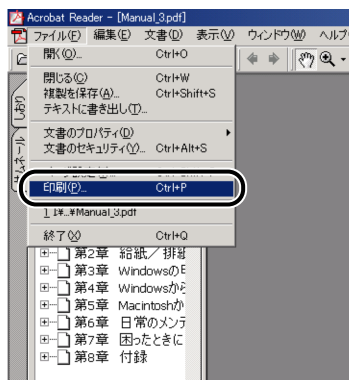
2 印刷するPDFファイルをAcrobat Readerで開き、[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。



3 印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定して［OK］をクリックします。



4 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

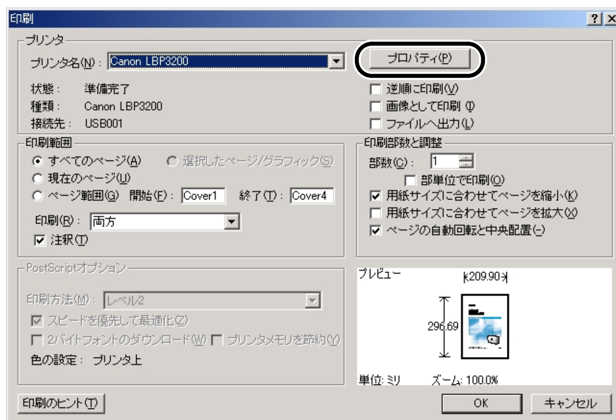


プリンタドライバが起動し、［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

5 [プリンタ名] で [Canon LBP3200] を選択し、印刷条件を設定します。



6 さらに詳しい印刷条件を設定したい場合は、[プロパティ] をクリックします。

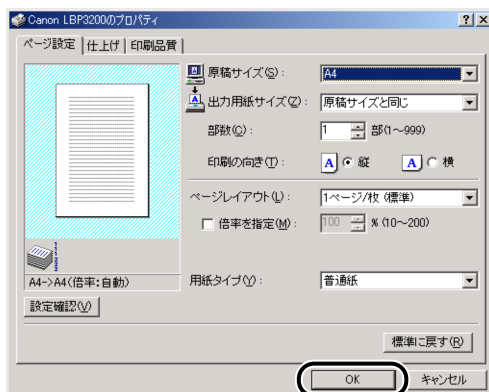


プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



- ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタ］フォルダ（Windows XP の場合は、［プリンタと FAX］フォルダ）で変更することができます。
- プリンタプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

7 [ページ設定]、[仕上げ]、[印刷品質] の各ページで印刷条件を設定したあと、[OK] をクリックします。



[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

メモ　[ページ設定] ページの内容は、印刷するたびに確認することをおすすめします。

8 [OK] をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ
- 正常に印刷できないときは、「第 7 章 困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」(➞P.4-16) では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

印刷を中止する

本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。

1 印刷を開始します。

プリンタステータスウィンドウが表示されます。



プリンタステータスウィンドウの［環境設定］メニューの［プリンタステータスウィンドウの表示］の設定によっては、プリンタステータスウィンドウが表示されない場合があります。（→ 環境設定メニューについて：P.4-48）

2 ツールバーで行いたい操作のボタンをクリックします。



● **印刷を一時停止する** の前に:

● **印刷を中止する**

❏ ［　］（印刷中止）をクリックします。

● **印刷を一時停止する**

❏ ［　］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

❏ ［　］（再開）をクリックします。

印刷条件を設定する

LBP3200 では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示させ、それぞれのダイアログボックスにある各ページの機能を設定します。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

Windows 98/Me の場合

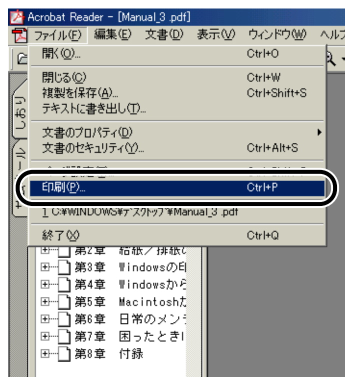
アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべての印刷ジョブに対しての初期設定を指定することができます。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Acrobat Reader を例に手順を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

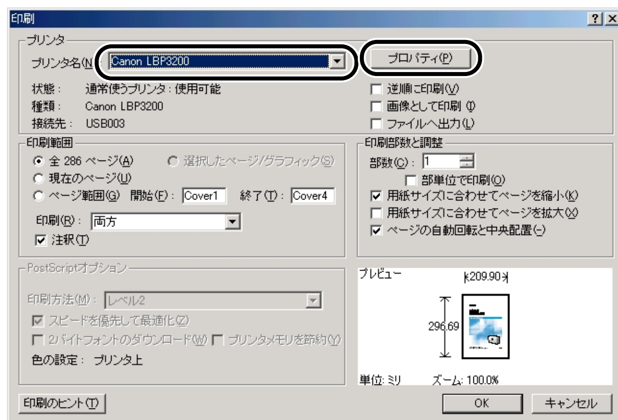


［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

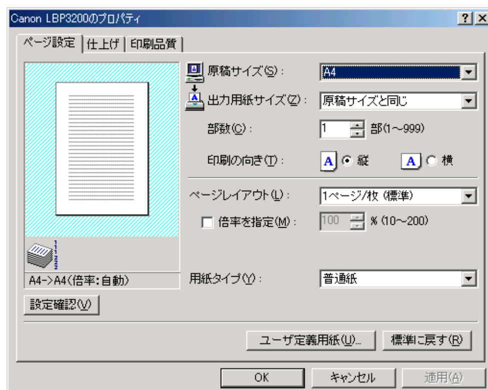


お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 プリンタ名を確認し、[プロパティ] をクリックします。

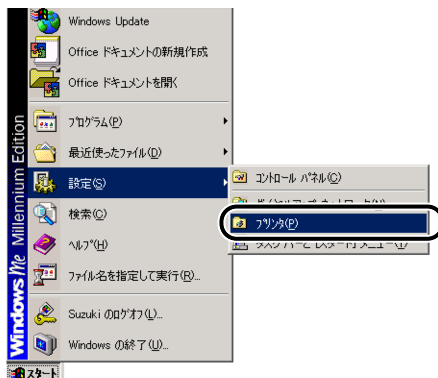


[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



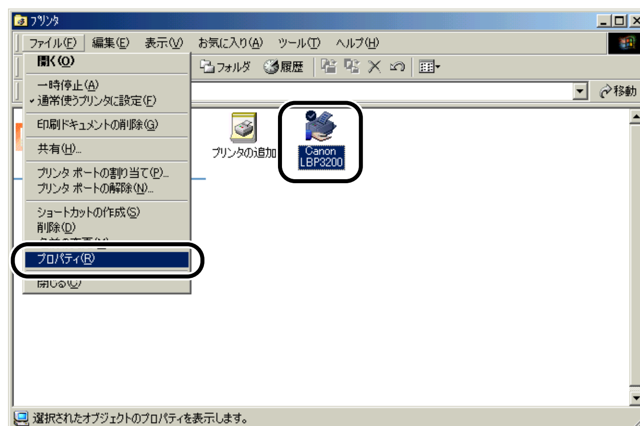
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。



［プリンタ］フォルダが表示されます。

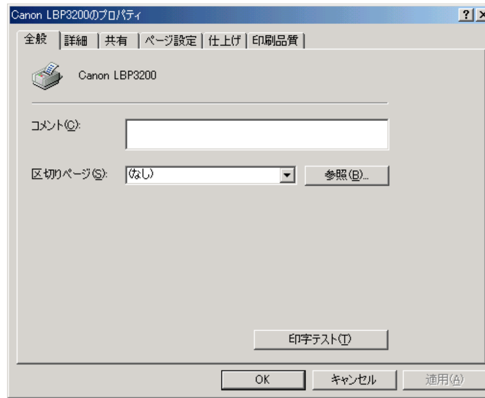
2 ［Canon LBP3200］アイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



4

Windowsから印刷するには

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。





［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、［Canon LBP3200］アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

Windows 2000/XP の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべての印刷ジョブに対しての初期設定を指定することができます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、ユーザ定義用紙を選択することなどができます。

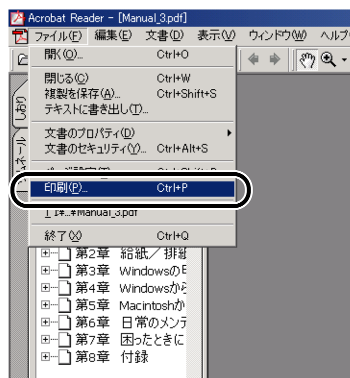


［プリンタ］フォルダの設定は、プリンタのフルコントロールアクセス権を持っている必要があります。［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトから表示してください。

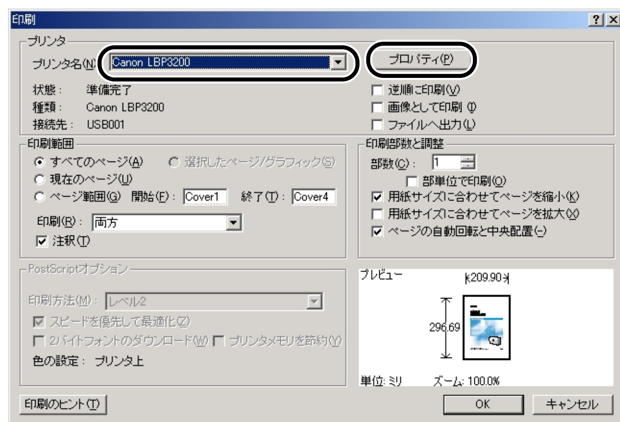
アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Acrobat Reader を例に手順を説明します。

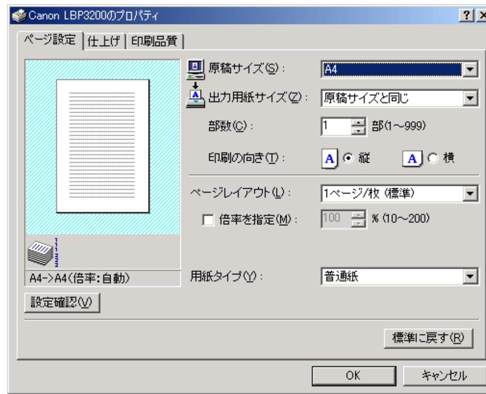
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。



2 プリンタ名を確認し、［プロパティ］をクリックします。



［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

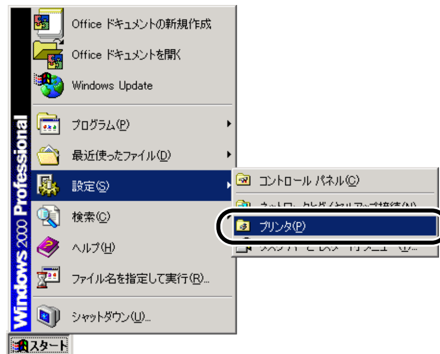


メモ　［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスは、［Canon LBP3200］アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても表示できます。

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

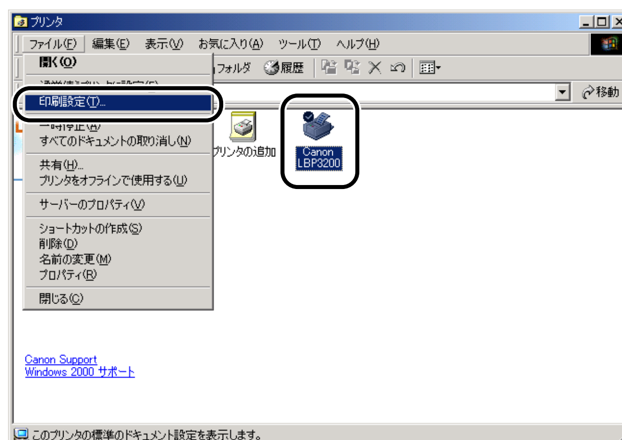
1 **［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。**

Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー→［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］を選択します。

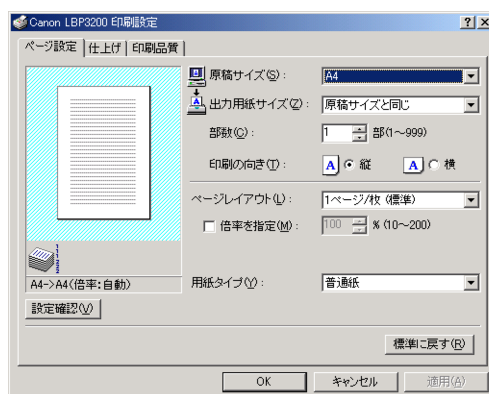


［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 [Canon LBP3200] アイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから、[印刷設定] を選択します。



[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



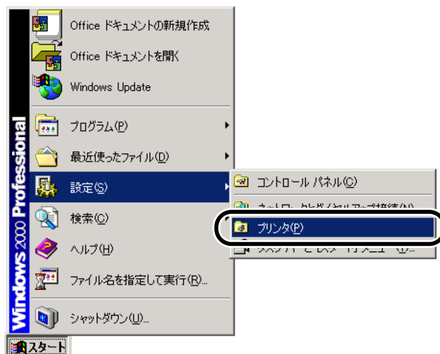


[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスは、[Canon LBP3200] アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [印刷設定] を選択しても表示できます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

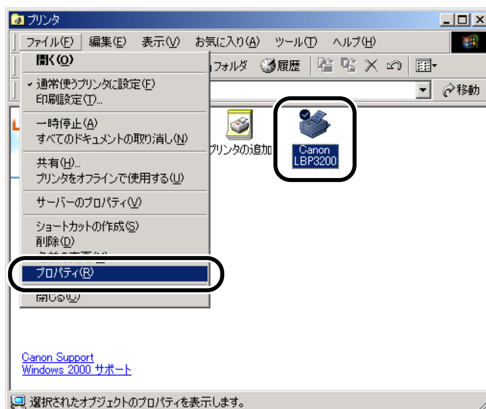
1 ［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー➞［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー➞［コントロールパネル］➞［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］を選択します。

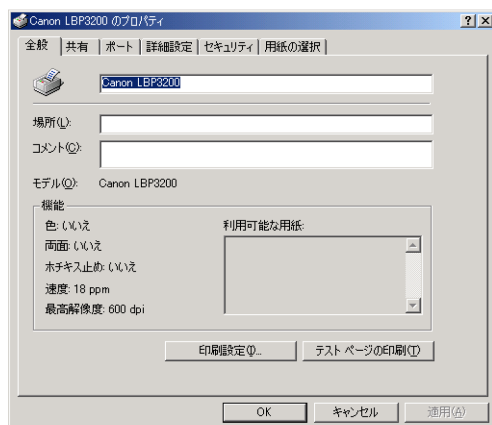


［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 ［Canon LBP3200］アイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。





［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、［Canon LBP3200］アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

いろいろな印刷機能を使用する

Windows 98/Me の場合

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページの見出し部分をクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［詳細］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［印刷品質］ページ



操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは次の方法で表示できます。表示したオンラインヘルプを閉じるときはオンラインヘルプ内をクリックします。

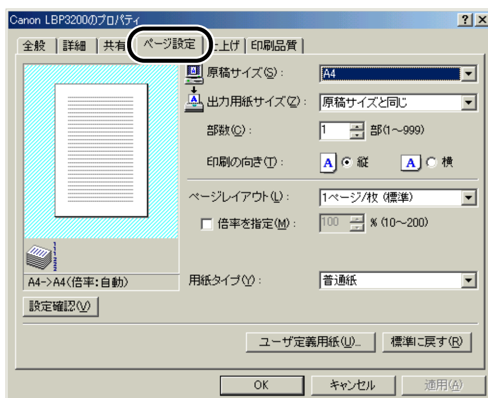
・コンピュータのキーボードの［Tab］キーを押して表示させたい項目を選択し、［F1］キーを押します。

・表示させたい項目を右クリックし、ポップアップメニューの［ヘルプ］をクリックします。

・［タイトルバー］の［?］（ヘルプ）をクリックし、［?］のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。

[ページ設定] ページ

[ページ設定] ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 原稿サイズ

[原稿サイズ] プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる [原稿サイズ] は以下のとおりです。

- A3 (297.0mm × 420.0mm、11.69inch × 16.54inch)
- B4 (257.0mm × 364.0mm、10.12inch × 14.33inch)
- A4 (210.0mm × 297.0mm、8.27inch × 11.69inch)
- B5 (182.0mm × 257.0mm、7.17inch × 10.12inch)
- A5 (148.0mm × 210.0mm、5.83inch × 8.27inch)
- レター (215.9mm × 279.4mm、8.50inch × 11.00inch)
- リーガル (215.9mm × 355.6mm、8.50inch × 14.00inch)
- エグゼクティブ (184.1mm × 266.7mm、7.25inch × 10.50inch)
- はがき (100.0mm × 148.0mm、3.94inch × 5.83inch)
- 往復はがき (148.0mm × 200.0mm、5.83inch × 7.87inch)
- 封筒 洋形 4 号 (105.0mm × 235.0mm、4.13inch × 9.25inch)
- 封筒 洋形 2 号 (114.0mm × 162.0mm、4.49inch × 6.38inch)
- サイズ 1 (ユーザ定義用紙、名称は変更可) (➞P.4-36)
- サイズ 2 (ユーザ定義用紙、名称は変更可) (➞P.4-36)
- サイズ 3 (ユーザ定義用紙、名称は変更可) (➞P.4-36)

■ 出力用紙サイズ

[出力用紙サイズ] プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

選択できる [出力用紙サイズ] は以下のとおりです。

- 原稿サイズと同じ
- A4 (210.0mm × 297.0mm、8.27inch × 11.69inch)
- B5 (182.0mm × 257.0mm、7.17inch × 10.12inch)

- A5 (148.0mm × 210.0mm、5.83inch × 8.27inch)
- レター (215.9mm × 279.4mm、8.50inch × 11.00inch)
- リーガル (215.9mm × 355.6mm、8.50inch × 14.00inch)
- エグゼクティブ (184.1mm × 266.7mm、7.25inch × 10.50inch)
- はがき (100.0mm × 148.0mm、3.94inch × 5.83inch)
- 往復はがき (148.0mm × 200.0mm、5.83inch × 7.87inch)
- 封筒 洋形 4 号 (105.0mm × 235.0mm、4.13inch × 9.25inch)
- 封筒 洋形 2 号 (114.0mm × 162.0mm、4.49inch × 6.38inch)
- サイズ 1（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（→P.4-36）
- サイズ 2（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（→P.4-36）
- サイズ 3（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（→P.4-36）



- ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
- ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
- ［原稿サイズ］が A3 または B4 のとき、［出力用紙サイズ］を［原稿サイズと同じ］に設定した場合は、原稿を縮小して、A4 用紙（デフォルト）に印刷します。
- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］ページで設定する必要はありません。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力します。設定できる部数は、1 ～ 999 部です。

■ 印刷の向き

印刷する用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。

［印刷の向き］で［縦］または［横］をクリックします。

■ ページレイアウト（→P.4-33）

1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

選択できるページ数は、1、2、4、8、9 ページ／枚のいずれかです。

2、4、8、9 ページ／枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示され、ページを並べる順番を選択できます。

■ 倍率を指定／配置順（→P.4-34）

［ページレイアウト］で 1 ページ／枚を選択しているときは［倍率を指定］が表示されます。2、4、8、9 ページ／枚を選択しているときは［配置順］が表示されます。

- ［倍率を指定］：［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定］を選択し、スピンボックスの数値を変更します。設定できる倍率は 10 ～ 200% です。
- ［配置順］：1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷するとき、ページを並べる順番を選択できます。

■ 用紙タイプ

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。

次のように設定してください。

用紙の種類	ドライバの設定
普通紙（64 ～ 90g/m^2）	[普通紙]、[普通紙 L] *1
厚紙（91 ～ 163g/m^2）	[厚紙]、[厚紙 H] *2
OHP フィルム	[OHP フィルム]
ラベル用紙	[厚紙]、[厚紙 H] *3
はがき	*4
往復はがき	*4
封筒	*5

*1 [普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、[普通紙 L] に設定してお試しください。

*2 [厚紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してお試しください。

*3 ラベル用紙を印刷するときは、用紙タイプの設定を [厚紙] に設定してください。[厚紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してお試しください。

*4 はがき、往復はがきを印刷するときは、用紙サイズを「はがき」、「往復はがき」に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

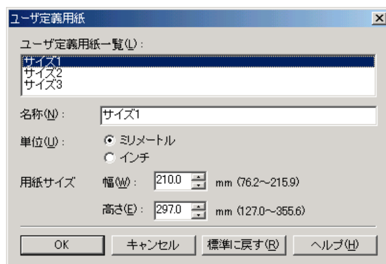
*5 封筒を印刷するときは、用紙サイズを「封筒 洋形 4 号」、「封筒 洋形 2 号」に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

■ ユーザ定義用紙（→P.4-36）

[ユーザ定義用紙] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

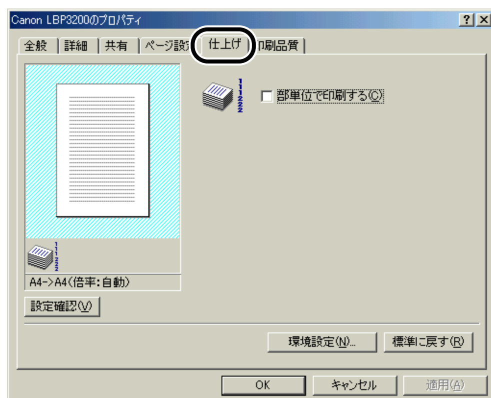
このダイアログボックスで、印刷に使用する定形サイズ以外のユーザ定義用紙の幅と高さを設定します。

LBP3200 では、任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を 3 つまで設定できます。



［仕上げ］ページ

［仕上げ］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 部単位で印刷する

複数ページの原稿を複数部印刷するとき、部単位で印刷するかページ単位で印刷するかを選択します。

［部単位で印刷する］にチェックマークが付いていないときは、ページごとに指定された部数を印刷します。

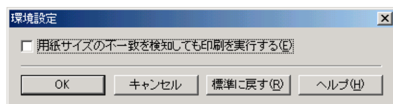


［部単位で印刷する］にチェックマークが付いているときは、ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。



■ 環境設定

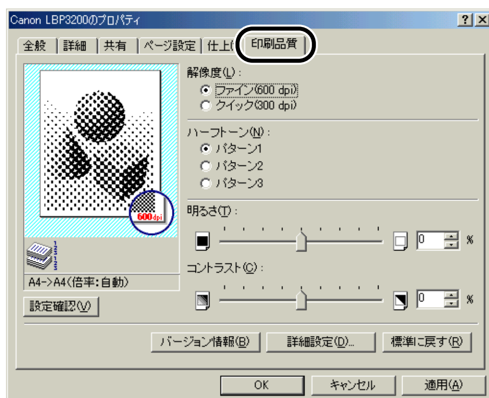
［環境設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。



［用紙サイズの不一致を検知しても印刷を実行する］にチェックマークが付いているときは、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、現在セットしている用紙で印刷します。チェックマークが付いていないときは、印刷するジョブの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なる場合にプリンタステータスウィンドウにメッセージが表示され、プリンタが停止します。ただし、電源のオフ／オンやカセットの抜き差しを行った直後の印刷ジョブは［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、プリンタステータスウィンドウにはメッセージは表示されずに、現在セットしている用紙で印刷します。

[印刷品質］ページ

［印刷品質］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 解像度

印刷する画像の細かさを設定します。

［ファイン（600dpi)］または［クイック（300dpi)］を選択します。

■ ハーフトーン

カラーやグレースケールの画像を印刷するとき、ハーフトーン（中間調）の処理方法を選択します。

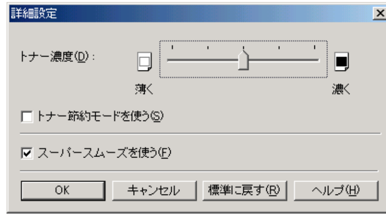
[パターン 1]	一般的な文書を印刷する場合に選択します。
[パターン 2]	写真を印刷する場合にメリハリをつけて印刷できます。 人物や明暗を強調したい画像を印刷する場合に適しています。
[パターン 3]	色のついた文字や細線をよりきれいに印刷できます。

■ 明るさ／コントラスト

［明るさ］スピンボックス、［コントラスト］スピンボックスのスピンボタンをクリックして設定します。また、スライドバーを左右にドラッグしても同様に設定できます。設定できる数値は －80 ～ 80% です。

■ 詳細設定

［詳細設定］をクリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。

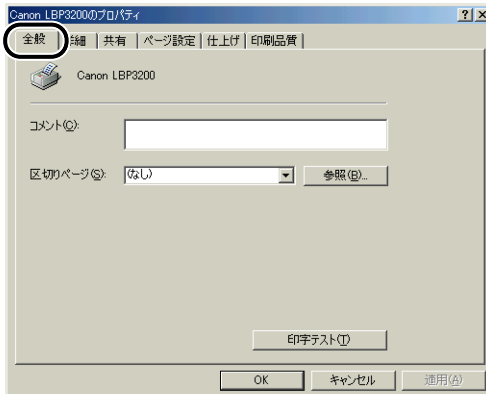


- ［トナー濃度］スライドバーを左右にドラッグすると、濃度設定を変更できます。
- ［トナー節約モードを使う］にチェックマークを付けると、トナーの節約ができます。
- ［スーパースムーズを使う］にチェックマークを付けると、文字や図形などのギザギザを自動的に検知し、より滑らかにする処理を行います。

重要　トナー節約モードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

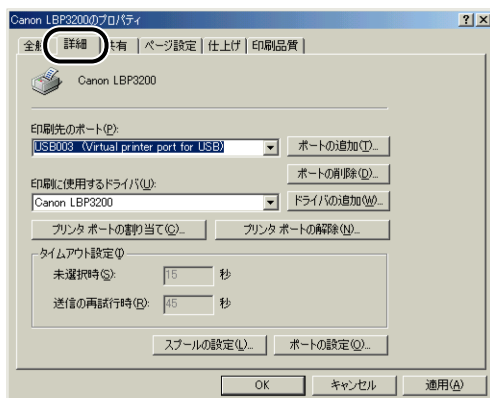
［全般］ページ

プリンタ名が表示されます。プリンタの印字テストをすることができます。



［詳細］ページ

プリンタポートの設定やドライバの追加、スプールの設定などができます。

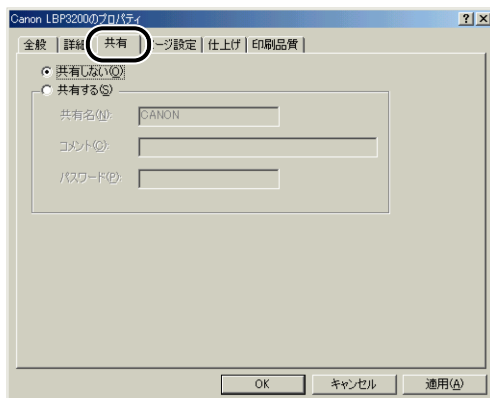


［共有］ページ

プリンタを共有するかしないかを設定できます。



ネットワークの設定で［Microsoft ネットワーク共有サービス］の追加を行っていないときは、［共有］ページは表示されません。（→P.3-35）



Windows 2000/XP の場合

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページの見出し部分をクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［ポート］ページ
  - ・［詳細設定］ページ
  - ・［セキュリティ］ページ
  - ・［用紙の選択］ページ



操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは次の方法で表示できます。表示したオンラインヘルプを閉じるときはオンラインヘルプ内をクリックします。

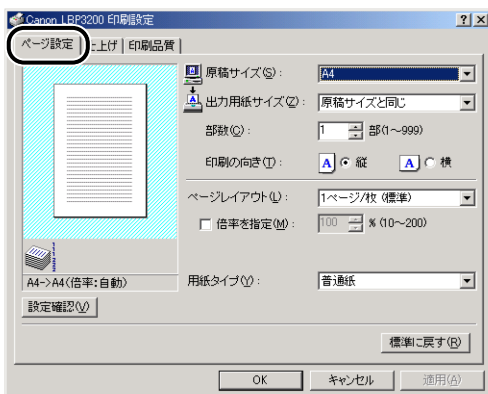
・コンピュータのキーボードの［Tab］キーを押して表示させたい項目を選択し、［F1］キーを押します。

・表示させたい項目を右クリックし、ポップアップメニューの［ヘルプ］をクリックします。

・［タイトルバー］の［?］（ヘルプ）をクリックし、［?］のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。

［ページ設定］ページ

［ページ設定］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 原稿サイズ

［原稿サイズ］プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる［原稿サイズ］は以下のとおりです。

- A3 (297.0mm × 420.0mm、11.69inch × 16.54inch)
- B4 (257.0mm × 364.0mm、10.12inch × 14.33inch)
- A4 (210.0mm × 297.0mm、8.27inch × 11.69inch)
- B5 (182.0mm × 257.0mm、7.17inch × 10.12inch)
- A5 (148.0mm × 210.0mm、5.83inch × 8.27inch)
- レター (215.9mm × 279.4mm、8.50inch × 11.00inch)
- リーガル (215.9mm × 355.6mm、8.50inch × 14.00inch)
- エグゼクティブ (184.1mm × 266.7mm、7.25inch × 10.50inch)
- はがき (100.0mm × 148.0mm、3.94inch × 5.83inch)
- 往復はがき (148.0mm × 200.0mm、5.83inch × 7.87inch)
- 封筒 洋形 4 号 (105.0mm × 235.0mm、4.13inch × 9.25inch)
- 封筒 洋形 2 号 (114.0mm × 162.0mm、4.49inch × 6.38inch)
- サイズ 1（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（➞P.4-36）
- サイズ 2（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（➞P.4-36）
- サイズ 3（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（➞P.4-36）

■ 出力用紙サイズ

［出力用紙サイズ］プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

選択できる［出力用紙サイズ］は以下のとおりです。

- 原稿サイズと同じ
- A4 (210.0mm × 297.0mm、8.27inch × 11.69inch)
- B5 (182.0mm × 257.0mm、7.17inch × 10.12inch)
- A5 (148.0mm × 210.0mm、5.83inch × 8.27inch)
- レター (215.9mm × 279.4mm、8.50inch × 11.00inch)
- リーガル (215.9mm × 355.6mm、8.50inch × 14.00inch)
- エグゼクティブ (184.1mm × 266.7mm、7.25inch × 10.50inch)
- はがき (100.0mm × 148.0mm、3.94inch × 5.83inch)
- 往復はがき (148.0mm × 200.0mm、5.83inch × 7.87inch)
- 封筒 洋形 4 号 (105.0mm × 235.0mm、4.13inch × 9.25inch)
- 封筒 洋形 2 号 (114.0mm × 162.0mm、4.49inch × 6.38inch)
- サイズ 1（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（➞P.4-36）
- サイズ 2（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（➞P.4-36）
- サイズ 3（ユーザ定義用紙、名称は変更可）（➞P.4-36）



- ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
- ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
- ［原稿サイズ］がA3またはB4のとき、［出力用紙サイズ］を［原稿サイズと同じ］に設定した場合は、原稿を縮小して、A4用紙（デフォルト）に印刷します。
- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］ページで設定する必要はありません。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力します。設定できる部数は、1～999部です。

■ 印刷の向き

印刷する用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。

［印刷の向き］で［縦］または［横］をクリックします。

■ ページレイアウト（→P.4-33）

1枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

選択できるページ数は、1、2、4、8、9ページ／枚のいずれかです。

2、4、8、9ページ／枚を選択すると［配置順］プルダウンメニューが表示され、ページを並べる順番を選択できます。

■ 倍率を指定／配置順（→P.4-34）

［ページレイアウト］で1ページ／枚を選択しているときは［倍率を指定］が表示されます。2、4、8、9ページ／枚を選択しているときは［配置順］が表示されます。

- ［倍率を指定］：［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定］を選択し、スピンボックスの数値を変更します。設定できる倍率は10～200%です。
- ［配置順］：1枚の用紙に複数ページのデータを印刷するとき、ページを並べる順番を選択できます。

■ 用紙タイプ

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。

次のように設定してください。

用紙の種類	ドライバの設定
普通紙（64 ～ 90g/m²）	［普通紙］、［普通紙 L］*1
厚紙（91 ～ 163g/m²）	［厚紙］、［厚紙 H］*2
OHP フィルム	［OHP フィルム］
ラベル用紙	［厚紙］、［厚紙 H］*3
はがき	*4
往復はがき	*4
封筒	*5

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してお試しください。

*2 ［厚紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してお試しください。

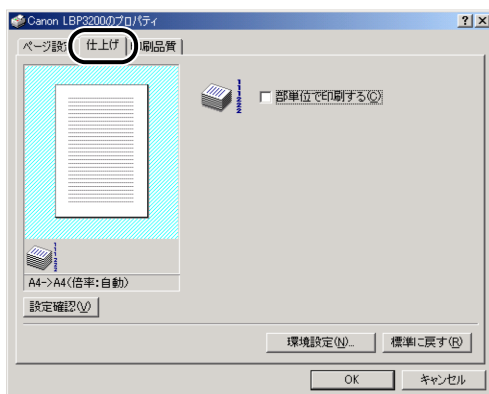
*3 ラベル用紙を印刷するときは、用紙タイプの設定を［厚紙］に設定してください。［厚紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してお試しください。

*4 はがき、往復はがきを印刷するときは、用紙サイズを「はがき」、「往復はがき」に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

*5 封筒を印刷するときは、用紙サイズを「封筒 洋形 4 号」、「封筒 洋形 2 号」に設定すると、自動的にそれぞれに適した印字モードで印刷されます。用紙タイプの設定は必要ありません。

［仕上げ］ページ

［仕上げ］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 部単位で印刷する

複数ページの原稿を複数部印刷するとき、部単位で印刷するかページ単位で印刷するかを選択します。

［部単位で印刷する］にチェックマークが付いていないときは、ページごとに指定された部数を印刷します。

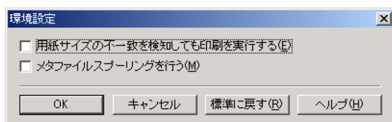


［部単位で印刷する］にチェックマークが付いているときは、ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。



■ 環境設定

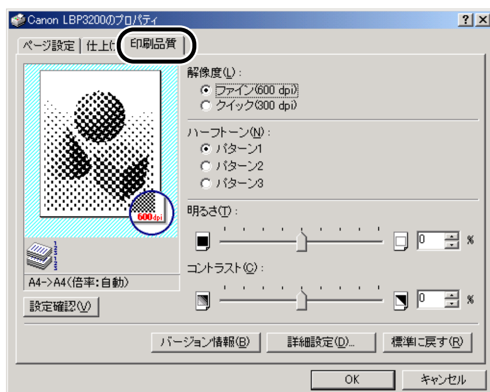
［環境設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。



- ［用紙サイズの不一致を検知しても印刷を実行する］にチェックマークが付いているときは、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、現在セットしている用紙で印刷します。チェックマークが付いていないときは、印刷するジョブの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なる場合にプリンタステータスウィンドウにメッセージが表示され、プリンタが停止します。ただし、電源のオフ／オンやカセットの抜き差しを行った直後の印刷ジョブは［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、プリンタステータスウィンドウにはメッセージは表示されずに、現在セットしている用紙で印刷します。
- ［メタファイルスプーリングを行う］では、スプールファイルの形式を設定します。チェックマークが付いているときはメタファイル形式、付いていないときはRAW形式でスプールされます。
  ネットワークプリンタとして設定しているときは常にRAW形式でスプールされます。

[印刷品質] ページ

[印刷品質] ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 解像度

印刷する画像の細かさを設定します。

[ファイン(600dpi)] または [クイック(300dpi)] を選択します。

■ ハーフトーン

カラーやグレースケールの画像を印刷するとき、ハーフトーン(中間調)の処理方法を選択します。

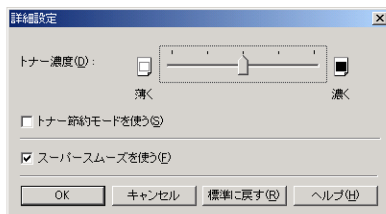
[パターン 1]	一般的な文書を印刷する場合に選択します。
[パターン 2]	写真を印刷する場合にメリハリをつけて印刷できます。 人物や明暗を強調したい画像を印刷する場合に適しています。
[パターン 3]	色のついた文字や細線をよりきれいに印刷できます。

■ 明るさ／コントラスト

[明るさ] スピンボックス、[コントラスト] スピンボックスのスピンボタンをクリックして設定します。また、スライドバーを左右にドラッグしても同様に設定できます。設定できる数値は－80～80% です。

■ 詳細設定

［詳細設定］をクリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。

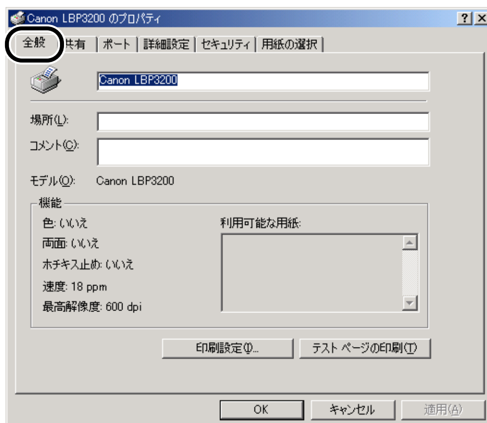


- ［トナー濃度］スライドバーを左右にドラッグすると、濃度設定を変更できます。
- ［トナー節約モードを使う］にチェックマークを付けると、トナーの節約ができます。
- ［スーパースムーズを使う］にチェックマークを付けると、文字や図形などのギザギザを自動的に検知し、より滑らかにする処理を行います。

重要　トナー節約モードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

［全般］ページ

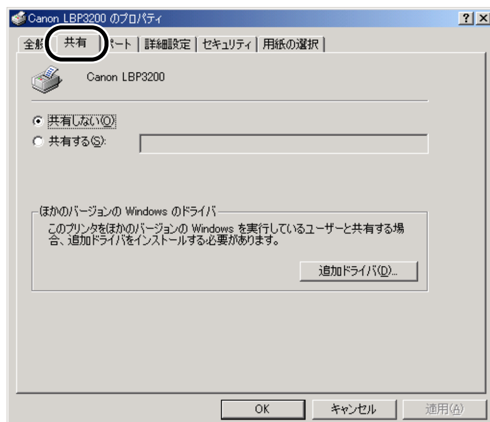
プリンタ名が表示されます。プリンタの印字テストをすることができます。



[共有] ページ

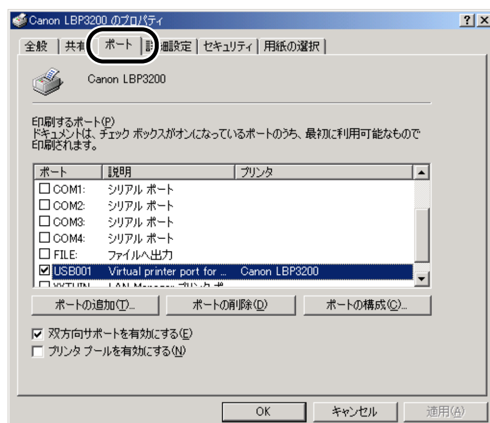
プリンタを共有するかしないかを設定できます。

メモ　ネットワークの設定を行っていないときは、[共有] ページは表示されません。(→P.3-39)



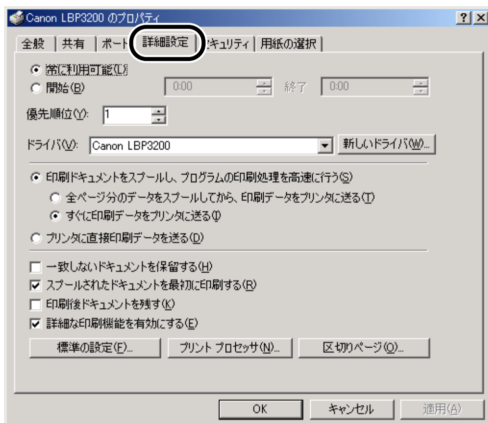
[ポート] ページ

プリンタポートの追加、削除、構成などができます。



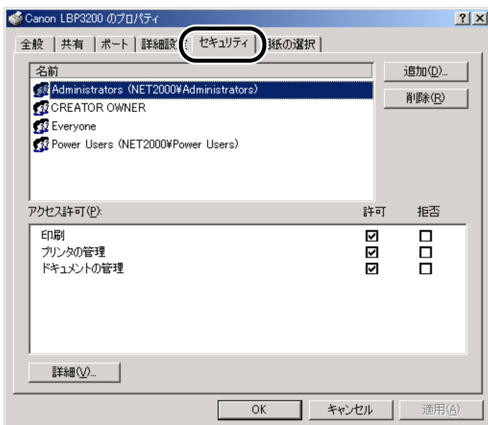
［詳細設定］ページ

プリンタの利用可能時間、スプールの処理など詳細な設定ができます。



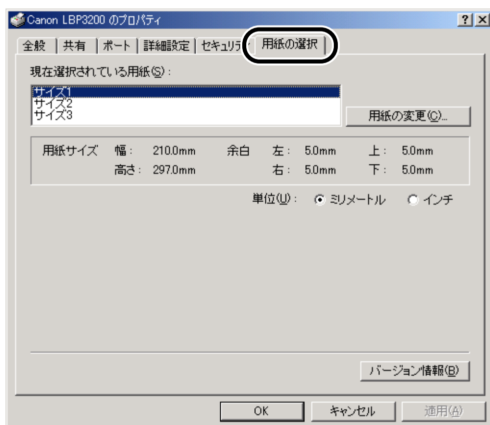
［セキュリティ］ページ

ログオンユーザー名ごとのアクセス許可の状況が確認できます。



[用紙の選択] ページ

ユーザ定義用紙の選択ができます。



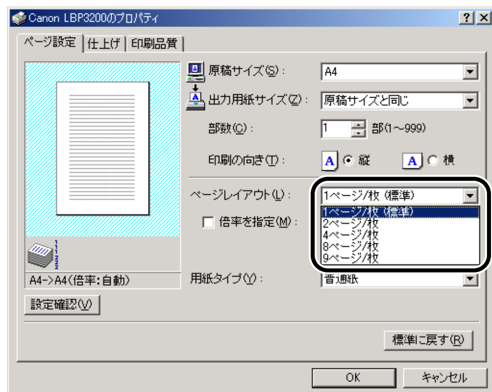
用紙 1 枚に複数ページを印刷する

1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

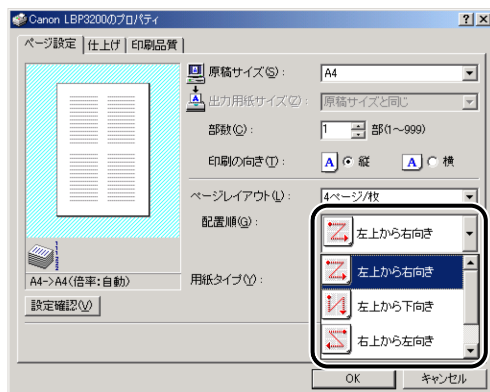
1 [ページ設定] ページを表示させます。

2 [ページレイアウト] プルダウンメニューで 1 枚に収めるページ数を選択します。

選択できるページ数は、1、2、4、8、9 ページ／枚のいずれかです。



3 2、4、8、9ページ／枚を選択すると、[配置順] プルダウンメニューが表示されます。ページを並べる順番を選択します。



メモ

- 2、4、8、9 ページ／枚を選択すると、[出力用紙サイズ] が [原稿サイズと同じ] に設定され、選択できなくなります。
- [配置順] プルダウンメニューの選択肢は、印刷する用紙の向きや 1 枚に収めるページ数によって異なります。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

拡大／縮小して印刷する

[ページレイアウト] が [1 ページ／枚（標準)] に設定されているとき選択できます。

[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。

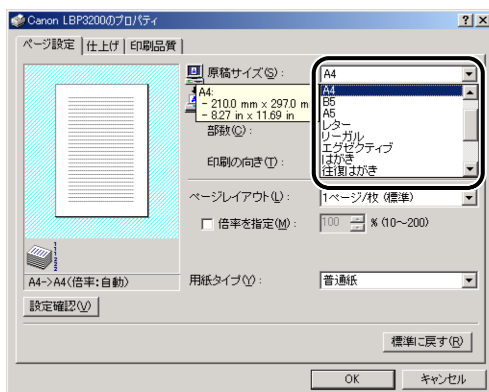
倍率を任意に設定することもできます。

設定できる倍率は 10 ～ 200% です。

自動で倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示させます。

2 ［原稿サイズ］を指定します。



3 ［出力用紙サイズ］を指定します。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

指定した［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

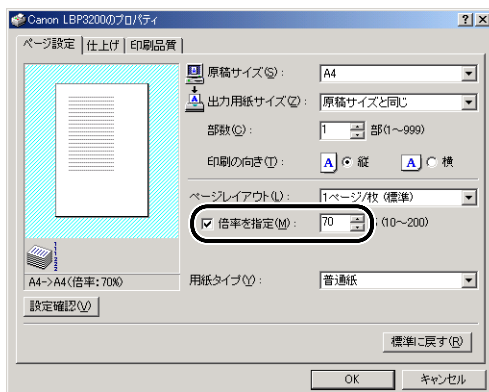
任意に倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示させます。

2 ［原稿サイズ］を指定します。

3 ［出力用紙サイズ］を指定します。

4 ［倍率を指定］にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。



5 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

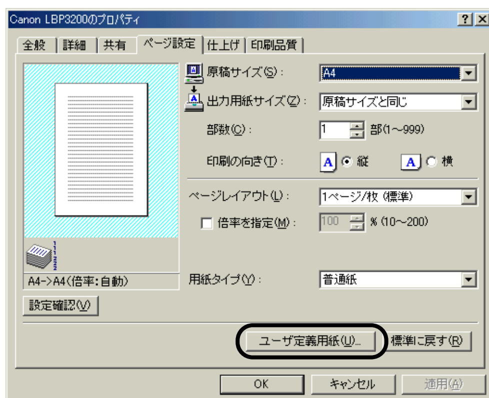
任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定する

用紙サイズを任意に設定します。

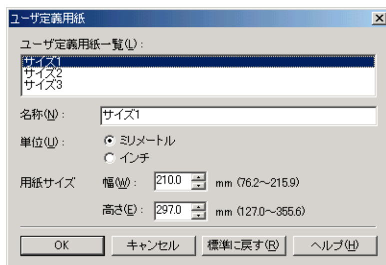
■Windows 98/Me の場合

1 ［ページ設定］ページを表示させます。

2 ［ユーザ定義用紙］をクリックします。



［ユーザ定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。



3 **必要に応じて以下の項目を設定します。**

［ユーザ定義用紙一覧］：	現在登録されているユーザ定義用紙の名称が表示されます。
［名称］：	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。最大で半角 30 文字（全角 15 文字）まで入力できます。 デフォルトは、［サイズ 1］、［サイズ 2］、［サイズ 3］に設定されています。
［単位］：	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。
［用紙サイズ］：	ユーザ定義用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。有効設定値は幅 76.2 ～ 215.9mm、高さ 127.0 ～ 355.6mm です。

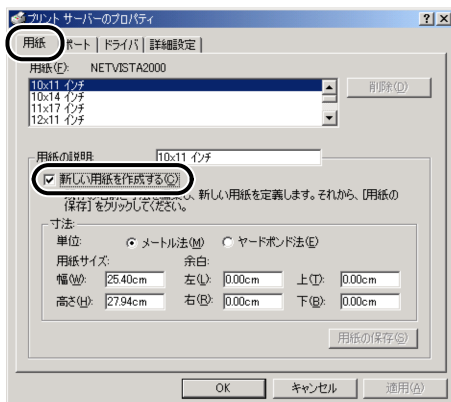
4 **設定内容を確認し、［OK］をクリックします。**

■Windows 2000/XP の場合

1 **［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダを表示させ、［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。**

［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

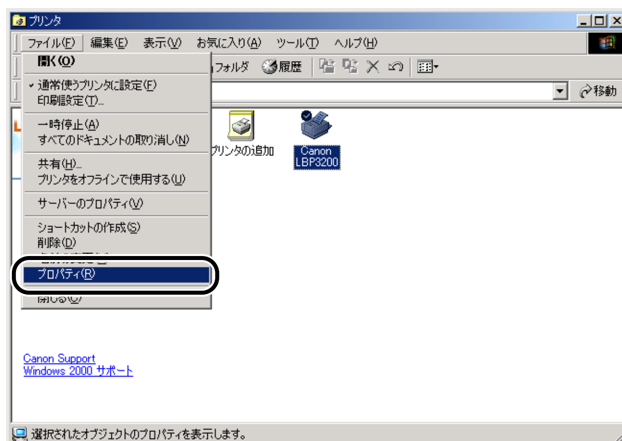
2 ［用紙］ページを表示させ、［新しい用紙を作成する］にチェックマークを付けて、必要に応じて以下の項目を設定します。



［用紙の説明］：	任意の名称を入力できます。（Windows XP の場合は［用紙名］と表示されます。）
［単位］：	［メートル法］か［ヤードポンド法］を選択します。
［用紙サイズ］：	ユーザ定義用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。有効設定値は幅 7.62 ～ 21.59cm、高さ 12.70 ～ 35.56cm です。
［余白］：	数値を直接入力します。本プリンタでの有効設定値は 0.5cm 以上です。

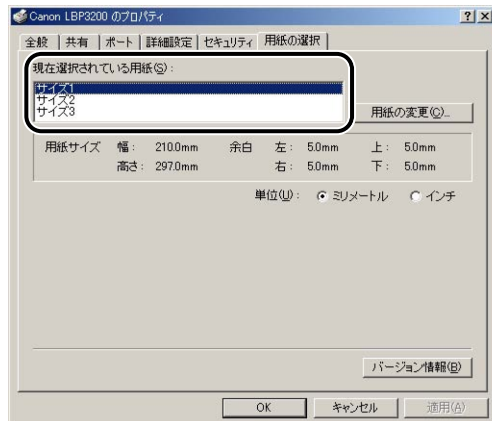
3 設定内容を確認し、［用紙の保存］をクリックして、［閉じる］をクリックします。

4 [Canon LBP3200] アイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから、[プロパティ] を選択します。

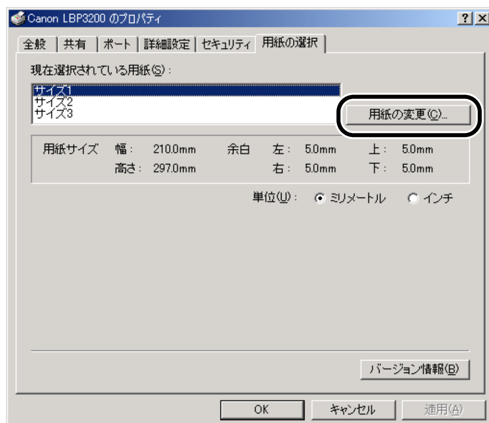


[プリンタプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

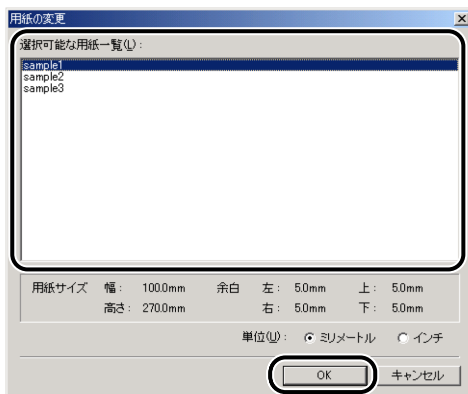
5 [用紙選択] ページを表示させ、[現在選択されている用紙] で変更するユーザ定義用紙を選択します。



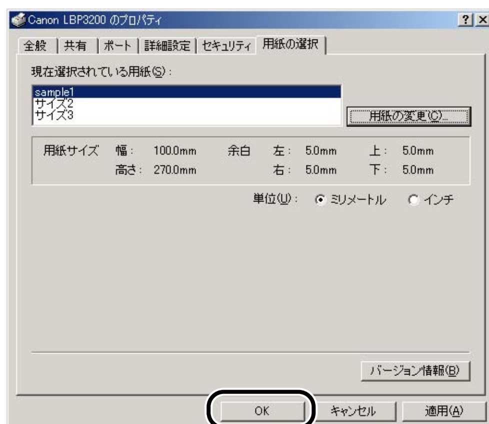
6 ［用紙の変更］ボタンをクリックします。



7 ［選択可能な用紙一覧］から使用するユーザ定義用紙を選択し、［OK］をクリックします。



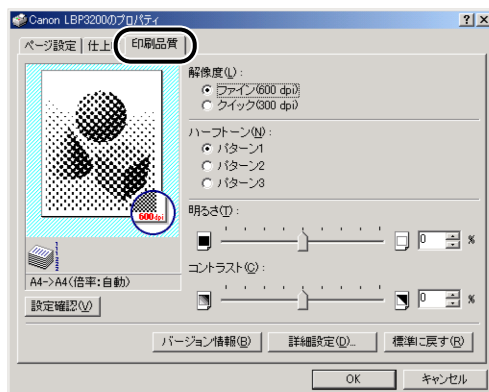
8 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。



印刷の品質を設定する

[印刷品質] ページでは、いろいろな印刷条件を設定できます。

1 [印刷品質] ページを表示させます。



2 [解像度] を設定します。

[ファイン(600dpi)] または [クイック(300dpi)] を選択します。

3 ［ハーフトーン］を設定します。

［パターン 1］	一般的な文書を印刷する場合に選択します。
［パターン 2］	写真を印刷する場合にメリハリをつけて印刷できます。 人物や明暗を強調したい画像を印刷する場合に適しています。
［パターン 3］	色のついた文字や細線をよりきれいに印刷できます。

4 ［明るさ］、［コントラスト］を設定します。

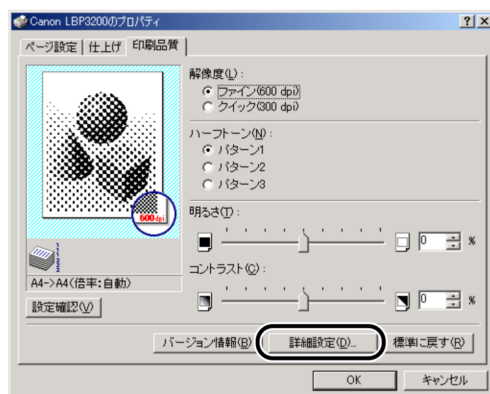
［明るさ］スピンボックス、［コントラスト］スピンボックスのスピンボタンをクリックして設定します。また、スライドバーを左右にドラッグしても同様に設定できます。設定できる数値は、－ 80 ～ 80%です。

5 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

トナー濃度を設定する

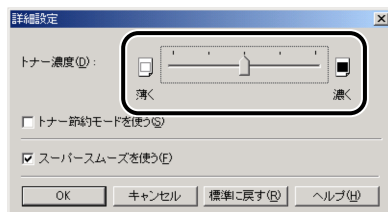
1 ［印刷品質］ページを表示させます。

2 ［詳細設定］をクリックします。



［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［トナー濃度］スライドバーを左右にドラッグして、濃度設定を変更します。



［トナー節約モードを使う］にチェックマークを付けると、トナーの節約ができます。

重要　トナー節約モードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

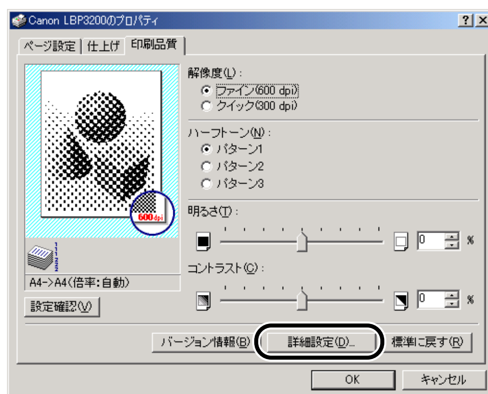
4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

スーパースムージングテクノロジーを設定する

文字や図形などのギザギザを自動的に検知し、より滑らかにする処理を行います。

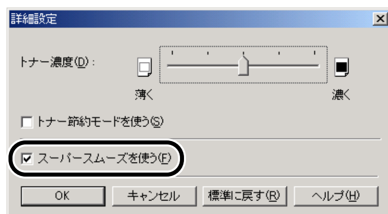
1 ［印刷品質］ページを表示させます。

2 ［詳細設定］をクリックします。



［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［スーパースムーズを使う］にチェックマークを付けます。



4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

設定を確認する／設定を標準値に戻す

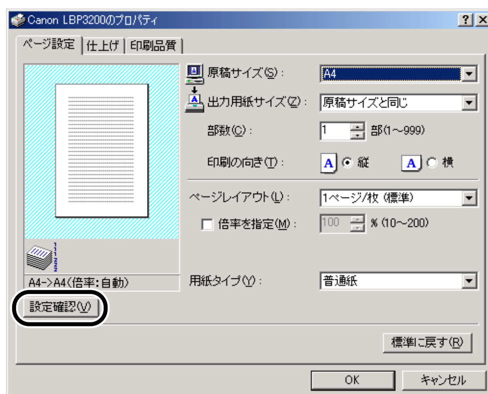
［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］の各ページで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻すことができます。

［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

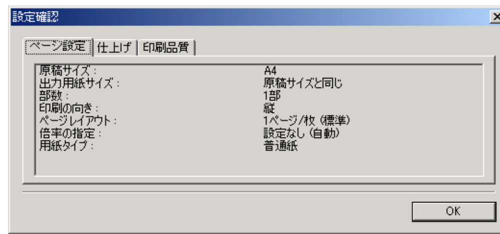
メモ　各ページではプレビューが表示されます。プレビューで印刷イメージの確認をすることもできます。

設定を確認する

1 ［設定確認］をクリックします。



［設定確認］ダイアログボックスが表示されます。



［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］の各タブをクリックすると、それぞれのページで設定した印刷条件が一覧表示されます。

2 ［OK］をクリックします。

元のページに戻ります。

設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、［標準に戻す］をクリックします。

標準値に戻るのは、［標準に戻す］と同じページまたは同じダイアログボックスで表示されている条件のみになります。

［ページ設定］、［仕上げ］、［印刷品質］の各ページや各ダイアログボックスの設定が、すべて一度に標準値に戻ることはありません。

プリンタステータスウィンドウについて

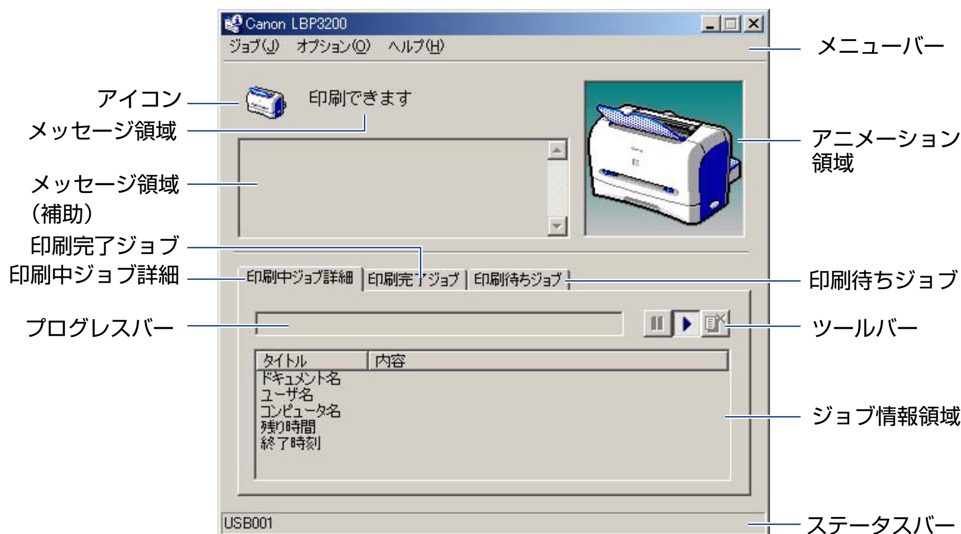
プリンタステータスウィンドウは、LBP3200 プリンタのステータス（動作状況、印刷ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

メモ　サウンドを使用するには、お使いのコンピュータに PCM 音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの機能は、Windows 98/Me と Windows 2000/XP で共通です。

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。



■ メニューバー

ジョブメニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
オプションメニュー	プリンタステータスウィンドウの環境設定、プリンタのクリーニングを行います。
ヘルプメニュー	オンラインヘルプを表示します。

■ その他の機能

アイコン		プリンタのステータスをアイコンで表示します。
メッセージ領域		プリンタのステータスを短文で表示します。
メッセージ領域（補助）		エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
アニメーション領域		プリンタのステータスをグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、エラー発生時はオレンジ、サービスエラー発生時は赤に変化します。
［印刷中ジョブ詳細］	：プログレスバー	印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。
	：ツールバー	印刷中ジョブの一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
	：ジョブ情報領域	印刷中ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名、残り時間、終了時刻を表示します。
［印刷完了ジョブ］	：ジョブ情報領域	印刷完了ジョブに関するドキュメント名、結果、オーナー、ページ数、終了時刻を表示します。
［印刷待ちジョブ］	：ツールバー	印刷待ちジョブの一時停止／再開／中止を実行します。印刷待ちのジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
	：ジョブ情報領域	印刷待ちジョブに関するドキュメント名、状態、オーナー、開始時刻を表示します。
ステータスバー		プリンタの接続先（ローカルまたはネットワーク）を表示します。メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウを表示するときは、Windowsのタスクバーにあるプリンタステータスウィンドウのアイコンをクリックし、ポップアップメニューの［Canon LBP3200］をクリックします。LBP3200が複数台インストールされている場合は、その台数分だけメニューが表示されます。



プリンタステータスウィンドウは、印刷中やエラー発生時などには自動的に表示されます。プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［環境設定］にある［プリンタステータスウィンドウの表示］を［印刷開始時に表示］に選択していない場合は、印刷中には表示されません。

プリンタステータスウィンドウを終了するには

Windows のタスクバーにあるプリンタステータスウィンドウのアイコンを右クリックし、［全てのプリンタステータスウィンドウを終了します］を選択します。この操作でアイコン表示も同時に終了し、アイコンが消去されます。

環境設定メニューについて

環境設定メニューでは、プリンタステータスウィンドウの自動表示、サウンドの設定、ステータスの監視などの設定ができます。

■ [プリンタステータスウィンドウの表示] グループ

- 印刷開始時に表示
  - ・印刷が開始されたときに、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。
- エラー発生時のみ表示
  - ・印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。

■ [サウンド設定] グループ

- すべて有効
  - ・メッセージと共にサウンドが流れます。
- エラー発生時のみ有効
  - ・エラー発生を通知するときのみサウンドが流れます。
- 無効
  - ・サウンドは流れません。

■ [プリンタ状態の監視] グループ

- 常に監視
  - ・プリンタステータスウィンドウは常にプリンタのステータスを監視します。
- プリンタステータスウィンドウ表示時のみ監視
  - ・プリンタステータスウィンドウが表示されている間のみプリンタのステータスを監視します。
- 印刷時のみ監視
  - ・プリンタステータスウィンドウは印刷時のみプリンタのステータスを監視します。

■ 常に手前に表示する

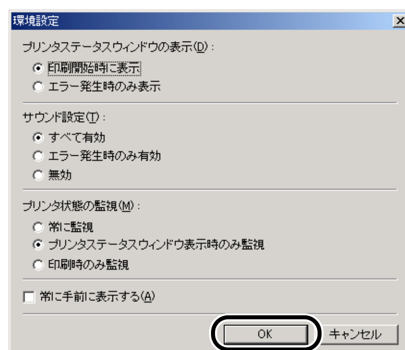
プリンタステータスウィンドウを常に最前面に表示します。

1 ［オプション］メニューから［環境設定］を選択します。



［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 各設定を確認し、［OK］をクリックします。





プリンタステータスウィンドウの操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

ネットワークプリンタのステータス

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけでなく、クライアントのプリンタステータスウィンドウにも表示されます。

また、プリンタステータスウィンドウの起動時にプリントサーバが立ち上がっていない場合でも、プリントサーバが立ち上がると自動的に接続されます。

- プリントサーバのプリンタステータス
  - ・ローカルの印刷ジョブと、クライアントの印刷ジョブのステータスを表示します。
  - ・[印刷中ジョブ詳細]、[印刷待ちジョブ]での一時停止、再開および中止を行うことができます。
  - ・サウンドを流します。
  - ・プリントサーバがWindows 2000/XPの場合、誰もログオンしていないとステータスは表示されません。
- クライアントのプリンタステータス
  - ・印刷中ジョブのクライアントは、[印刷中ジョブ詳細]での一時停止、再開および中止を行うことができます。
  - ・[印刷待ちジョブ]での一時停止、再開および中止を行うことはできません。
  - ・ユーザ名またはコンピュータ名の一致するクライアントのみ、サウンドを流します。



ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、次のいずれかのプロトコルが使用できる環境が必要です。

・TCP/IP

・NetBEUI

使用するプロトコルがIPX/SPXのみの場合は、ステータスは表示されません。

Macintosh から印刷するには 5

CHAPTER

この章では、Macintosh にプリンタドライバをインストールする手順、および印刷する方法について説明しています。

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする（→P.5-4）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで、印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーや、プリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

また、必要なソフトウェアだけを選択して、カスタムインストールができます。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷先を設定する（→P.5-11）

アプリケーションソフトから印刷する前に、印刷するプリンタを登録する必要があります。

■ 印刷する（→P.5-20）

アプリケーションソフトから、プリンタドライバを使用して印刷を行います。

この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Mac OS 8/9
- Mac OS X（ネイティブ）



- OSソフトウェア環境の詳細については、付属のCD-ROMの以下のフォルダに収録されている「お読みください」を参照してください。（プリンタドライバをキヤノンホームページからダウンロードした場合も、同様のフォルダに収録されています。）
  - ・Mac OS 8/9：［プリンタドライバ MacOS8_9］フォルダ
  - ・Mac OS X：［プリンタドライバ MacOSX］フォルダ
- 最新のプリンタドライバは、キヤノンホームページより入手することができます。

- Mac OS X の Classic 環境には対応していません。
- 日本語版以外の Mac OS には対応していません。

■ インタフェース環境

- USB：USB Full-Speed（USB1.1 相当）

■ 動作パソコン環境

- USB ポートを標準で搭載する機種

■ ハードディスク / メモリ

- 上記 OS が十分に動作する容量

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタを使用するときには、CAPT ソフトウェアのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

Mac OS 8/9 の場合

CAPT ソフトウェアをインストールし、Macintosh と本プリンタを USB ケーブルで接続します。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ
- プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属のCD-ROMに収録されている［プリンタドライバ MacOS8_9］フォルダ内の「お読みください」を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、Macintosh を購入された販売店にお問い合わせください。

1 **Mac OS 9 以降でマルチユーザ機能をご利用の場合は、「所有者」ユーザでログインします。**

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 **付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。**

3 **CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、［プリンタドライバ MacOS8_9］フォルダを開きます。**

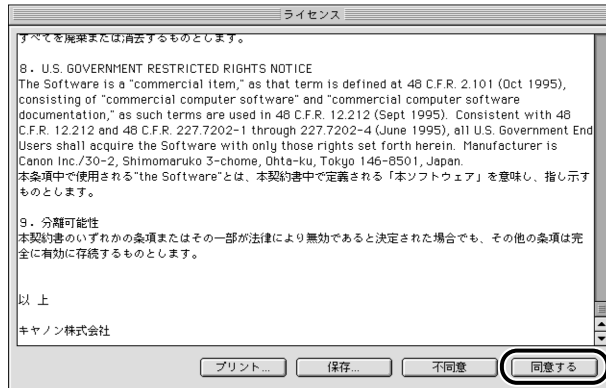
4 **［CAPT Installer］アイコンをダブルクリックします。**



5　Macintoshから印刷するには

［ライセンス］ダイアログが表示されます。

5 内容を確認し、［同意する］をクリックします。



［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。



- ［プリント］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- ［保存］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書をテキスト形式で保存します。

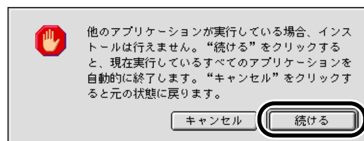
6 プルダウンメニューから［簡易インストール］を選択して、［インストール］をクリックします。





［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

7 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

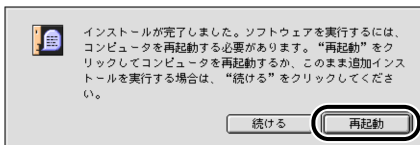


インストールが開始されます。



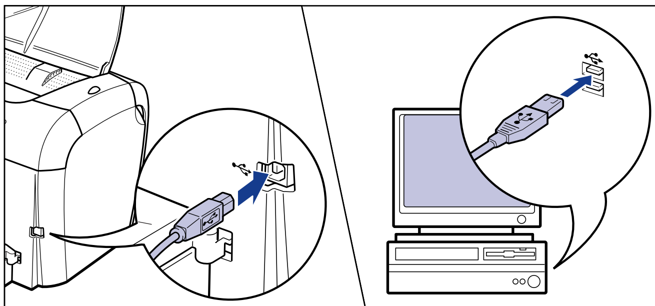
- ［キャンセル］をクリックするとインストールを中止します。
- ユーティリティソフトウェアの「プリントモニタ」も、同時にインストールされます。

8 インストール完了のメッセージが表示されますので、［再起動］をクリックします。

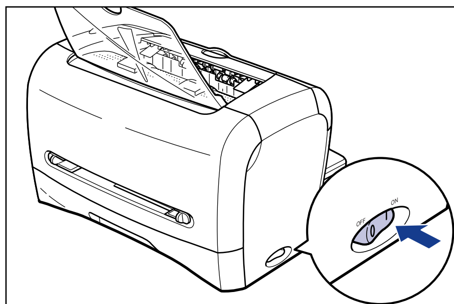


Macintosh が再起動します。

9 Macintosh の起動後、Macintosh とプリンタを USB ケーブルで接続します。



10 プリンタの電源スイッチの“ I ”側を押し、プリンタの電源をオンにします。





- プリンタドライバの使用方法については、ドライバインストール後に作成される［CAPT Printer エクストラ］フォルダ内の「オンラインマニュアル」を参照してください。
- Mac OS 8/9 用プリンタドライバについてのご質問は、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

インストールが完了しました。

Mac OS X の場合

CAPT ソフトウェアをインストールし、Macintosh と本プリンタを USB ケーブルで接続します。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ
- プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属のCD-ROMに収録されている［プリンタドライバ MacOSX］フォルダ内の、「お読みください」を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、Macintosh を購入された販売店にお問い合わせください。

1 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。

3 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

4 ［CAPT Installer］アイコンをダブルクリックします。



［認証］ダイアログが表示されます。

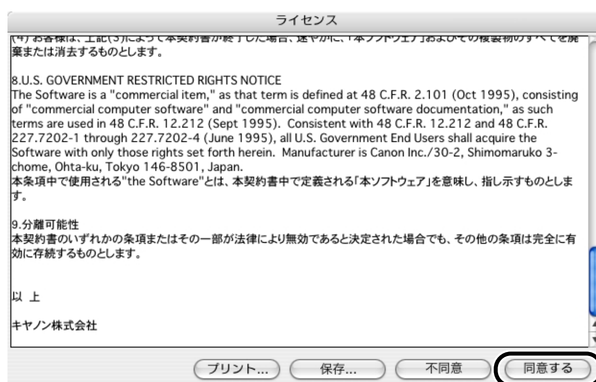
メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 6 へ進んでください。

5 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



[ライセンス] ダイアログが表示されます。

6 内容を確認し、[同意する] をクリックします。



[CAPT Installer] ダイアログが表示されます。

メモ

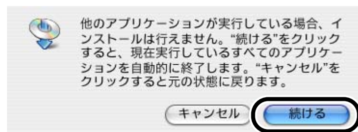
- [プリント] をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- [保存] をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書をテキスト形式で保存します。

7 プルダウンメニューから [簡易インストール] を選択して、[インストール] をクリックします。



メモ　［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

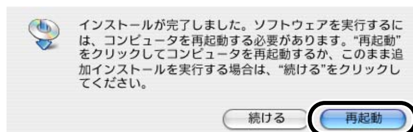
8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。



インストールが開始されます。

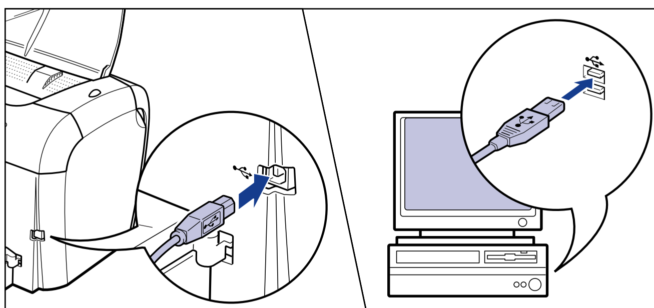
メモ
- ［キャンセル］をクリックするとインストールを中止します。
- ユーティリティソフトウェアの「プリントモニタ」も、同時にインストールされます。

9 インストール完了のメッセージが表示されますので、［再起動］をクリックします。

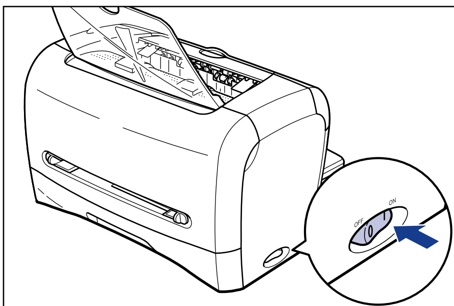


Macintosh が再起動します。

10 Macintosh の起動後、Macintosh とプリンタを USB ケーブルで接続します。



11 プリンタの電源スイッチの"I"側を押し、プリンタの電源をオンにします。



重要

- プリンタドライバの使用方法については、ドライバインストール後、お使いのハードディスクの［ライブラリ］（[Library]）➞［Printers］➞［Canon］➞［CAPT］➞［Manual］フォルダにある「オンラインマニュアル」を参照してください。
- Mac OS X 用プリンタドライバについてのご質問は、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

インストールが完了しました。

印刷先を設定する

プリンタドライバをインストールしたら、印刷先を設定します。

印刷先を設定するには、本プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続し、プリンタの電源をオンにしておいてください。

Mac OS 8/9 の場合

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。



2 ［CAPT Printer］をクリックし、［出力先の選択］のリストから［LBP3200］を選択します。





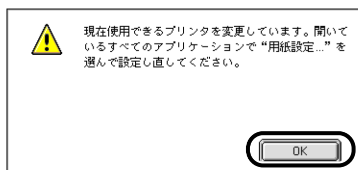
- ［出力先の選択］のリストにプリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- ［オプション］をクリックすると、お使いのプリンタの解像度（アプリケーションの解像度）を設定できます。

5

Macintoshから印刷するには

3 ［セレクタ］を閉じます。

4 ［OK］をクリックします。



以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X の場合

1 お使いのハードディスク →［アプリケーション］（[Applications]）→［ユーティリティ］（［Utilities］）フォルダにある［プリントセンター］（[Print Center]）アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。



Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合は、［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックするか、［システム環境設定］の［プリントとファクス］アイコンをクリックし、［プリンタを設定］をクリックしてください。

2 ［プリンタリスト］に［LBP3200］が表示されている場合は、プリンタの準備は終了ですので［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。［LBP3200］が表示されていない場合は、手順 3 に進んでください。



以下の条件を満たしている場合は、プリンタが［プリンタリスト］ダイアログに自動的に追加されます。ただし、Mac OS X 10.3 以降では自動的に追加されない場合がありますので、その場合、［プリンタ設定ユーティリティ］からプリンタを登録してください。

・プリンタドライバがインストールされている
・プリンタとコンピュータが接続されている
・プリンタの電源がオンになっている

3 [追加]（[プリンタを追加]）をクリックします。



メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

4 [USB] を選択します。



5 プリンタリストの一覧から［LBP3200］を選択し、[追加] をクリックします。



［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

6 ［LBP3200］が表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

CAPT ソフトウェアの削除

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

Mac OS 8/9 の場合

1 Mac OS 9 以降でマルチユーザ機能をご利用の場合は、「所有者」ユーザでログインします。

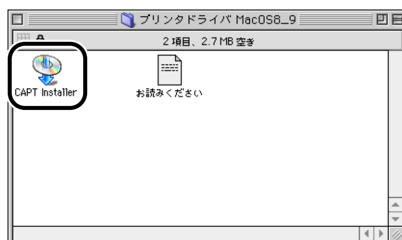
マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 すべてのアプリケーションソフトを終了します。

3 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。

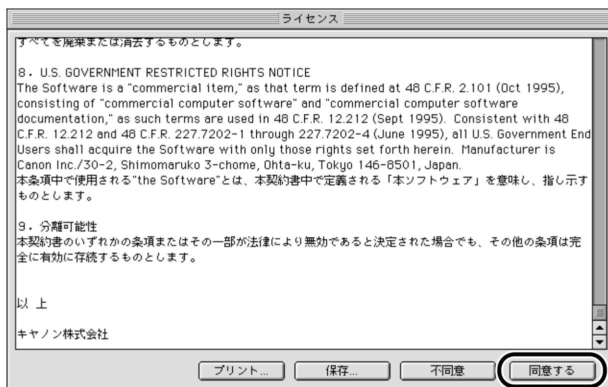
4 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOS8_9] フォルダを開きます。

5 [CAPT Installer] アイコンをダブルクリックします。



[ライセンス] ダイアログが表示されます。

6 内容を確認し、［同意する］をクリックします。

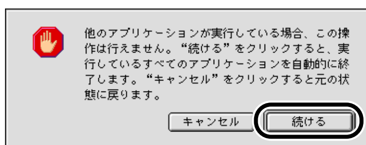


［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。

7 プルダウンメニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

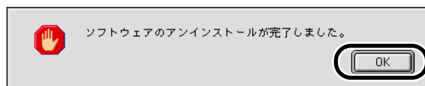


8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。



アンインストールが開始されます。

9 アンインストール完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



[CAPT Installer] ダイアログに戻ります。

10 [終了] をクリックします。



プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

Mac OS X の場合

1 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

3 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。

4 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開きます。

5 [CAPT Installer] アイコンをダブルクリックします。



[認証] ダイアログが表示されます。



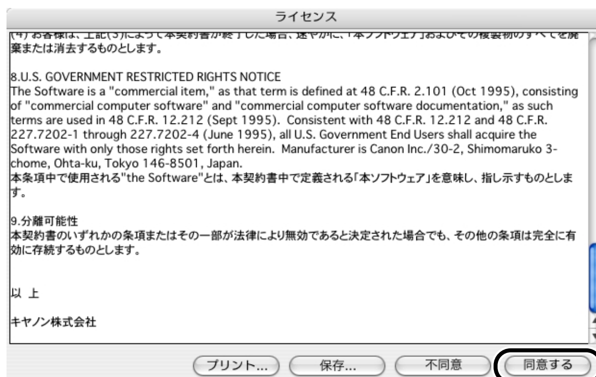
お使いの環境によっては、[認証] ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 7 へ進んでください。

6 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



[ライセンス] ダイアログが表示されます。

7 内容を確認し、[同意する] をクリックします。

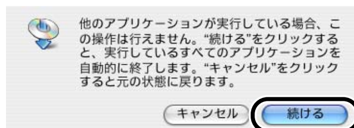


[CAPT Installer] ダイアログが表示されます。

8 プルダウンメニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。



9 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。



アンインストールが開始されます。

10 アンインストール完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



［CAPT Installer］ダイアログに戻ります。

11 ［終了］をクリックします。



プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

アプリケーションソフトから印刷する

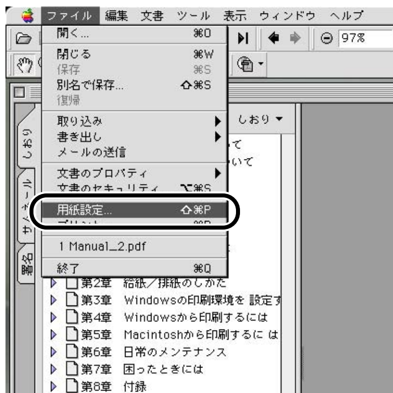
ここでは、Adobe Acrobat Reader を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

Mac OS 8/9 と Mac OS X で手順が異なります。

Mac OS 8/9 の場合

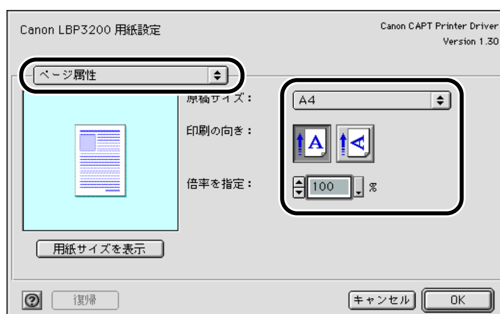
1 Adobe Acrobat Reader を起動して、印刷する原稿を表示します。

2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。



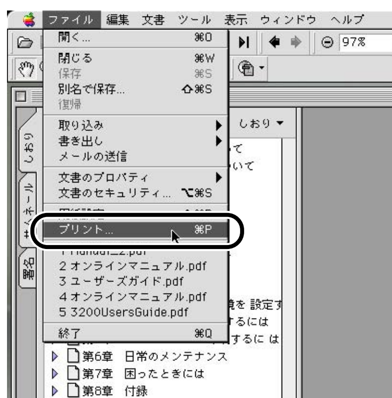
［用紙設定］ダイアログが表示されます。

3 ［ページ属性］が選択されていることを確認して、原稿サイズ、印刷の向き、倍率を設定します。



4 ［用紙設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。



［プリント］ダイアログが表示されます。



［プリント］ダイアログは、お使いのアプリケーションソフトによって表示が異なる場合があります。

6 ［プリンタ］に［LBP3200］が表示されていることを確認します。



7 ページ範囲、部数などを設定して、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

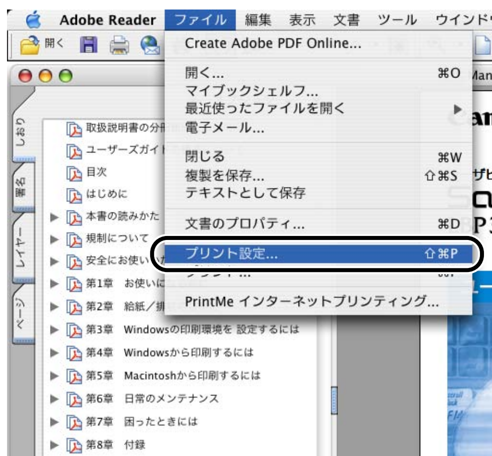


- プリンタドライバの使用方法については、ドライバインストール後に作成される［CAPT Printer エクストラ］フォルダ内の「オンラインマニュアル」、設定項目の詳細についてはプリンタドライバの ? をクリックして「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。
- 印刷を途中でキャンセルしたときは、プリンタにデータが残ることがあります。このような場合、次の印刷を行う前にプリンタの電源を入れなおし、Macintosh の再起動を行ってください。

Mac OS X の場合

1 Adobe Reader を起動して、印刷する原稿を表示します。

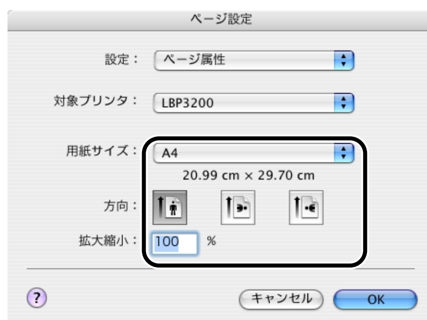
2 [ファイル] メニューから [ページ設定] (または [プリント設定]) を選択します。



[ページ設定] ダイアログが表示されます。

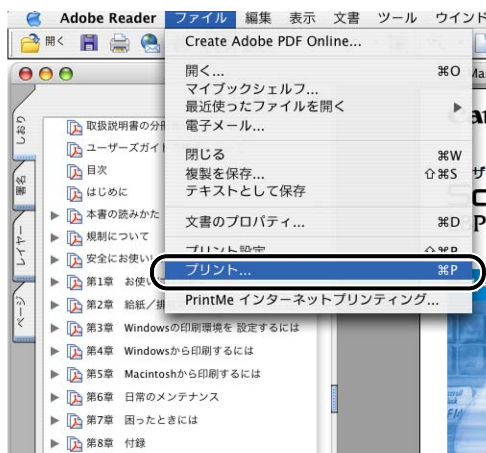
3 [設定] で [ページ属性] が選択されていることを確認して、[対象プリンタ] (または [フォーマット]) から [LBP3200] を選択します。

4 用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小率を設定します。



5 ［ページ設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。



［プリント］ダイアログが表示されます。

7 ［プリンタ］から［LBP3200］を選択します。



8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。



- お使いのプリンタが表示されない場合は、[プリンタリストを編集］を選択して、[プリントセンター］（[Print Center]）／［プリンタ設定ユーティリティ］のプリンタリストでご使用のプリンタを追加してください。
- プリンタドライバの使用方法については、ドライバインストール後、お使いのハードディスクの［ライブラリ］（[Library]）➞［Printers］➞［Canon］➞［CAPT］➞［Manual］フォルダにある「オンラインマニュアル」、設定項目の詳細についてはプリンタドライバの［?］をクリックして「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。
- 印刷処理中は、CAPT Gauge が表示され、印刷状況を確認することができます。CAPT Gauge を表示させたくないときは、[プリント］ダイアログの［特別処理］パネルで、[印刷ジョブの進行状況を表示する］のチェックマークを消します。
- 印刷を途中でキャンセルしたときは、プリンタにデータが残ることがあります。このような場合、次の印刷を行う前にプリンタの電源を入れなおし、Macintosh の再起動を行ってください。

オンラインマニュアルを表示する

プリンタドライバの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。
オンラインマニュアルは、次の手順で表示できます。

メモ
- オンラインマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- オンラインマニュアルは CAPT ソフトウェアのインストール後にご覧になれます。

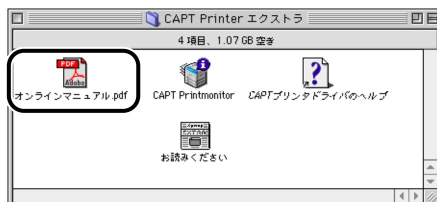
Mac OS 8/9 の場合

1 お使いのハードディスクドライブを表示します。

2 [CAPT Printer エクストラ] フォルダをダブルクリックします。

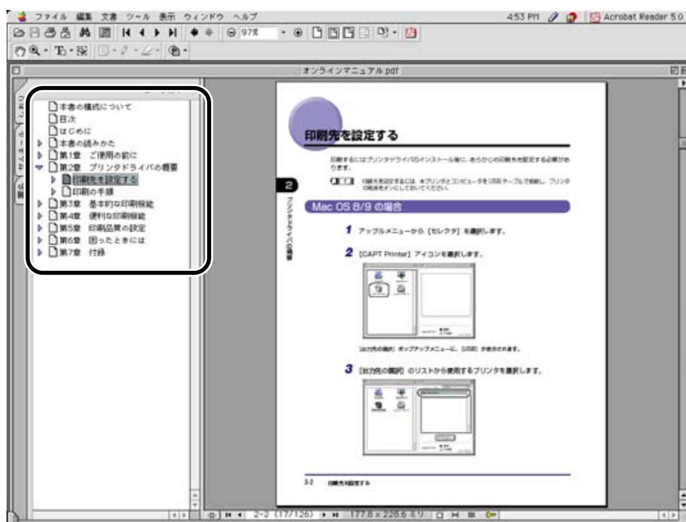


3 [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックします。



オンラインマニュアルが起動します。

4 [しおり] から参照するトピックを選択します。



選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

Mac OS X の場合

1 お使いのハードディスクドライブを表示します。

2 [ライブラリ]([Library])→ [Printers] → [Canon] → [CAPT] → [Manual] フォルダの順にダブルクリックします。

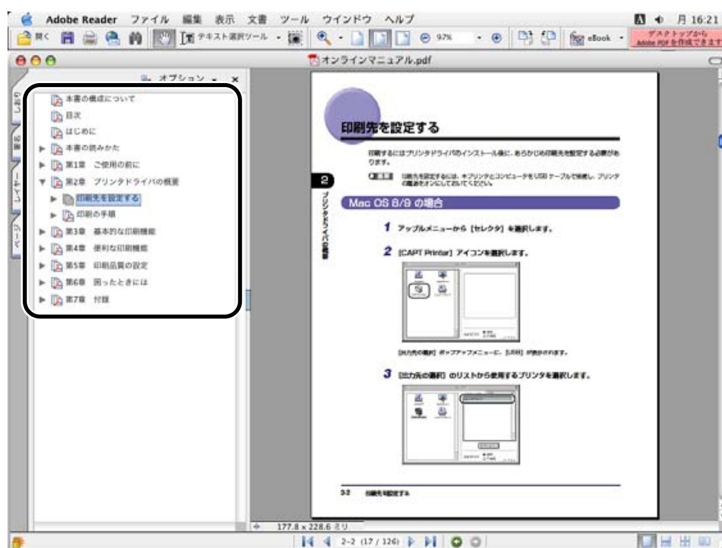


3 ［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックします。



オンラインマニュアルが起動します。

4 ［しおり］から参照するトピックを選択します。



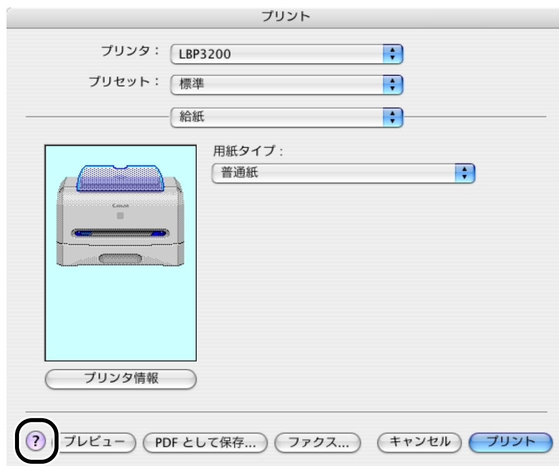
選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

プリンタドライバヘルプを表示する

プリンタドライバの設定項目の詳細については、プリンタドライバヘルプを参照してください。プリンタドライバヘルプは、以下のように表示できます。

ここでは Mac OS X の画面例で説明します。

1 ダイアログ内の［?］をクリックします。



5

Macintoshから印刷するには

2 各ダイアログのヘルプが表示されます。



日常のメンテナンス

6
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換やプリンタの取り扱いなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。



本プリンタ用 EP-26 トナーカートリッジの寿命は、A4 サイズの用紙の場合で約 2500 枚です。この枚数は一般的な印刷（印字比率：約 5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。グラフィックデータなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

トナーカートリッジを交換する前に

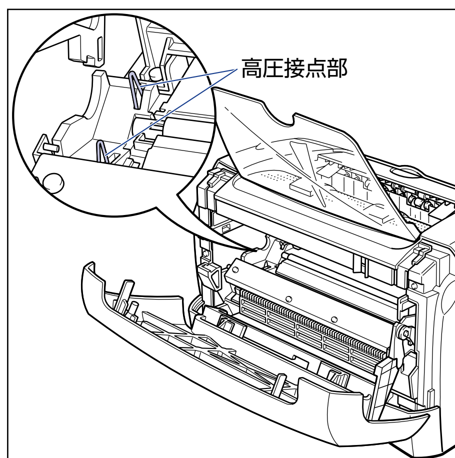
トナーカートリッジは消耗品です。トナーが不足すると用紙の縦方向に白いすじが入ったり、印字のカスレやムラが出ることがあります。このような症状が出たら、トナーカートリッジを交換する前に次の操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間印刷できることがあります。



トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。



フロントカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

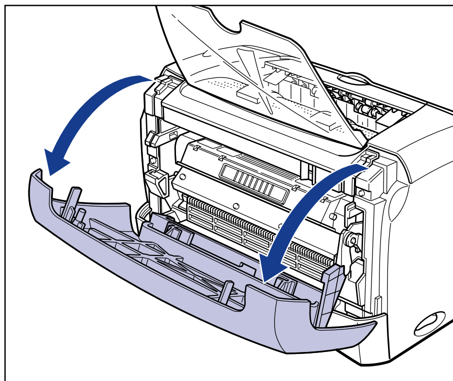


6

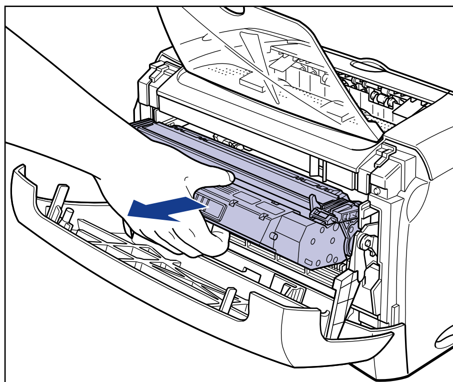
日常のメンテナンス

1 フロントカバーを開けます。

フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

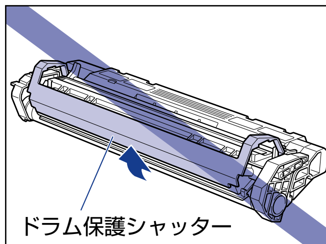


2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

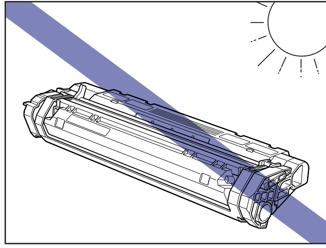




- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

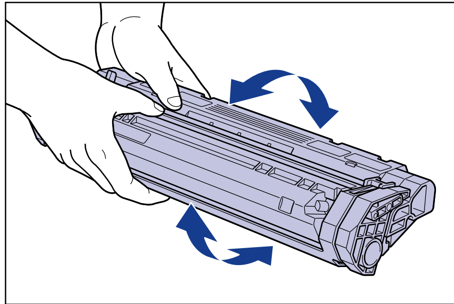


- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。



3 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

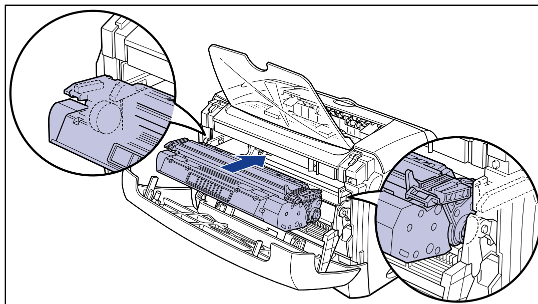
トナーがこぼれないように振ってください。

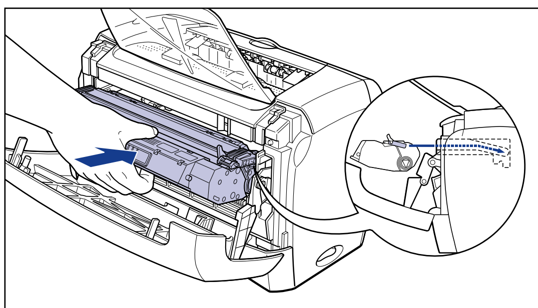


重要

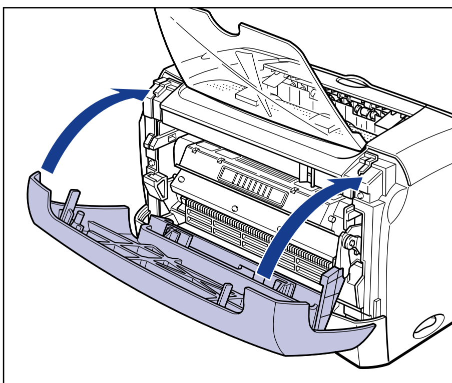
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

4 トナーカートリッジ左右の突起を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。





5 フロントカバーを閉めます。





- フロントカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にフロントカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

上記のような操作をしても印刷がかすれるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジの交換

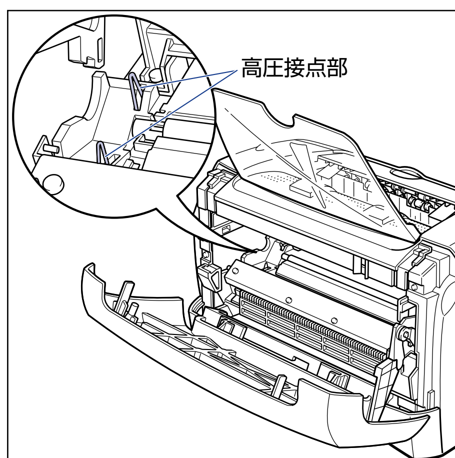
次の手順で、新しいトナーカートリッジと交換してください。

トナーカートリッジの交換をしたときは、クリーニングを行います。クリーニング方法については「クリーニング」(→P.6-12)を参照してください。

警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。
- フロントカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

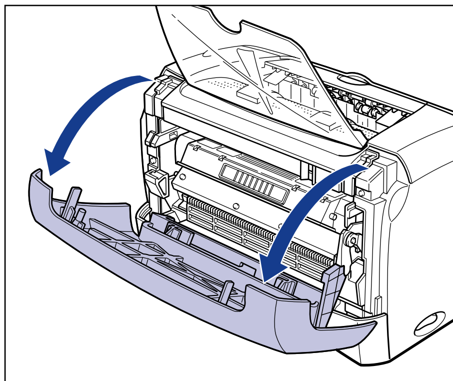


6

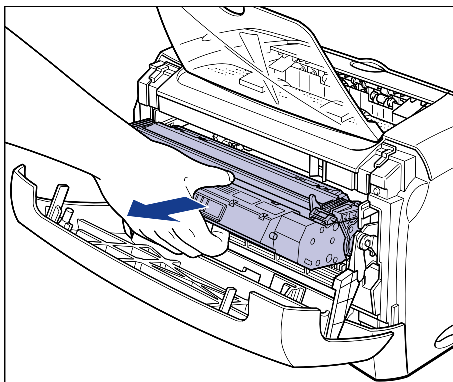
日常のメンテナンス

1 フロントカバーを開けます。

フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

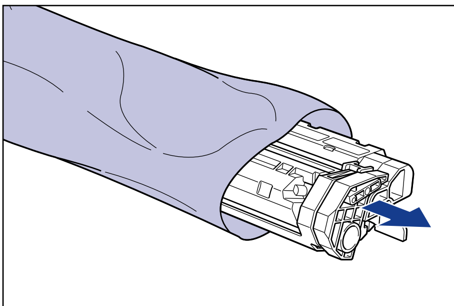


2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。



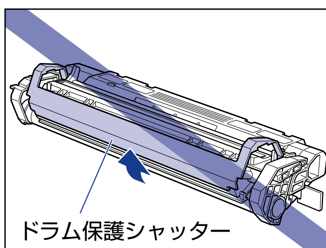
3 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

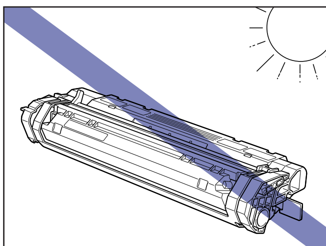


重要

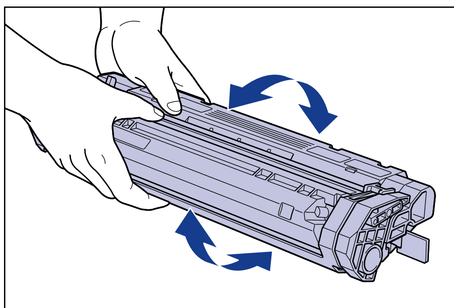
- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。



4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

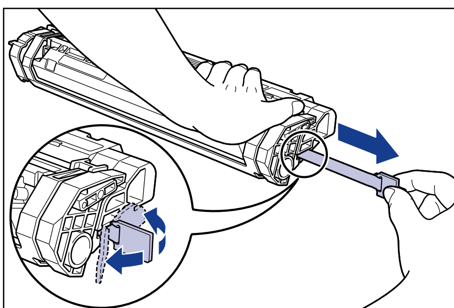




- トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

5 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約45cm）を引き抜きます。

シーリングテープは、図のようにタブを折ってから、タブを持ちまっすぐに引き抜きます。

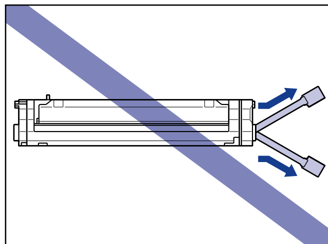




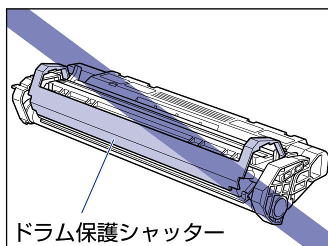
シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

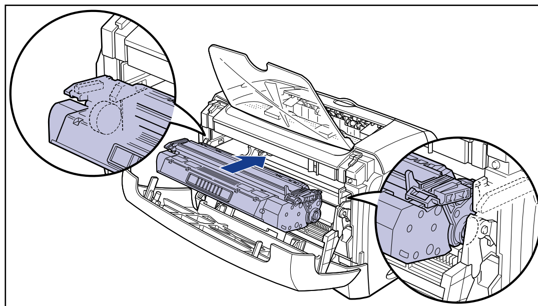


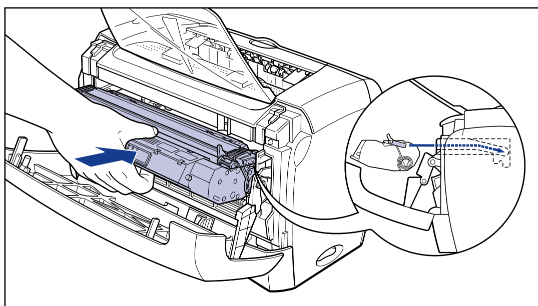
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



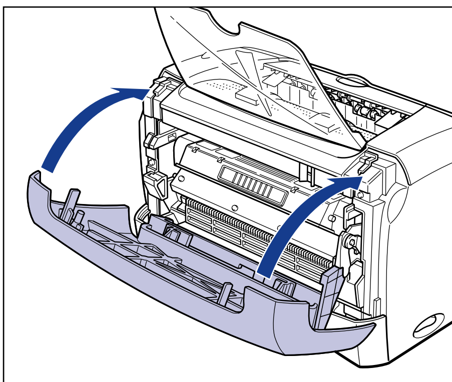
- トナーカートリッジは、保護袋から取り出した状態で放置せず、できるだけ早く本体に取り付けてください。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

6 トナーカートリッジ左右の突起を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。





7 フロントカバーを閉めます。





- フロントカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にフロントカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

次にクリーニングを行ってください。(➞ クリーニング：P.6-12)

クリーニング

トナーカートリッジを交換したときは、クリーニングを行います。



ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Mac OS をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章　プリントモニタを利用する」を参照してください。

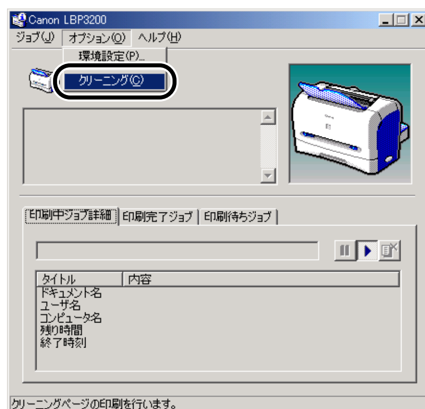
1 A4またはレターサイズの白紙をカセットまたは手差し給紙口にセットします。

2 Windowsのタスクバーにあるアイコンをクリックし、[Canon LBP-3200] を選択します。



プリンタステータスウィンドウが表示されます。

3 [オプション] → [クリーニング] の順にクリックします。

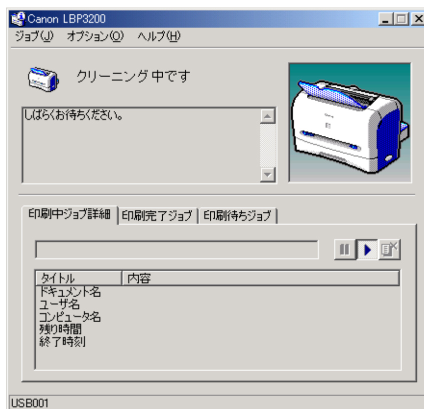


クリーニングがはじまります。

6

日常のメンテナンス

プリンタステータスウィンドウには、[クリーニング中です] のメッセージが表示されます。用紙が排出され、メッセージが消えれば終了です。





- クリーニングは、印刷中や印刷の一時停止中には行えません。
- クリーニング中は、クリーニングを中止できません。



クリーニングには、約3分かかります。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い



キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる"環境保全と資源の有効活用"の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

6
日常のメンテナンス

トナーカートリッジ取り扱いのご注意

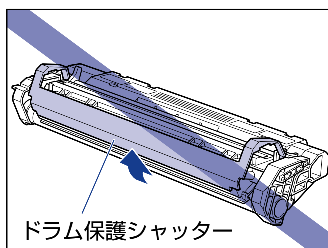
トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

⚠警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

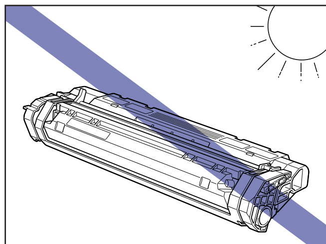
⚠注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

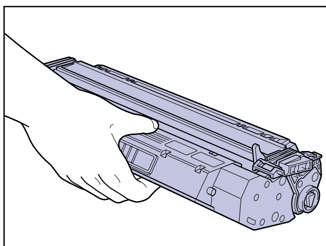
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

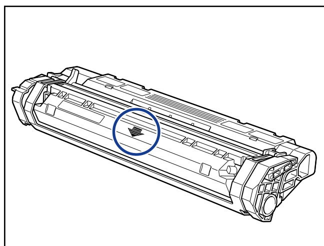


- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。



- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。





6 日常のメンテナンス

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 1 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- 交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- プリンタの修理や紙づまりの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化の激しい場所は避けてください。
- 保管温度範囲：0 ～ 35°C
- 保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

プリンタを清掃する

本プリンタを長期間お使いいただいている間に、本体外部にほこりや汚れが付着したときは、清掃してください。プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて行ってください。

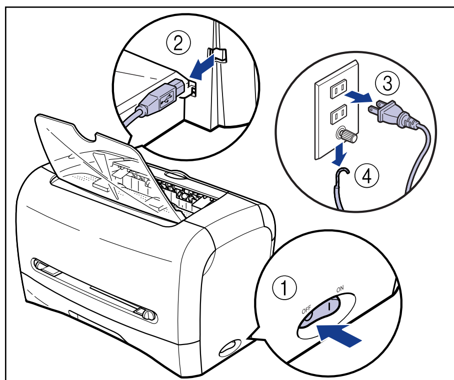
警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 本体のプラスティックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

6

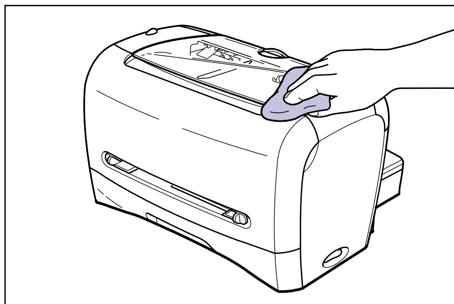
日常のメンテナンス

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**



2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

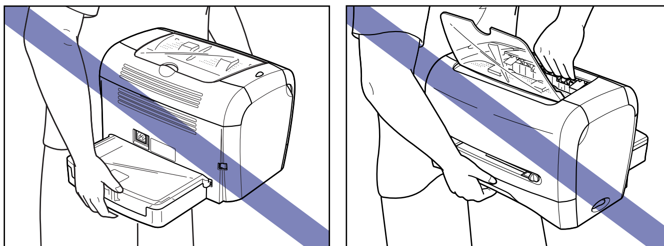
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続し、USB ケーブルを接続します。

プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動させてください。

⚠警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、USB ケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードや USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

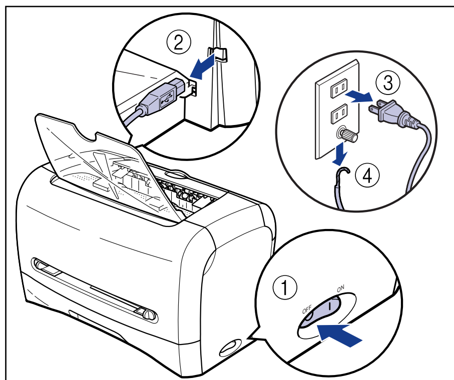
⚠注意
- 本プリンタは、カセット、カセット保護カバーを取り付けていない状態で、約 6.0kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に本体前面や排紙口、本体背面など、指示された以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



プリンタ本体を移動する

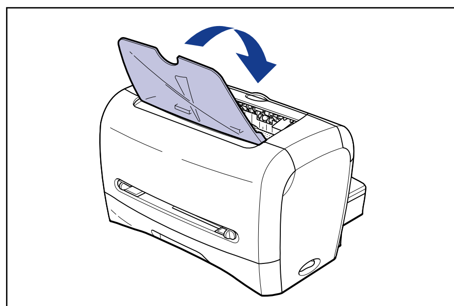
次の手順でプリンタを移動します。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



2 電源コード、アース線を取り外します。

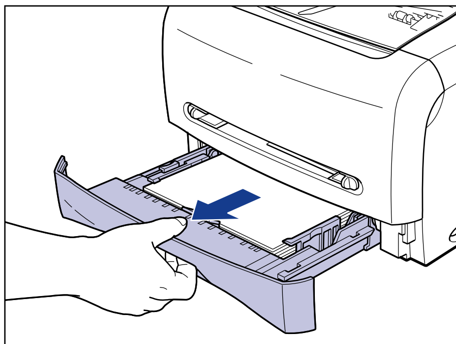
3 フェイスダウン排紙トレイが開いている場合は閉じます。



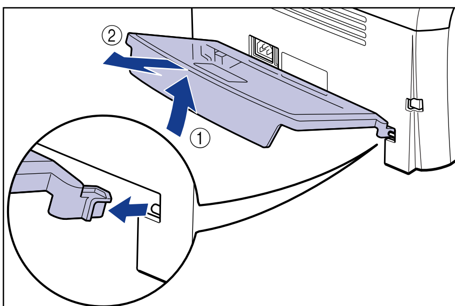
6

日常のメンテナンス

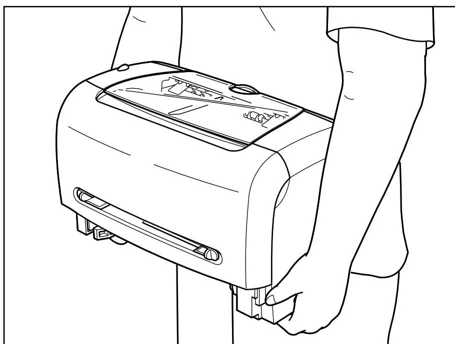
4 カセットを引き出します。



5 プリンタの背面のカセット保護カバーを取り外します。



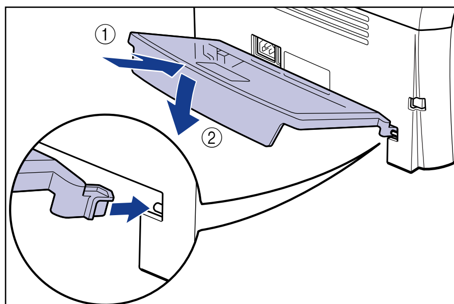
6 図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。



7 設置場所にゆっくりとおろします。

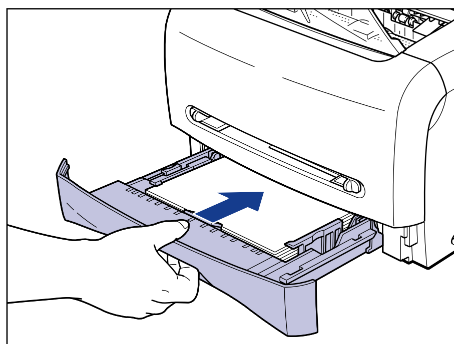
注意 プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

8 プリンタの背面にカセット保護カバーを取り付けます。



9 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



10 電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

> **●プリンタを輸送するときは**
>
> 移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
> 本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

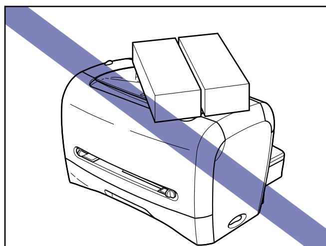
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要　本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（→P.xii）もお読みください。

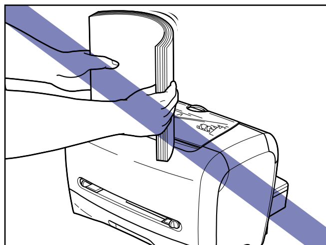
プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態で印刷できるように、次の事項をお守りください。

重要
- プリンタやフェイスダウン排紙トレイ、カセット保護カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

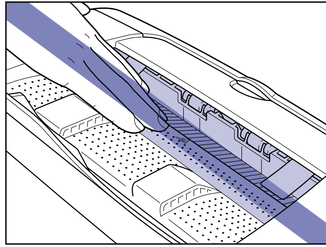


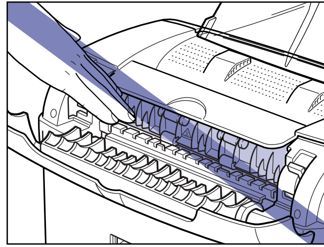
- フロントカバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると印刷の品質が低下する原因になります。
- 印刷中に振動を与えないでください。印字品質が低下することがあります。



- 印刷中は、絶対にプリンタのフロントカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- フェイスダウン排紙トレイ、排紙切替カバーやプリンタのフロントカバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。





プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

- 温度が 0 ～ 35℃ の範囲内の場所
- 湿度が 35 ～ 85%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

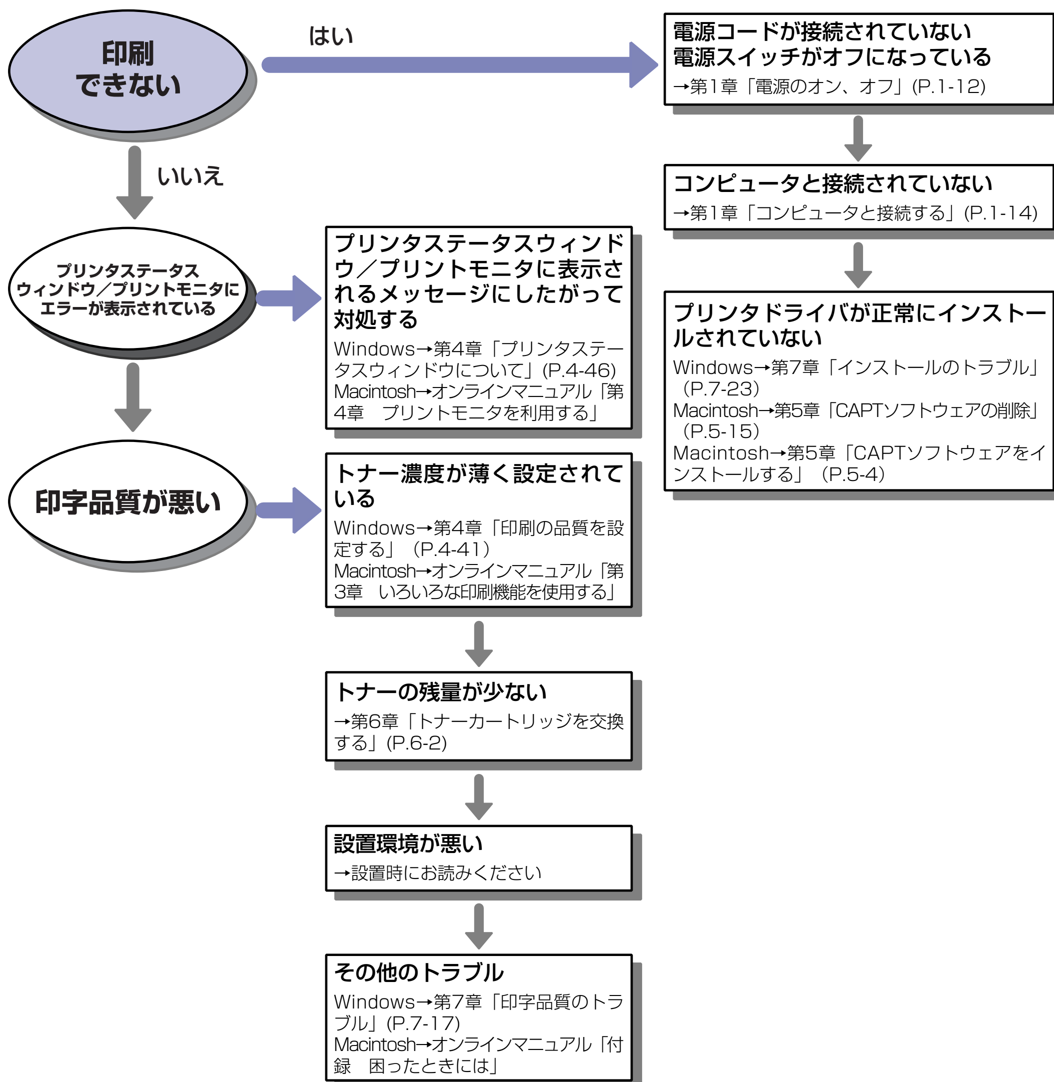
困ったときには

7
CHAPTER

この章では、紙づまりが起こったときや印字品質に問題があるときなどの対処のしかたについて説明しています。

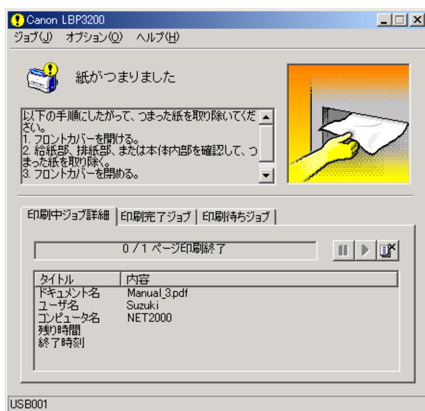
トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。



紙づまりが起こったときには

印刷中に紙づまりが起こると、Windows をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。Mac OS をお使いの場合は、プリントモニタにメッセージが表示されます。

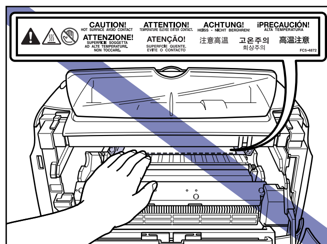




製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

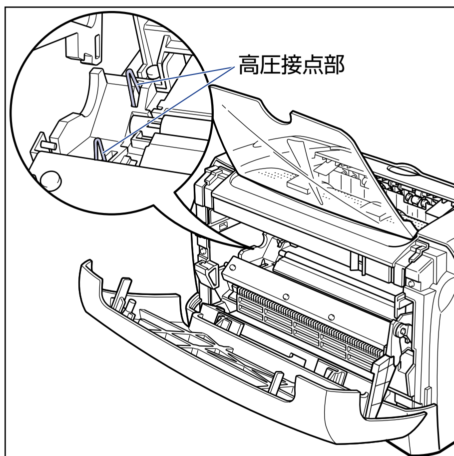


- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理などで内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

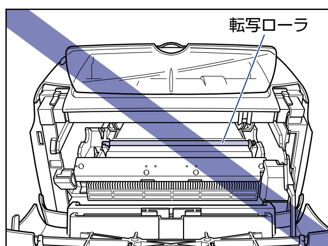


重要

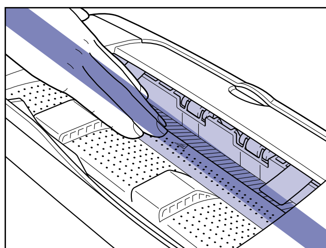
- フロントカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

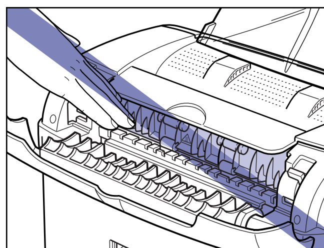


- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- フロントカバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、フロントカバーを一度開閉してください。
- 転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。



- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙部やフェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。



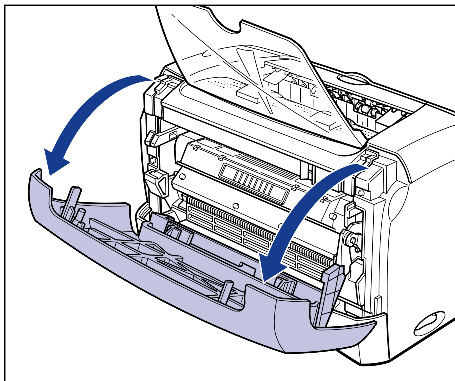


メモ

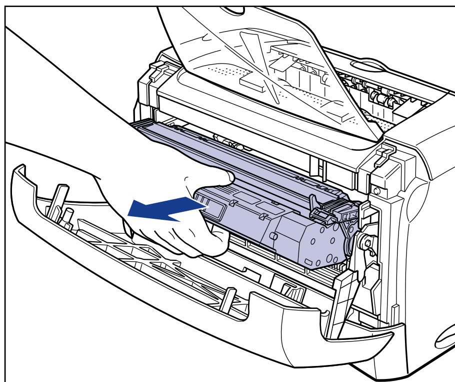
プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第 4 章　プリントモニタを利用する」を参照してください。

1 フロントカバーを開けます。

フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。



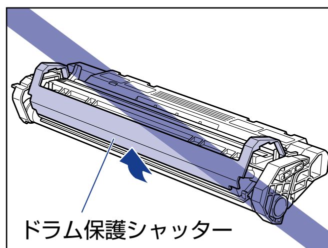
2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。



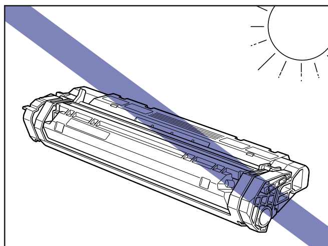
ここで用紙がつまっていても、取り除かないで次の手順に進んでください。

重要

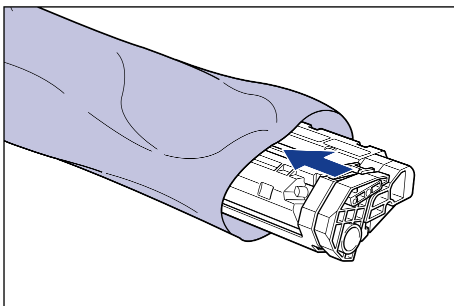
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



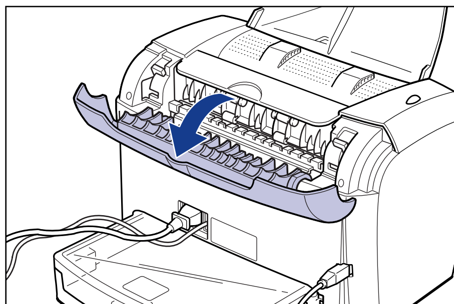
- トナーカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。



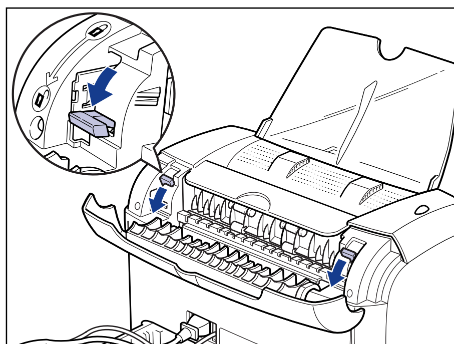
3 トナーカートリッジを保護袋に入れます。



4 排紙切替カバーを開けます。

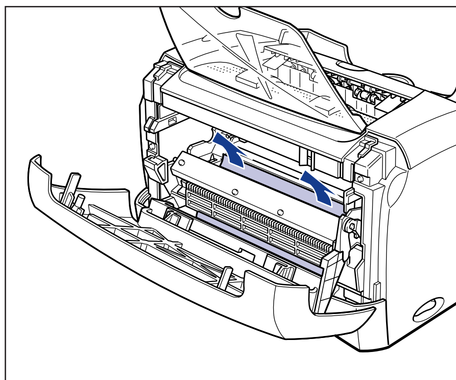


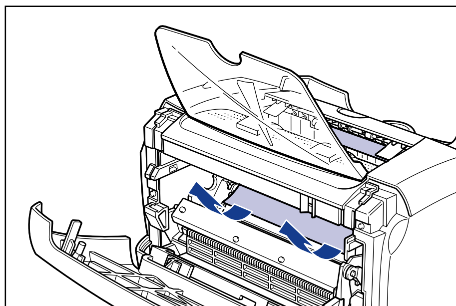
5 定着器の加圧解除レバーを左右ともに手前に倒し、定着器の圧力を解除します。



ここで用紙がつまっていても、取り除かないで次の手順に進んでください。

6 本体内部につまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

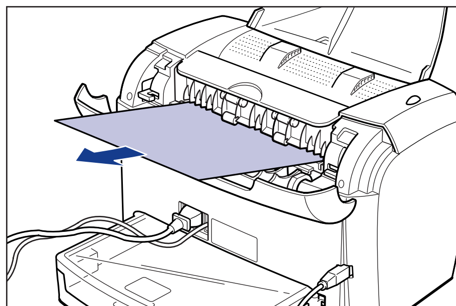




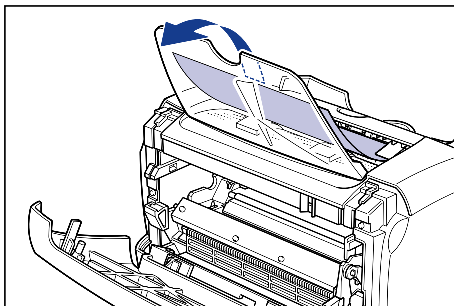


本体内部側から用紙が簡単にとれない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

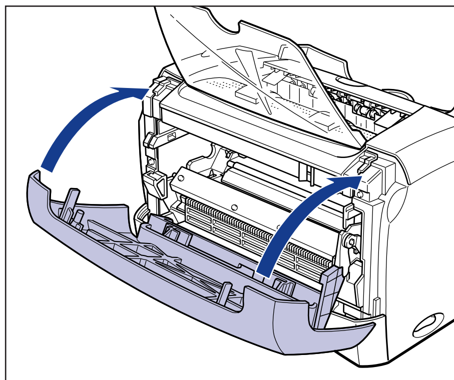
7 フェイスアップ排紙口につまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。



8 フェイスダウン排紙部につまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

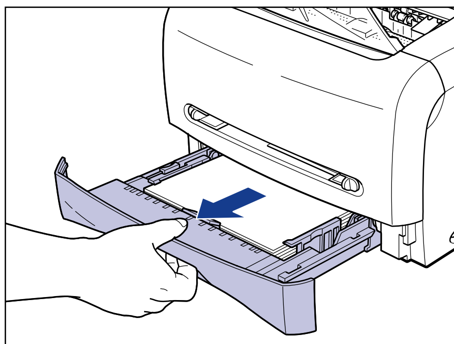


9 フロントカバーを閉めます。



10 カセットを引き出します。

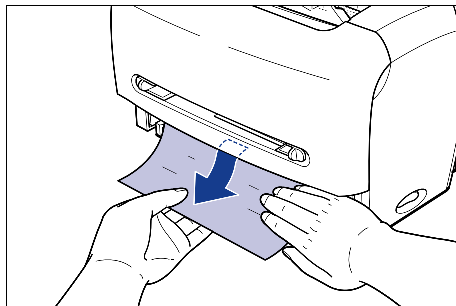
カセットを引き出すときは最後までゆっくりと引き出します。



11 つまっている用紙をゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。

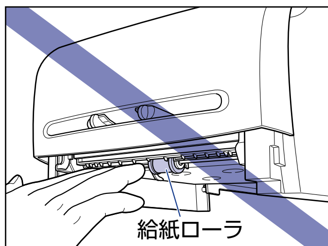
● カセットから給紙していた場合

❑ 図のように用紙を手で抑え、ゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。



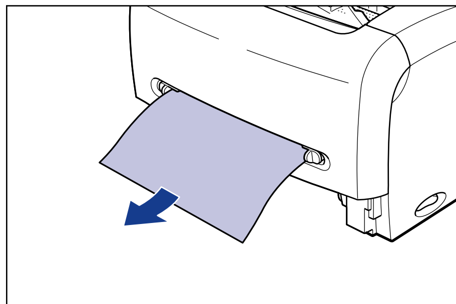
重要

- 用紙を取り除くときは必ず手で抑えて用紙を取り除いてください。用紙を手で抑えずに引っぱると、用紙が破れることがあります。
- 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。

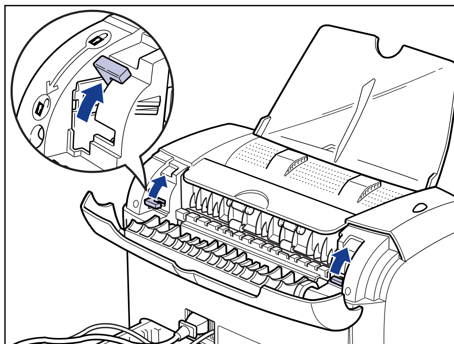


● 手差し給紙口から給紙していた場合

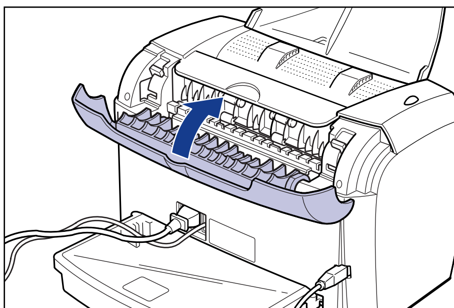
❑ ゆっくりと矢印の方向に引っぱって取り除きます。



12 定着器の加圧解除レバーを元の位置に戻します。

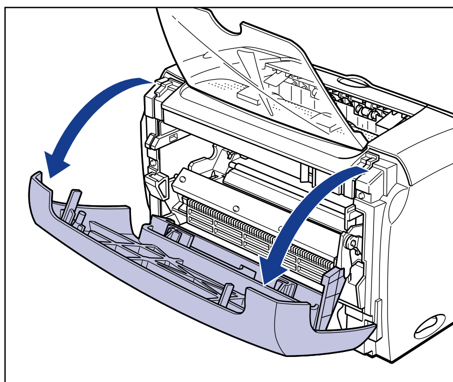


13 排紙切替カバーを閉じます。

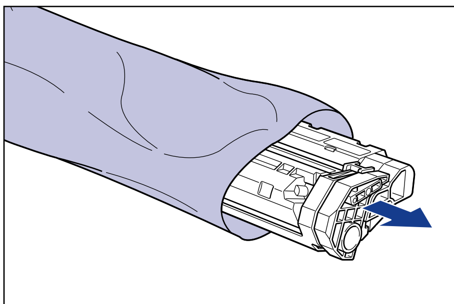


14 フロントカバーを開けます。

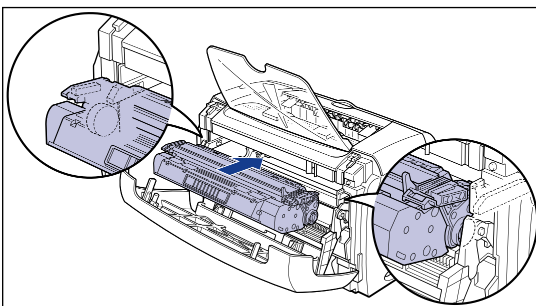
フロントカバーは、プリンタの左右の溝に手を入れ、最後までゆっくりと強く引いて開けます。

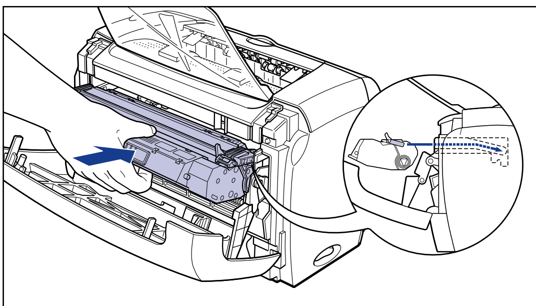


15 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

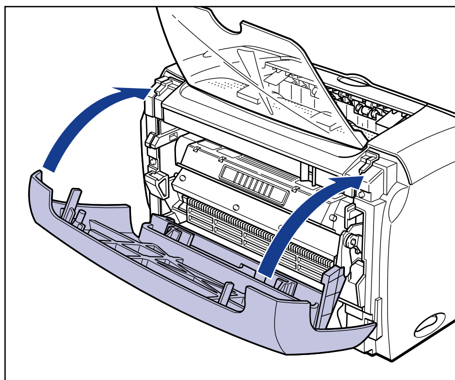


16 トナーカートリッジ左右の突起を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。





17 フロントカバーを閉めます。

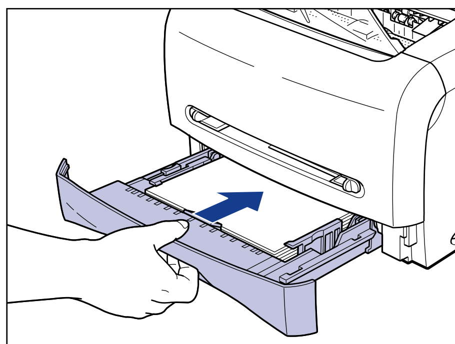


手差し給紙口から給紙して紙づまりが起こった場合、ここで手差し給紙口に用紙をセットして、印刷しなおしてください。

重要
- フロントカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にフロントカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

18 カセットをプリンタにセットします。

カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



サービスエラー表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったとき、Windows をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のようなサービスエラーが表示されます。

Mac OS をお使いの場合は、プリントモニタにサービスエラーが表示されます。

サービスエラー	原因	処置
Canon LBP3200 ジョブ(J) オプション(O) ヘルプ(H) 定着器エラー 定着器に異常があります。 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。 印刷中ジョブ詳細 印刷完了ジョブ 印刷待ちジョブ タイトル 内容 ドキュメント名 ユーザ名 コンピュータ名 残り時間 終了時刻 USB001	定着器に異常が発生した。	「定着器エラーが表示されたときには」（➞P.7-15）の手順にしたがって、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。
Canon LBP3200 ジョブ(J) オプション(O) ヘルプ(H) スキャナエラー スキャナに異常があります。 電源をいったん切り、電源を入れなおしてください。 それでも同じエラーが表示される場合は、電源を切り、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。 印刷中ジョブ詳細 印刷完了ジョブ 印刷待ちジョブ タイトル 内容 ドキュメント名 ユーザ名 コンピュータ名 残り時間 終了時刻 USB001	スキャナに異常が発生した。	「スキャナエラー、サービスエラーが表示されたときには」（➞P.7-16）の手順に従って電源を入れなおしてください。
Canon LBP3200 ジョブ(J) オプション(O) ヘルプ(H) サービスエラー プリンタに異常があります。 電源をいったん切り、電源を入れなおしてください。それでも同じエラーが発生する場合は、電源を切り、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。 印刷中ジョブ詳細 印刷完了ジョブ 印刷待ちジョブ タイトル 内容 ドキュメント名 ユーザ名 コンピュータ名 残り時間 終了時刻 USB001	プリンタに異常が発生した。	「スキャナエラー、サービスエラーが表示されたときには」（➞P.7-16）の手順に従って電源を入れなおしてください。

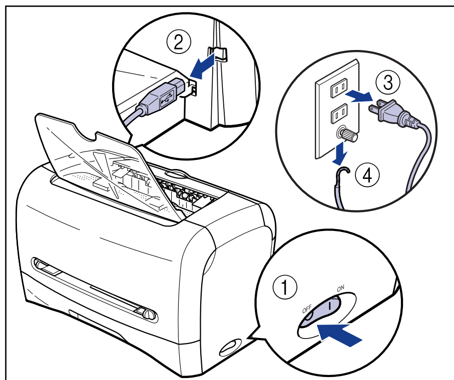


プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第 4 章 プリントモニタを利用する」を参照してください。

定着器エラーが表示されたときには

定着器エラーが表示されたら、次の手順に従ってお買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**





定着器エラーが表示され、電源をオフにしたあとは絶対に電源をオンにしないでください。

2 **お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。**

ご連絡の際には、症状をお知らせください。

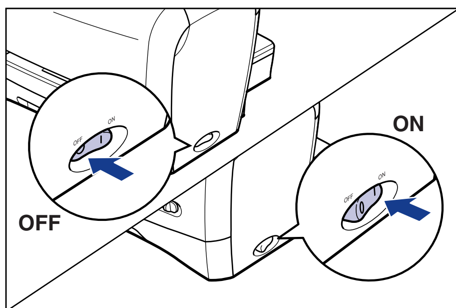
7

困ったときには

スキャナエラー、サービスエラーが表示されたときには

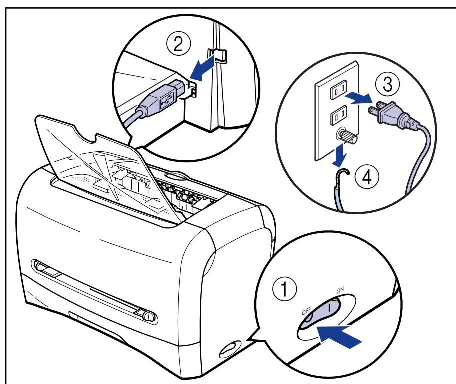
スキャナエラー、サービスエラーが表示されたら、次の手順に従って電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

1 **電源をいったんオフにし、10秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。**



メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USBケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**



3 **お買い求めの販売店にご連絡ください。**

ご連絡の際には、症状をお知らせください。

印字品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタにメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」(➞P.7-3）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

メモ

- Mac OS をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「付録　困ったときには」を参照してください。
- ここでは、Windows のドライバの操作方法で説明します。Mac OS のドライバの操作方法は「オンラインマニュアル」を参照してください。

白いすじが入る（印字のカスレやムラが出る）

原　因　トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている

処　置　トナーカートリッジを取り出して、ゆっくりとゆすり、トナーカートリッジ内のトナーをならしてください。それでも同じ症状がでるときは、新しいトナーカートリッジに交換します。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2)

印字が全体に薄い

原因 1　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細設定］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2　［トナー節約モードを使う］が有効になっている

処　置　プリンタドライバで［トナー節約モードを使う］のチェックマークを消します。
［トナー節約モードを使う］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細設定］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

印字が全体に黒ずむ

原因 1　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細設定］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置　まず「原因　1」の処理と同様の操作を行ってください。それでも同じ症状が出る場合は、プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　プリンタドライバで［倍率を指定］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［倍率を指定］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。（➞ 普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-14、はがき、往復はがき、封筒に印刷する：P.2-25、ユーザ定義用紙に印刷する：P.2-38）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処　置　本プリンタの有効印字領域は用紙周囲から上 5mm、下 5mm、左 5mm、右 5mm を除いた領域です。データの周囲に 5mm 以上の余白を取ってください。

印刷した用紙に黒点状の汚れが付着する

原　因　定着器が汚れている

処　置　クリーニングを行ってください。（➞ クリーニング：P.6-12）

印字位置がずれてしまう

原　因　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1　ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

用紙にしわがよる

原因 1　カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置　カセットに用紙を正しくセットしてください。（➞ 普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-14、はがき、往復はがき、封筒に印刷する：P.2-25、ユーザ定義用紙に印刷する：P.2-38）

原因 2　手差し給紙口に用紙を斜めにセットした

処　置　手差し給紙口にまっすぐに用紙をセットしてください。（➞ 普通紙、厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムに印刷する：P.2-14、はがき、往復はがき、封筒に印刷する：P.2-25、ユーザ定義用紙に印刷する：P.2-38）

原因 3　用紙が吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙と交換してください。

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1　シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置　トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因 2　用紙が重なって送られた

処　置　セットした用紙をよく揃えてセットしなおしてください。

原因 3　フロントカバーが確実に閉まっていない

処　置　フロントカバーを確実に閉めてください。

用紙が真っ黒で何も印刷されない

原　因　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2)

印刷した OHP フィルムに白い粉がつく

原　因　OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した

処　置　OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

部分的に白く抜ける

原因 1　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 2　用紙が吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙と交換してください。

原因 3　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2)

用紙がカールする

原因 1　用紙が吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙と交換してください。

原因 2　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 3　プリンタ上面のフェイスダウン排紙部に排紙した

処　置　カールしやすい用紙を使用する場合は、排紙先をフェイスアップ排紙口に切り替えてください。(➞ 排紙先について：P.2-11)

原因４　薄手の用紙を使用している

処　置　プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認してください。



Mac OS をお使いの場合は、オンラインマニュアル「付録　困ったときには」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

2 テストページを印刷します。

● Windows 98/Me の場合

❑ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス→［全般］→［印字テスト］の順にクリックします。

● Windows 2000/XP の場合

❑ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス→［全般］→［テストページの印刷］の順にクリックします。

■ **テストページが適切に印刷される場合**

CAPT ソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

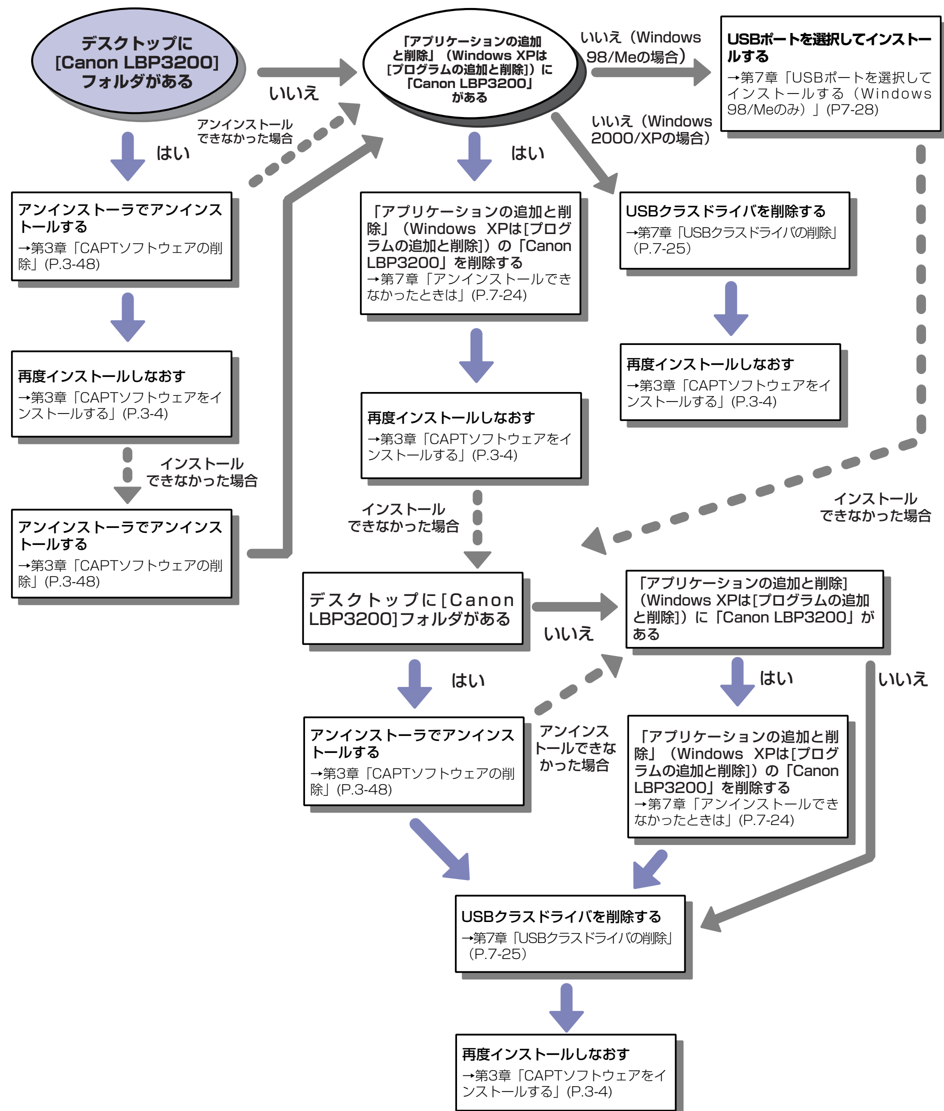
■ **テストページが印刷できない場合**

CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてから、テストページを印刷してください。(→CAPT ソフトウェアの削除：P.3-48)

インストールのトラブル

「USB クラスドライバ」と「LBP3200 プリンタドライバ」のインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ　Mac OS をお使いの場合は、オンラインマニュアル「付録　困ったときには」を参照してください。



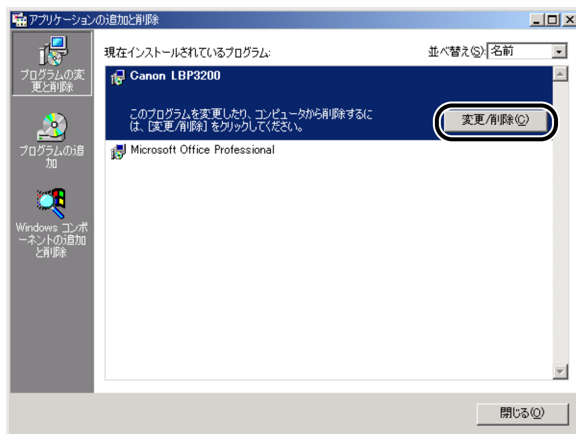
アンインストールできなかったときは

インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合やデスクトップに［Canon LBP3200］フォルダがない場合は、以下の手順にしたがって［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP は［プログラムの追加と削除］）で CAPT ソフトウェアを削除します。

1 **［スタート］メニュー →［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］の順でクリックします。**

Windows XP の場合は、［スタート］メニュー →［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］の順でクリックします。

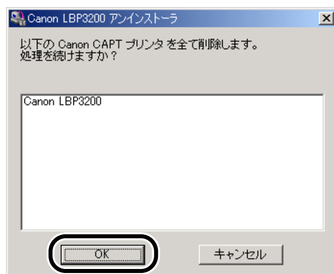
2 **［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内の［Canon LBP3200］を選択し、［変更/削除］（Windows 98/Me は［追加と削除］、Windows XP は［変更と削除］）をクリックします。**





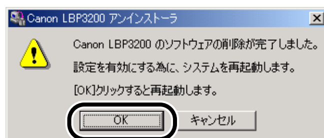
Windows 2000/XP で［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP3200］がない場合は「USB クラスドライバの削除」（→P.7-25）を行って再度インストールしてください。
Windows 98/Me で［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3200］がない場合は「USB ポートを選択してインストールする（Windows 98/Me のみ）」（→P.7-28）を行ってください。

3 ［OK］をクリックします。



アンインストールが実行され、再起動画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックします。



Windows が再起動します。

USB クラスドライバの削除

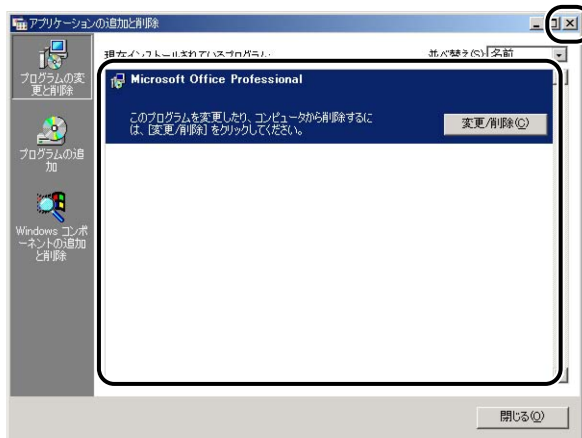
USB クラスドライバの削除は、一度アンインストールを行っても、正しくインストールできなかった場合やアンインストールできなかった場合に行います。

1 USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。

2 ［スタート］メニュー→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］の順でクリックします。

Windows XP の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］の順でクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP3200］がないことを確認し、［×］をクリックします。

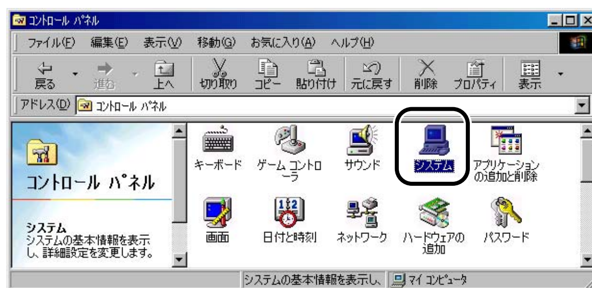




［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP3200］がある場合は、「アンインストールできなかったときは」（→P.7-24）を参照して［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内の［Canon LBP3200］を削除してください。

4 ［スタート］メニュー→［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。

Windows XP Professional の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［システム］の順でクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニュー→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［システム］の順でクリックします。

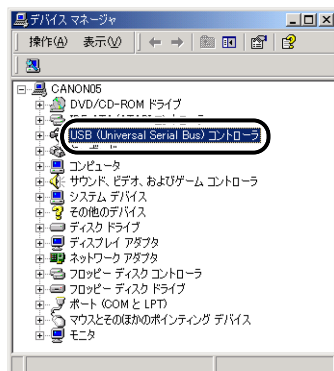


7

困ったときには

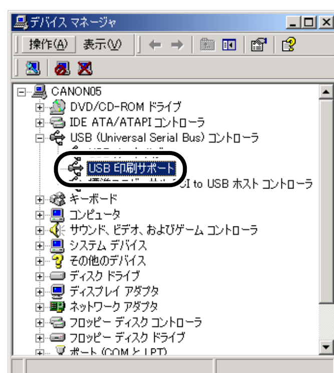
5 ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］をダブルクリックします。

Windows 98/Me の場合は［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させて［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。



6 ［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にある以下の USB クラスドライバのみを削除します。

Windows 2000/XP の場合は［USB 印刷サポート］を表示させ、［操作］メニューの［削除］を選択します。
Windows 98 の場合は［Canon LBP3200］を、Windows Me の場合は［Canon CAPT USB Printer］を選択して、［削除］をクリックします。

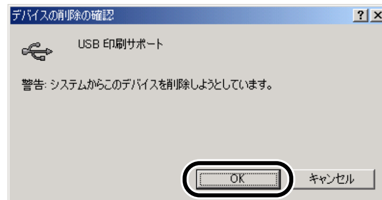


重要

- USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下にある場合も正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、［Canon LBP3200］、［Canon CAPT USB Printer］、または［不明なデバイス］のいずれかを選択して削除してください。
- 他のデバイスや device driver などの他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は［USB 印刷サポート］（Windows 2000/XP）、［Canon CAPT USB Printer］（Windows Me）、［Canon LBP3200］（Windows 98）は表示されません。

7 ［デバイス削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。



8 ［閉じる］をクリックします。

［システムのプロパティ］が閉じます。

9 USB ケーブルをパソコンから外し、Windows を再起動します。

再起動が終了したらもう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。（CAPT ソフトウェアをインストールする ➞P.3-4）

7

困ったときには

USB ポートを選択してインストールする（Windows 98/Me のみ）

USB ポートを自動検出できず、正常にインストールができなかった場合は、次の手順にしたがって USB ポートを選択し、インストールしてください。

---

1 付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」を CD-ROM ドライブにセットします。

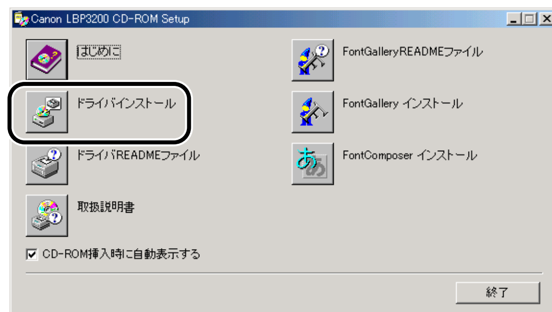
すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。



CD-ROM メニューが表示されない場合は、［スタート］メニューの［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CAP4MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

2 ［ドライバインストール］をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

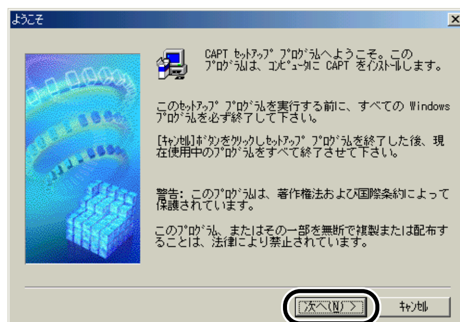
3 言語を確認し、［OK］をクリックします。



インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動します。

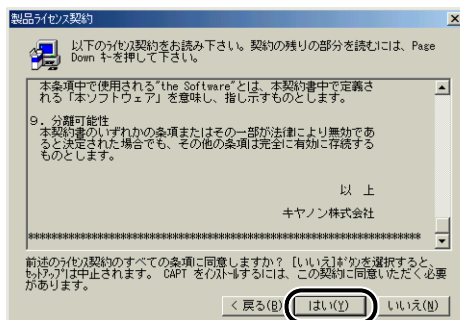
［ようこそ］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

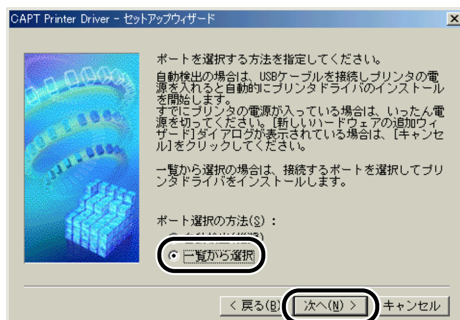


［製品ライセンス契約］ダイアログボックスが表示されます。

5 使用許諾契約書の内容を確認し、［はい］をクリックします。



6 ［一覧から選択］を選択したあと、［次へ］をクリックします。





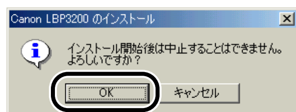
USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は、「一覧から選択」はグレーアウトされ、選択できません。

7 ［ポート一覧］から本プリンタで使用できる USB ポートを選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、「USBPRNXX」（XX は数字）を選択します。
Windows Me の場合は、「USBXXX」（XXX は数字）を選択します。



8 [OK] をクリックします。



9 インストールが完了したら、[完了] をクリックします。



ネットワークインストール時のトラブル

[共有プリンタ] リストボックスに接続するプリントサーバ名または共有プリンタ名が表示されない

原因 1	プリントサーバが起動されていない
処　置	プリントサーバを起動してください。
原因 2	プリンタが共有設定されていない
処　置	[プリンタプロパティ] ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。
原因 3	プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない
処　置	ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

その他のトラブル

LBP3200 が正常に動作しない

原因 1 LBP3200 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置 通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2 CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある

処　置 CAPTソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください（CAPT ソフトウェアの削除：P.3-48、P.5-15、CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4、P.5-4）。

Adobe Type Manager（ATM）フォントを使用できない

原　因 Adobe Type Manager（ATM）フォントは、本プリンタでは使用できない

処　置 本プリンタで使用できるフォントを使用してください。

CD-ROM メニューが自動的に表示されない

原因 1 CD-ROM メニューの［CD-ROM 挿入時に自動表示する］が選択されていない

処　置 ［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、［開く］を選択して CD-ROM メニューを手動で表示させます。［CD-ROM 挿入時に自動表示する］を選択してください。

原因 2 ［挿入の自動通知］が選択されていない（Windows98/Me のみ）

処　置 ［デバイスマネージャー］から CD-ROM ドライブのプロパティを表示し、［設定］ページの［挿入の自動通知］を選択してください。

CD-ROM メニュー起動時に File not found on CD-ROM エラーが起こる

原　因 プログラムがハードディスクから読み込まれている

処　置 ハードディスクから CAP4MNU.EXE ファイルを削除し、付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」から CD-ROM メニューを起動してください。

プリンタステータスウィンドウに［用紙が指定と異なります］と表示されている

原　因　印刷するジョブの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なっている

処　置　カセットにセットされている用紙サイズが正しいか確認し、カセットを再度プリンタにセットします（自動的に印刷が開始されます）。手差し給紙口から印刷する場合は、手差し給紙口にセットされている用紙サイズを確認し、プリンタステータスウィンドウの［再開］ボタンをクリックします。

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。詳しくは、付属の CD-ROM「User Software for LBP3200」の［Japanese］フォルダ内に収められている「note_ex.pdf」を参照してください。

7

困ったときには

付録

8
CHAPTER

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

プリンタのおもな仕様

ハードウェアの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度 普通紙（64 ～ 90g/m^2）		A4 連続プリント時 18 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間		0 秒（電源オン時は 8 秒以下）
ファーストプリント時間		フェイスダウン排紙時：10 秒以下（20 ℃ A4 サイズ） フェイスアップ排紙時：9 秒以下（20 ℃ A4 サイズ） * プリンタがデータを受信し始めてからの時間です。
用紙サイズ	カセット	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ、往復はがき、はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、 最大積載枚数　約 250 枚（64g/m^2）
	手差し給紙口	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、往復はがき、はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、ユーザ定義用紙（幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm） 最大積載枚数　1 枚
排紙方法		フェイスダウン／フェイスアップ
排紙積載枚数		フェイスダウン排紙部（フェイスダウン）　約 100 枚（64g/m^2） フェイスアップ排紙口（フェイスアップ）　1 枚
稼働音音圧レベル （バイスタンダ位置） （ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時：　暗騒音 プリント時：　55dB［A］以下
使用環境 （プリンタ本体のみ）		動作環境温度　7.5 ～ 32.5℃ 湿度　5 ～ 90%RH（結露しないこと）
保管環境 （プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0 ～ 35℃ 湿度　35 ～ 85%RH（結露しないこと）
ホストインタフェース		USB インタフェース * USB Full-Speed（USB1.1 相当）
電源		AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）

消費電力 (20℃時)		動作時平均　約370W スタンバイ時平均　約7W 最大　620W以下
消耗品	トナーカートリッジ	EP-26トナーカートリッジ プリント可能ページ数　約2500枚 * A4またはレターサイズの場合
質量		プリンタ本体......約6.1kg (トナーカートリッジは除く) カセット......約0.8kg トナーカートリッジ......約0.7kg

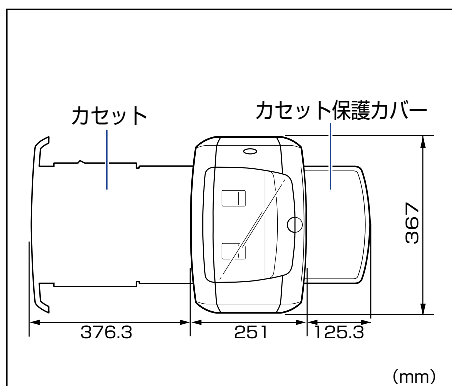
ソフトウェアの仕様

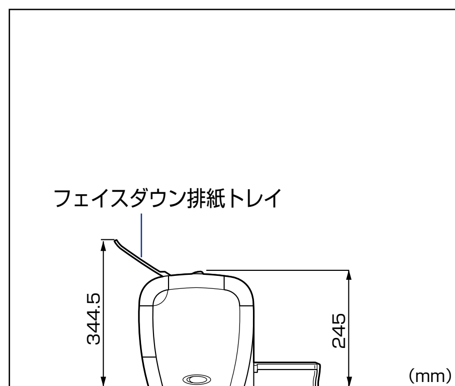
項目	仕様
プリンティングソフトウェア	CAPT(Canon Advanced Printing Technology)
有効印字領域	用紙周囲から上5mm、下5mm、左5mm、右5mmを除いた領域。

8
付録

各部の寸法

■ プリンタ本体





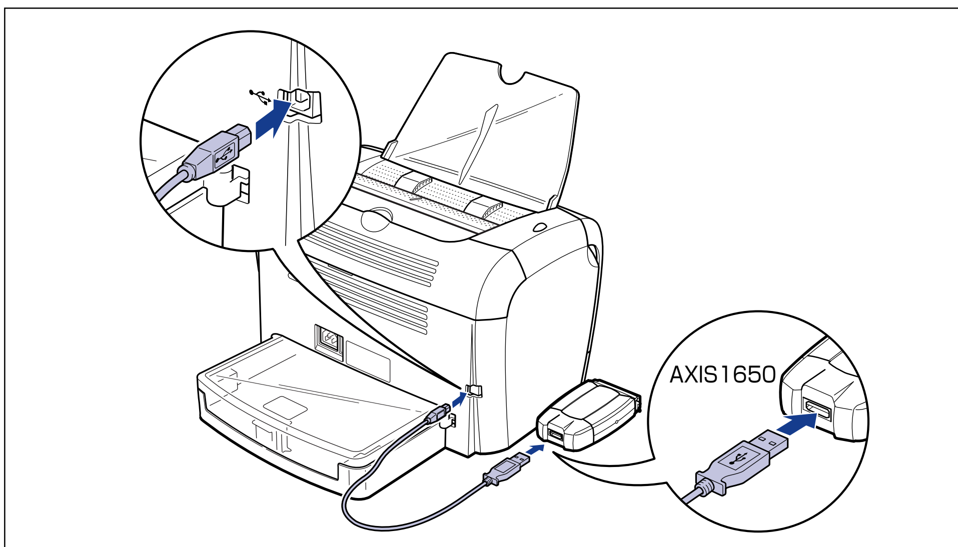
オプションについて

オプションのネットワークアダプタ（AXIS1650）をお使いになると、LBP3200 プリンタをネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

AXIS1650 については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）をご覧ください。

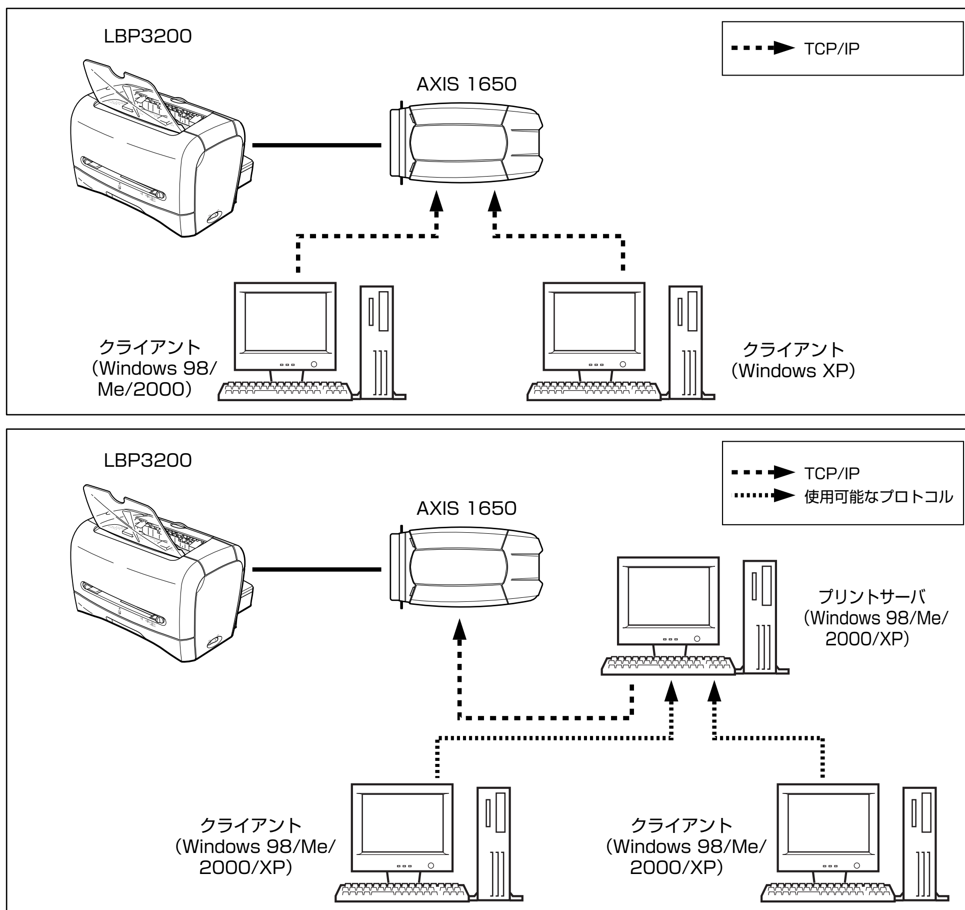
ネットワークアダプタ（Windows のみ）

オプションのネットワークアダプタは、LBP3200 プリンタと USB ケーブルで接続してお使いになれます。ネットワークアダプタとコンピュータは、ピア・トゥー・ピアで接続されます。また、プリントサーバを経由して接続することもできます。



8

付録



メモ

- ネットワークアダプタをお使いの場合、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」がご利用になれます。
- ネットワークアダプタについての詳細は、ネットワークアダプタに付属の取扱説明書を参照してください。
- ネットワークアダプタの購入は、LBP3200 をお買い求めの販売店へお問い合わせください。

NetSpot Device Installer について（Windows のみ）

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。NetSpot Device Installer は、コンピュータへのインストールが不要なソフトウェアで、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができます。

NetSpot Device Installer の詳細については、ネットワークアダプタ（AXIS 1650）に付属の取扱説明書を参照してください。



付属の CD-ROM によっては、NetSpot Device Installer が同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に NetSpot Device Installer が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp）からダウンロードしてください。

FontGallery について

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に Windows 98/Me、Windows 2000/XP および Mac OS に対応した TrueType フォント「FontGallery」が収録されています。

FontGallery には、TrueType フォントとして通常書体 20 書体、かな書体 31 書体、欧文書体 100 書体が収められています。

また、かなフォントユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。

重要
- かな書体およびFontComposerは、Windows 98/MeおよびWindows 2000/XPをお使いの場合に、ご利用いただけます。
- Macintosh をお使いの場合は、かな書体および FontComposer はご利用いただけません。
- Mac OS 10.1 以降をお使いの場合は、FontGallery はご利用いただけません。

■ 入っているもの

Windows 98/Me、Windows 2000/XP 用、および Mac OS 用の以下の書体とユーティリティソフトが収録されています。

- TrueType フォント通常書体 20 書体
- かな書体 31 書体
- 欧文書体 100 書体
- かな書体組み替えユーティリティ「FontComposer」

重要
- FontGalleryは1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。
- FontGallery をお使いになる前には、必ず「FontGallery 製品使用許諾契約書」（→P.8-11）をお読みください。
- フォントをインストールするには、1 書体につき 10 秒前後の時間がかかります。あらかじめご了承ください。

■ 使用環境について

FontGallery は、以下の条件で使用できます。

- お使いのコンピュータで以下のソフトウェアのいずれかが動作している
  - ･Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000/XP 日本語版
  - ･Mac OS 7.6/8/8.1/8.5/8.51/8.6/9/9.1/9.2/9.2.2/ 漢字 Talk7.5/7.1
- お使いのソフトウェアで動作可能な CD-ROM ドライブがある

■ コード表について

2 種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV 形式のコード表をお使いの場合は、CSV 形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

- Windows 用
  - ・ライト形式（*.wri）、CSV 形式（*.csv）
- Macintosh 用
  - ・シンプルテキスト形式、CSV 形式

■ 注意事項

重要

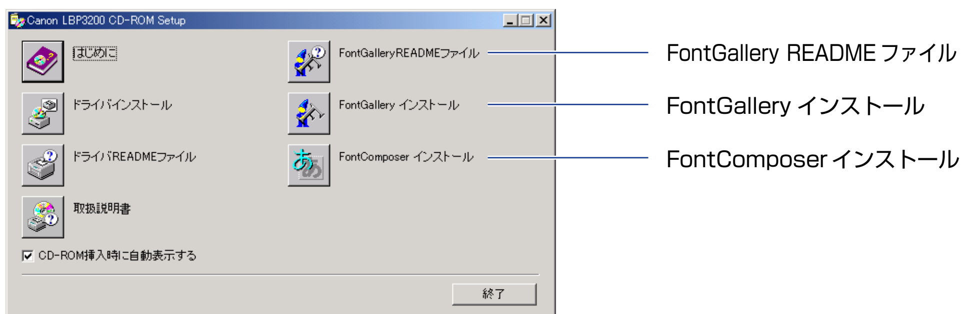
- ネットワーク上でのご使用について
  FontGallery は、ネットワーク上のサーバなどにおいて使用することはできません。
- FontComposer の動作に必要なハードディスク空き容量について
  FontComposer では、基本書体とかなフォントの組み合わせ、もしくは削除のために、約 10 ～ 20MB の空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、必要容量のチェックを行っておりますので、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、目安として、上記容量分を空けるようにお願いいたします。
- その他の注意事項に関しては、各インストールガイドを参照してください。

インストール方法について

FontGallery をインストールする前に、必ず README ファイルおよびインストールガイドをお読みください。README ファイルおよびインストールガイドは、付属の CD-ROM の CD-ROM メニューから見ることができます。

重要

Macintosh 上では、付属の CD-ROM の CD-ROM メニューは表示されません。FontGallery をインストールする場合は、付属の CD-ROM 内の［FontGallery］フォルダにある［FontGallery 取扱説明書］をお読みください。



8
付録

■ FontGallery README

FontGallery をお使いになるときに、必要な情報が記載されています。インストールする前に必ずお読みください。インストール手順などについては、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- Windows 用：
  - ・FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font フォルダ内の Fgmanual.wri（ライト形式）
  - ・FontComposer 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer フォルダ内の Fcmanual.wri（ライト形式）
- Macintosh 用：
  - ・FontGallery 取扱説明書：［FontGallery］フォルダ内の Fgallery 取扱説明書（シンプルテキスト形式）



FontGallery 取扱説明書、FontComposer 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontGallery インストール

このボタンをクリックすると、FontGallery をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

■ FontComposer インストール（Windows のみ）

このボタンをクリックすると、FontComposer をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記の FontGallery 製品使用許諾契約書を設けさせていただいており､お客様が下記契約書にご同意いただいた場合にのみ FontGallery 製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に下記契約を十分にお読みください。なお、本 FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

FontGallery 製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾
   (1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。
   (2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
   (3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
2. 「許諾ソフトウェア」の複製
   お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置11 台のみに 1 コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。
3. 保証の否認・免責
   (1) キヤノンおよびキヤノン販売株式会社（以下、キヤノン販売といいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。
   (2) キヤノンおよびキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。
4. 輸出
   お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。
5. 契約期間
   (1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノン販売に請求できません。
(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項
(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。
2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をお使いいただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を次に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を次に示します。Macintosh コンピュータをお使いの場合はお使いいただけません。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

8

付録

■ 和文組み合わせサンプル：かなユーティリティ FontComposer

和文組み合わせサンプルの見本を次に示します。Macintosh コンピュータをお使いの場合はお使いいただけません。

平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体 ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体 ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

■ 欧文書体

欧文書体の見本を次に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light Swash	*ABCDEF a de 12345*
Cataneo Regular Swash	*ABCDEF a de 12345*
Cataneo Bold Swash	***ABCDEF a de 12345***
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	± ° ′ ″ ∅ + © ® © ® ™ ™ ● ● ▪ ■ █
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*

Dutch 801 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Regular	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Black	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

や

ら

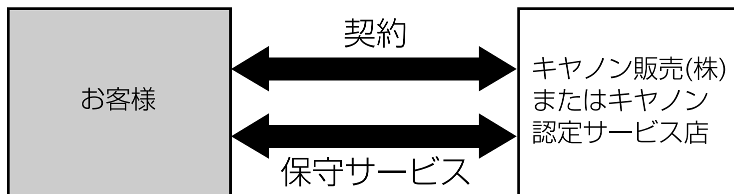
保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはキヤノンレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノンレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。



キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キャノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**
従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**
万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**
キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。

修理料：修理時に発生する訪問料金、技術料、部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）

保守期間：対象製品購入後、3 年後、4 年後、5 年後です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

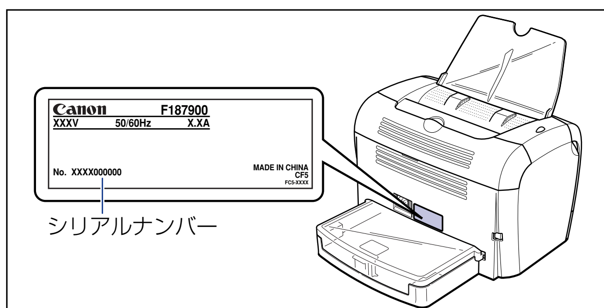
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

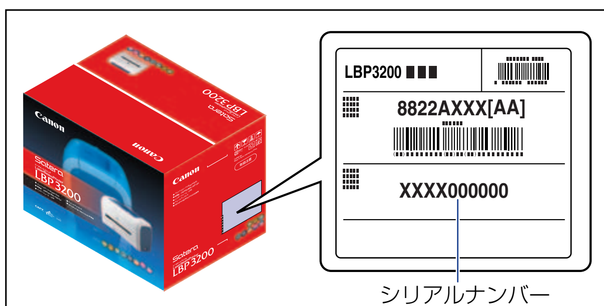
シリアルナンバー（Serial No.）は、4 文字のアルファベットと 6 桁の数字で構成されています。

重要 ラベルはサービスや保守の際に、サービスマンがシリアルナンバーを確認するために必要です。絶対にはがさないでください。

■ プリンタ背面



■ 梱包箱



ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ **CD-ROM の代引き配送サービス**
プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

大変お手数ではございますが、下記 URL へアクセス後、質問事項にご回答ください。

ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）商品名称　LBP3200
　　本体機番　LKLA000001
　　（保証シートおよびプリンタ背面、梱包箱外側に記載されています。）

http://cweb.canon.jp/lbp/enq.html

大変恐縮ですが、本アンケートは WEB 上でのみ実施となりますので、ご了承下さい。



キヤノンお客様ご相談窓口 一覧表

ご相談窓口のご案内

お客様相談センター
（全国共通番号）　**050-555-90061**

[受付時間]　<平日>9:00～20:00　<土日祝日>10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合は、上記の**お客様相談センター**にご相談ください。

修理受付窓口

Satera LBP3200の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。
下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿サービスセンターの営業時間は 10:00AM～6:00PM、休業日は　日曜・祝日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

お願い：Satera LBP3200のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北 海 道 地 区

※札幌サービスセンター　TEL 011 (728) 0665　〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西1-1-2　ＳＥ山京ビル１Ｆ　札幌支店内

東 北 地 区

※仙台QRセンター　TEL 022 (217) 3210　〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1　仙台パークビルヂング１Ｆ　仙台支店内

関 東 ・ 信 越 地 区

※大宮サービスセンター　TEL 048 (649) 1450　〒331-8544 埼玉県さいたま市桜木町4-247　ＯＳビル１Ｆ　大宮営業所内

東 京 ・ 神 奈 川 ・ 山 梨 地 区

東京QRセンター（持込のみ）　TEL 03 (3837) 2961　〒110-0005 東京都台東区上野1-1-12　信井ビル１Ｆ
新宿サービスセンター（持込のみ）TEL 03 (3348) 4725　〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル１Ｆ
※キヤノンテクニカルセンター　TEL 0297 (35) 5000　〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立1234　F7棟3F
（郵送・宅配のみ）
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。
※横浜サービスセンター　TEL 045 (312) 0211　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26　ＨＩ横浜ビル２Ｆ　横浜営業所内

中 部 ・ 北 陸 地 区

※名古屋QRセンター　TEL 052 (939) 1830　〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1　高岳パークビル１Ｆ　名古屋支店内

近 畿 地 区

※大阪QRセンター　TEL 06 (6942) 7418　〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

中 国 ・ 四 国 地 区

※広島サービスセンター　TEL 082 (240) 6712　〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-7-5　広島パークビルヂング１Ｆ　広島支店内
※高松サービスセンター　TEL 087 (823) 4681　〒760-0027 香川県高松市紺屋町4-10　鹿島紺屋町ビル１Ｆ　高松支店内

九 州 地 区

※福岡サービスセンター　TEL 092 (411) 4173　〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1　キヤノン販売福岡ビル１Ｆ　福岡支店内

2004年9月12日現在　　上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

Canon